

有スル第六五二五號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬ス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

*四

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製作スル綿絲ノ經絲ニ毛壁絲ヲ緯ニ織込ミタル織物ハ請求人所有ノ登録實用新案第六五二五號「モスリン」御召ト撞着スルモノト審決相成度其理由ハ被請求人ノ製作スル織物ハ毛絲ニ細キ絹絲ヲ添付シ燃返シテ螺旋狀ヲ呈セシメタル緯絲ヲ綿絲ノ經ニ織込ミ布面ニ壁皺ヲ顯ハシタルモノナリ然ルニ本件登録實用新案「モスリン」御召ハ外觀、構造共ニ之ト均等ナリト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件登録實用新案ハ其請求範圍ニ記載セラル、如ク毛絲又ハ絹絲ヲ經トナシ之ニ毛絲ニ細キ絹絲ヲ添付シ燃返シテ波線狀ニ成シタル緯絲ヲ織込ミタルモノナリ然ルニ被請求人ノ製造スルモノハ綿絲ノ經ニ毛壁絲ヲ緯トシテ織込ミタルモノニシテ本件實用新案ノ權利範圍外タルヘキモノト信ス何ントナレハ該新案ノ請求範圍ニ毛絲又ハ絹絲ヲ經ニ使用スルコトヲ明記スルモ綿絲ヲ經ニ使用スルコトニ就テ毫モ記載セラル、ナシ從テ本件實用新案ノ權利カ綿絲ニ及フヘキモノニアラス故ニ本件實用新案ト被請求人製作ノモノトハ全然經絲ヲ異ニシ兩者撞着スルモノニアラスト云フニ在リ

審決ノ理由 本件第六五二五號登録實用新案ハ毛絲又ハ絹絲ヲ經トナシ之ニ毛絲ト絹絲トヲ燃合シタル絲ヲ緯トシテ織製シタル織布ノ組織ヲ以テ其要部トナスモノナルコトハ其請求範圍ニ依リテ明カナリ又被請求人ノ製作スル織布ハ綿絲ノ經ニ毛壁絲ヲ緯トシテ織成シタル組織ヨリナルモノナリ仍テ此兩者ヲ比較スルニ前者ニ於ケル緯ハ後者ノ毛壁絲ト同一ナルヲ以テ兩者ハ單ニ經絲ヲ異ニスル差異アリ然レトモ本件實用新案ハ普通ノ經絲ト毛壁絲ノ緯絲トヨリナル組織ヲ以テ其要部トナスモノナルカ故

ニ本件登録實用新案御召ノ組織中絹、毛等ノ經ニ代ユルニ數多ノ織物ノ經トシテ普通ニ使用セラル、綿絲ヲ換用シタルモ互ニ類似ノ組織タルハ明白ナリ而シテ譬ヒ本件登録實用新案カ其請求範圍中ニ之ニ關スル記載ナキモ之カ爲メニ類似品タル被請求人製作ノ織物ニ其權利範圍ノ及ハサル理アルナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年一月二十二日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 奥山萬次郎
同 村山小次郎

第二千四百六十五號

廣島縣甲奴郡上下町八十八番屋敷	請求人	山本乙吉
同 縣甲奴郡上下町八十七番屋敷	同	山本喜一郎
山口縣玖珂郡岩國町大字川西五百八十七番屋敷	被請求人	松重大次郎
尾道市十四日町百十五番地ノ四	同	多田増太郎
廣島縣沼隈郡津之郷村大字加屋五十五番屋敷	同	由田鶴松
同 縣世羅郡甲山町字甲山二百二十三番屋敷	同	石崎音吉

右當事者間ノ第一八二二號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

*五

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一八二二號實用新案登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔ト
スト審決相成度其理由ハ本件新案登録品ハ明治三十六年三月以前ニ於テ已ニ静岡縣ニ於テ製造セラレ
帝國內ニ於テ公然知ラレ且ツ公然用ヒラレタル品ナリ又明治三十七年四月以來連年請求人カ模倣製作
セル改良犁ト稱スル農具ニ裝置セルモノト唯螺旋棒ヲ廻轉スルト螺旋套ヲ廻轉スルノ相違ノミ形狀同一
全ク在來品ノ類似ニシテ新規ノ考案ト認ムルヲ得ス故ニ實用新案法第一條ノ規定ニ違反セル者ト認メ
同法第十一條ニ依リ無効タルヘキモノナリト主張シ甲第一、二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件登
録實用新案ノ權利ハ在來ニ公用セル鐵棒ノ上部ニ左刻下部ニ右刻ノ螺旋ヲ刻ミタル鋤柱ノミニ存スル
ニアラス他ノ諸部分ト相待テ組合セヨリ成ル犁ニシテ本件實用新案登録出願以前ニ於テ螺旋ヲ刻ミタ
ル鐵棒ヲ裝置シタル犁カ公知公用ニ屬スル事實アリトスルモ他ノ部分ト組合セテ本件登録實用新案ノ
要部ヲ構成スルヲ以テ特ニ或ル一部分ノ裝置セルモノヲ以テ無効ノ請求ヲナス能ハスト云フニアリ

審決ノ理由 本件登録實用新案第一八二二號犁ノ構造ハ其說明書及圖面ニ示ス如ク上部ニ右螺旋下部
ニ左螺旋ヲ刻ミタル鐵製ノ鋤柱^イヲ犁轆ト犁身トニ定着セラレ且ツ鋤柱ニ刻ミタル牡螺旋ニ適合スヘ
キ牝螺旋ヲ刻ミタル鐵板^ロヲ通シテ螺入シ犁轆ハ廻轉軸ハニヨリテ回轉スヘクナシ犁轆ノ頂部ニ扁平
ナル鐵板^ニヲ裝置シタルモノニシテ本件實用新案ノ權利ハ前叙シタル各部ヲ組合シタル構造ニアルコ
ト明ナリ而シテ請求人カ本件登録實用新案出願以前公知公用ナリト主張スル犁ノ構造ハ犁轆ト犁身ト
ヲ臍ニ依リテ連結シ上部ノミニ螺旋ヲ刻ミタル柱金ノ下部ヲ犁身ニ上部ヲ犁轆ニ挿入シ螺頭^ハニテ犁
轆ニ定着セシメ犁床ノ底部ニハ犁床金ヲ又上部ニハ鑊^ホ、鑊^ヘヲ裝置シタル構造ニシテ犁轆ノ起伏ヲ

調節スヘキ構造ハ本件登録實用新案ノモノニ比シ螺旋ノ應用方法ヲ異ニスル結果鐵板^ロノ裝置ヲ缺如
シ且ツ犁床ニ鐵板^ニヲ設クルコトナキ等其構造ニ於テ多大ノ相違アルモノト云ハサルヲ得ス故ニ甲第
一號ニ記載スル犁カ假リニ本件登録實用新案出願以前公知公用ニ屬シタリトスルモ其事實ヲ以テ本件
登録實用新案ヲ無効トナスヘキ理由トナス能ハス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年一月二十九日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千四百十五號

京都市下京區西橋詰町三十六番戸 請 求 人 宮 澤 治 助
東京市京橋區北紺屋町二十七番地 同 岩 上 藤 之 助
同 市下谷區二長町四十六番地 同 木 村 定 吉
同 市芝區南佐久間町一丁目一番地特許辨理士 右 代 理 人 黒 須 龍 太 郎
奈良縣北葛城郡新庄村大字新庄百九十四番屋敷 被 請 求 人 岡 本 保 太 郎
大阪市北區真砂町二十二番地特許辨理士 右 代 理 人 齋 藤 秀 岳

右當事者間ノ第一〇八六一號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一〇八六一號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ甲第一號證ニ示ス如ク表紙盤ノ間ニ硝子盤ヲ挟ミ一側ニテ綴リテ成ル字畫模寫盤ノ構造ヲ以テ實用アル新規ノ考案ト爲シ明治四十一年九月二日實用新案ノ登録ヲ出願シ次テ第一〇八六一號ヲ以テ登録セラレタリ然ルニ被請求人ノ右實用新案ト同一又ハ少クトモ之ニ類似ノ物品ハ明治三十五年頃ヨリ公知公用ニ屬スル所ニシテ甲第二號證乃至第八號證ニ依リ明瞭ナルノミナラス甲第十號證乃至甲第十二號證ニ記載セラル、所ナルヲ以テ本件實用新案ハ其出願前ヨリ已ニ存在セルモノナリ又本件實用新案ハ前記公知ノモノヨリ容易ニ推考シ得ヘキモノニシテ新規ノ考案ニアラスト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第十二號證ヲ提出シ且書類ノ取寄ヲ申請セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人提出ノ證據ハ不確實ナルモノニシテ信賴スヘキ價值ナシ甲第二、三兩號證ノ如キハ任意作成シ得ヘク甲第五、六、七各號證ハ本件實用新案ト何等關係ヲ有スルモノニアラス而シテ甲第五、六號證ニ於ケル取引ノ「ガラス」石盤ナルモノハ特許局ニ於テ拒絕セラレタル實用新案願書番號第二六九三八號「小西熊吉出願」ノ類ニシテ本件實用新案トハ別物品ナリ甲第十號證ハ梓様ノ内部ニ繪畫ヲ表ハシアルト云フニ過キスシテ其構造明瞭ナラス甲第十一號證ハ繪具及繪具版ヲ具ヘタル繪具箱ノ蓋様ノモノニ繪畫ヲ表ハシアルニ止マリ其實質明ラカナラス甲第十二號證ハ全ク本件ニ關係ナキモノ其他甲第八、九號證ニ至リテハ請求人カ被請求人ノ物品ヲ模造シ居ル點ヨリ製作提出セルモノニシテ否認ス又請求人ハ本件實用新案ト同一物品カ明治三十五年頃ヨリ公知ニ屬スト云フモ果シテ然ラハ何故ニ請求人ハ京都

検事局ニ於テ之ヲ辯明セサリシヤト云フニ在リテ乙第一、二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件登録實用新案第一〇八六一號ハ其ノ圖面ニ示ス如ク表紙版イハノ間ニ硝子盤ヲ挟ミ一側ニテ綴リテ成ル字畫模寫盤ノ構造ヲ以テ其要部トナスコトハ請求範圍ノ明示スル所ナリ而シテ甲第二號證ハ隨時作成シ得ヘキ私書ニシテ信憑シ得サルノミナラス同書證中記載ノ構造及甲第三、四號證模寫盤竝ニ甲第八號證玩具ノ模寫盤ハ孰レモ硝子版ノ一面ニ「ボール」紙ヲ糊着セルモノニシテ本件實用新案ニ於ケル表紙版ノ構成ヲ缺如シ本件實用新案トハ全然別構造ニ屬スルモノナリ從テ右各甲號證カ本件登録實用新案ノ出願前公知公用ニ屬スト假定スルモ之等ニ依リテ別構造ニ屬スル本件實用新案カ其出願前公知ナリ又ハ彼レヨリ容易ニ推考シ得ヘキモノナリト云フヲ得ス次ニ甲第五號證乃至甲第七號證端書中單ニ「ガラスセキバン」又ハ「ガラス」等ノ文字アルノミ又甲第十號證乃至甲第十二號證「カタローグ」請求人指示ノ頁中繪畫用石盤或ハ畫ノ具入箱等ニ關スル圖面アルヲ認ムルノミ構造ニ就キテハ何等知ル所ナシ從テ右甲號證即甲第五號證乃至甲第十二號證カ又本件實用新案ノ登録出願前公知ニ屬スト假定スルモ此事實ヲ以テ本件實用新案登録ヲ無効トナスヘキ理由トナスヲ得ス要スルニ本件請求ハ其證據不十分ニシテ請求人ノ主張ヲ認ムルコト能ハス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月三日於特許局

審判長 特許局技師

同

特許局事務官

一 川

押 田

奧山萬次郎

第二千四百九十號

*十

京都市上京區岡崎町入江八十二番地

請求人 榎垣多七

名古屋市中區南鍛冶屋町特許辨理士

右代理人 鈴木千代吉

群馬縣山田郡毛里田村吉澤乙十八番地

被請求人 岡部幸吉

東京市下谷區竹町二十八番地特許辨理士

右代理人 新井要太郎

右當事者間ノ第二四四九四號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第二四四九四號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ本件實用新案ハ立紹縮緬ノ立紹ノ兩端ノ經絲ニ強撚セル二條ノ撚絲ヲ配置シ此撚絲ニ緯絲ヲ二條宛撚マシメテ立紹ノ組織ヲ構成スルニアリテ其他ノ組織ハ普通ノ縮緬組織ト同様ナリ而シテ緯絲ヲ二條宛撚マシムヘキコトハ最モ普通ノ撚ミ組織ニシテ一條宛撚マシムルノ紹目ヲ類ササルノ勝サレルニ如カス然ルニ此一條宛撚マシムル構造ハ第八八五六號登録實用新案ヲ以テ既ニ登録ヲ經タル所ナリ又紹部ハ緯絲ニ條宛織込ムモ其他ノ部分ハ各一條宛織込ム組織ノ普通ナルハ第八一四七號及ヒ第二一〇九八號兩登録實用新案ニ依リテ明カナルノミナラス本件實用新案ノ出願以來登録査定ヲ受クルニ至ルマテノ歴史ニ徵スルモ右組織ヲ以テ其ノ權利範圍トナスコトヲ得サルモノナリ從テ本件實用新案ハ強撚セル二條ノ撚絲ヲ紹組織ニ用フルノ一點ニ制限セントス然ルニ此組織即チ經組織中二條ノ撚絲ヲ配置シ以テ緯絲ヲ撚マシムヘキ組織ハ本件實用新案出願前既ニ丹波地方ニ

於テ請求人ノ注文ニ依リ安達繁太郎其ノ他ノ立紹縮緬製織ニ際シ使用セルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出シ且證人訊問ヲ申請セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ本件實用新案ノ組織構造ハ其ノ出願前既ニ公知公用ナルヲ以テ其ノ存在ノ基礎ヲ失フモノナリト云フモ平織ノ部分ハ經緯各一條宛織込ムモ緯絲ハ各二條宛織込ム組織ハ請求人ニ於テ本件實用新案ノ範圍ニ屬セストシ本件爭點ヨリ除外シタルヲ以テ茲ニ辯論ヲ要セス然ルニ立紹ノ兩端ニ強撚セル二條ノ撚絲ヲ紹組織ニ用フル組織ハ最高度ノ強撚絲ヲ用ヒテ緯絲ニ撚マシメタルモノニシテ請求人ノ證據ニ供セントスル第八八五六號登録實用新案ノ如ク透シノ兩端ニ在ル經絲ヲ普通經絲ヲ以テ緯絲ニ綴リ掛ケタルニ過キサルモノトハ其ノ趣ヲ異ニシ其ノ撚ミ付方強固ニシテ動搖偏倚ノ虞ナク紹目ヲ保ツコト完全ナリ而カモ收縮持續等ノ點ニ於テ特色アリ然ルニ請求人ハ右組織ハ請求人ノ注文ニ依リ安達繁太郎ニ織ラシメタルコトアリ云々ト言議ヲ弄スルノミニシテ實際其ノ方法ヲ用キタル織物ノ登録ヲ爲サス單ニ此ノ如キコトノミヲ以テ公知ノ事實ト云フコトヲ得サルハ幾多ノ判例ニ依リ明カナル所ナリ仍テ請求人ノ主張ハ公知及ヒ利害關係ノ二要素ノ一ヲモ具有セサルヲ以テ本件請求人ハ證據調ヲ要セスシテ直チニ却下セラルヘキモノナルコト明カナリト云フニ在リテ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由

被請求人ハ請求人ヲ指シテ本件請求ニ對シ利害關係人ニアラスト抗辯スルモ之レヲ認ムヘキ理由ナキヲ以テ本案ニ付審案スルニ本件第二四四九四號登録實用新案ニ於ケル紹織ノ緯絲ニ條宛ヲ織込ムコト及地織ヲ平織ト爲スコトノ二組織ハ請求人主張ノ如ク例示スルマテモナク本件實用新案出願前ノ發行ニ係ル公刊物タル織物編等ニ記載セラルル所ニシテ本件實用新案ハ斯カル組織ヲ以テ其ノ

*十一

要部トナスモノニアラス本件實用新案ハ其ノ請求範圍ニ示スカ如ク強燃セル搦絲ヲ用ヒテ堅紹地ヲ織成シタル組織ヲ以テ其ノ要部トナスモノナリ而シテ請求人ハ本件實用新案ノ經組織中ニ條ノ搦絲ヲ以テ緯絲ヲ搦マシムヘキ組織ハ本件實用新案出願前既ニ丹波地方ニ於テ公知ニ屬スルヲ以テ本件實用新案ハ無効タルヘキモノナリト云フモ本件實用新案ハ前記ノ如ク強燃ノ搦絲ヲ使用スル點ヲ以テ要部トナスモノニシテ其ノ效果即紹目ヲ正シク持續セシムル點ニ於テ強燃ニアラサル搦絲ヲ使用シタル場合トハ其ノ效果ヲ異ニスルモノナリ從テ請求人カ主張スルカ如キ搦絲即チ強燃ニアラサル普通ノ搦絲ヲ使用スルコトカ從來公知ナルモ之レカ爲メニ其ノ效果ノ異ナル本件實用新案カ公知ナリ又ハ公知品ニ類似スルモノナリト云フハ不當ナリ要スルニ本件請求ハ其ノ證據不十分ニシテ請求人ノ主張ヲ認ムルコト能ハス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月二十四日於特許局

審判長 特許局技師

一 川 一

同

小野 喜 惣 治

特許局事務官

村 山 小 次 郎

第二千四百二十八號

名古屋市中區西川端町五丁目三十番ノ三十一番地

請 求 人

長 倉 博 一

同 市中區南伊勢町二番地特許辦理士

右 代 理 人

武 田 良 吾

同 市中區西瓦町四十六番地

被 請 求 人

樋 口 泰 次 郎

同 市東區主税町三丁目十一番地

同

雪 竹 仁 藏

同 市中區南鍛冶屋町二丁目百十一番戶特許辦理士

右 雪 竹 仁 藏 代 理 人

鈴 木 千 代 吉

右當事者間ノ第二〇二一六號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 被請求人樋口泰次郎ニ對スル本件審判請求ハ之ヲ却下ス
 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 第二〇二一六號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トスト審決相成度其理由ハ甲第一號證及甲第二號證ノ玩具ハ本件實用新案ノ登録ヲ出願シタル明治四十四年三月八日以前ヨリ請求人ニ於テ製造セリ且請求人以外ニ於テモ甲第一、二號證及本件實用新案ト同一又ハ類似ノ玩具ヲ製造販賣セルモノ少ナカラス從テ本件實用新案ハ實用新案法第三條ニヨリ登録ヲ受クル能ハサルモノトス次ニ被請求人ハ審判第二三三三號事件ヲ援用シテ一事不再理ノ抗辯ヲ試ムルモ該審判事件ニ於テハ實用新案登録願第六〇五二三號拒絕査定書及願書ヲ證據トスルモ本件請求ハ之レヲ爲サス故ニ同一證據ナリト云フヲ得スト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件請求ハ已ニ確定審決ニ成リタル審判第二三三三號ト同一事實ニ基キ同一審判ヲ請求セルモノナリ次ニ甲第一、二號證ハ請求人カ勝手ニ製作シタルモノニシテ新證據トシテ何等ノ效力ナキノミナラス却テ主張事實ノ虛偽ナルコトヲ證明スルモノナリ何ントナレハ請求人長倉博一ハ右甲第一、二號證ノ物品ヲ

新規トシ之レニ關シ明治四十四年七月十八日附實用新案ノ登録ヲ出願シ其拒絕査定ニ對シ公知物ニアラストノ理由ニ付再審査ヲ請求シタル事實ニ徴スルモ明治四十四年七月十八日以前ニ於テ公知トナルヘキ理ナキニ拘ハラス請求人ハ之レヲ明治四十四年三月八日以前ヨリ製造販賣セタリト主張スルハ其虛偽モ亦甚タシト云フニ在リ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

審決ノ理由 被請求人樋口泰次郎ハ本件登録實用新案權ニ付テハ當初ヨリ其權利者ニアラサルカ故ニ本件請求ニ對シテハ被請求人タル資格ナキモノトス

被請求人ハ本件審判請求ニ對シ一事不再理ノ抗辯ヲ爲スモ本件請求ハ請求人主張ノ如ク前證據ニ基クモノナルヲ以テ被請求人ノ右主張ハ不當ナリ本件第二〇二一六號登録實用新案ハ其圖面ニ示ス如ク尾ノ廻轉ニ依リ鈴ヲ鳴ラスヘキ空中飛鳥ノ構造ニ存スルコトハ其請求範圍ノ明示スル所ナリ然ルニ之レト同一若クハ類似ノ構造ヲ有スル飛鳥カ本件登録實用新案ノ出願日タル明治四十四年三月八日以前ニ於テ帝國内ニ於テ公然知ラル、ニ至リタル事實ハ證人西杉勇次郎、同加藤正一郎ノ證言中之レヲ認ムルコト能ハス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月二十四日於特許局

審判長 特許局技師 一川 一
同 塚本 信治
特許局事務官 村山 小次郎

第二千五百二十六號

高知縣高岡郡越知町越知三百三十八番屋敷
同 縣高岡郡越知町越知六十一番屋敷

請求人 山本 大吉
被請求人 鈴木 榮

右當事者間ノ第一九二〇三號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 本件請求ハ之レヲ却下ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人カ使用セル甲第一號證折簇ハ請求人所有ノ實用新案第一九二〇三號百足形折簇ト撞着シ同實用新案權ノ範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其

理由ハ右實用新案ハ三角形ノ兩脚ヲ有シ該兩脚ヲ作りタル殘資料ヲ以テ幹軸ニ加ヘ該所作ヲ複演シテ軀體ヲ伸長スルノ組織ナリ然ルニ被請求人カ使用セル甲第一號證ハ片脚簇ニシテ其脚部ハ箇々分立セス兩節ヨリ相援ケテ成レル三角形ナルモ三角形ヲ以テ脚トシ且該三角形脚ヲ構成セル殘資料ヲ幹軸ニ加ヘ脚幹相保チテ軀體ヲ伸長スルノ組織ハ全ク請求人所有ノ前記實用新案ニ類似シ同實用新案ノ片脚ヲ除キタルト同一ノ構造ニシテ且同様ノ作用ヲ爲シ得ヘキモノニシテ同實用新案ノ組織ヲ省約セルモノニ外ナラス換言スレハ請求人ノ實用新案ハ甲第一號證ノ複雜且進歩シタルモノニシテ甲第一號證ハ當然其範圍内ニ吸收包容セラルヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ使用セルモノハ山形簇ニシテ請求人ノ申立ツルカ如キ構造ノ折簇ヲ使用シタルコトナシト云フニアリ

審決ノ理由 本件請求人ハ被請求人カ製造セル甲第一號證折簇ハ請求人ノ第一九二〇三號登錄實用新案權ノ範圍ニ屬スルモノナリト云フニアレトモ被請求人ハ甲第一號證折簇ノ製造ヲ否認シ自己ノ製造セルモノハ山形簇ナリト主張セリ依テ請求人提出ノ甲第二號證及甲第三號證ヲ調査スルニ何レモ一箇人ノ作製ニ係ル私署證書ニシテ隨時作製シ得ヘキモノナルカ故ニ之レヲ信憑シ難シ從テ被請求人カ甲第一號證折簇ヲ製作セシコト明ナラサルヲ以テ本件請求ハ之レヲ却下スヘキモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月二十五日於特許局

審判長 特許局技師 塚本 信治
 特許局事務官 奥山 萬次郎
 同 村山 小次郎

第二千五百四十三號

大阪市南區難波東神田町八百六十六番地 請求人 田中 清吉
 同 市東區瓦町一丁目五番地特許辦理士 右代理人 廣井 代藏
 同 市南區難波西神田町八百八十六番地 被請求人 柏野 久吉

右當事者間ノ第一二一五〇號登錄實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人カ製造販賣セル甲第一號證「メリヤス」芯鼻緒ハ第一二一五〇號登錄實用新案ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト云フニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人カ製造販賣セル柏縫「メリヤス」芯鼻緒ハ嘗テ請求人ヨリ大阪地方裁判所へ模造侵害ノ告訴ヲ爲シタルモ全然別種ノ物トシテ却下サレタルモノナリ而シテ第一二一五〇號登錄實用新案機械布鼻緒ノ權利ノ主體タル布芯ハアラユル古綿布ヲ強度ノ藥品ヲ以テ晒白シタル布片ナルヲ以テ綿布ノ實力ヲ失ヒ脆弱ナルニ反シ被請求人ノ製造販賣セル「メリヤス」芯ハ新品ノ裁屑ヲ用キ中芯トシテ蘭草ノ燈心ヲ抜キタル外皮ヲ軟カニ打チコナセシモノヲ適度ニ捲込アルヲ以テ「メリヤス」ノ磨滅ヲ防キ耐久力ニ倍以上ナリ且被請求人ノ「メリヤス」芯ハ弾力性ニ富メル蘭草柄ヲ中心ニ混用セルヲ以テ何月間詰置クモ遠國へ輸送サル、モ更ニ體形ノ壞ル、虞ナキ點ニ於テ請求人ノ布芯ト異ナレリ加之價格ニ於テ「メリヤス」芯ハ布芯ヨリモ低廉ナ

リト云フニ在リ

審決ノ理由 第一二一五〇號登録實用新案ハ布片ヲ集合シタルモノヲ芯トセル鼻緒ノ構造ナルコトハ其請求範圍ニ於テ明示スル所ナリ然ルニ被請求人カ製造販賣スル甲第一號證鼻緒ハ蘭草ノ外皮ヲ縦ニ細切シ之ヲ起毛「メリヤス」ニテ捲キタルモノヲ芯ト爲セルモノナリ而シテ起毛「メリヤス」地ト普通布地トハ足當リニ於テ同一ナラサルノミナラス蘭草外皮ヲ起毛「メリヤス」ニテ捲キタル芯ト布片ノ芯トハ其彈性ニ於テ著シキ相異アルヲ以テ鼻緒ノ形狀ヲ維持スル上ニ於テ又大差アルモノナリ故ニ第一二一五〇號鼻緒ト甲第一號證鼻緒トハ全然其效果ヲ異ニシ別異ノ考案ニ屬スルモノニシテ兩者其構造中相類似スル點ナシ從テ甲第一號證鼻緒ハ其構造中一モ第一二一五〇號登録實用新案ノ權利範圍ニ觸ル所ナシ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月三日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚 本 信 治
特許局事務官 村 山 小 次 郎

第二千五百四十八號

東京市神田區三崎川岸一番地
同 市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士

請 求 人 今 村 義 壽
右 代 理 人 稻 木 繁 太 郎

同 市本郷區本郷三丁目六番地
同 市日本橋區蠣殻町二丁目六番地特許辨理士

被 請 求 人 渡 邊 幸 太 郎
右 代 理 人 高 尾 傳 七

右當事者間ノ第二三五二九號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ製作販賣ニ係カル甲第一號證圖示ノ瓦斯火屋ノ構造ハ第二三五二九號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證圖示ノ瓦斯火屋ハ被請求人ノ第二三五二九號登録實用新案渡邊式「ダブルホヤ」ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審

決相成度其理由ハ明治四十四年十月六日出願同四十五年二月二十四日登録ノ第二三五二九號登録實用新案渡邊式「ダブルホヤ」ノ構造ハ金屬環①金屬製枠②艶消シ雲母③雲母④蝶番⑤及「バネ」⑥トヨリ成ルモノニシテ實用新案公報第四八三號ノ明示スル所ナリ然ルニ瓦斯火屋トシテ金屬製笠ニ同種ノ枠ヲ固着シ該枠ニ透明雲母ヲ附設シタルモノハ數十年前ヨリ公知ノ事柄ナリ被請求人ハ此公知ノ物品ニ改良ヲ加ヘ即チ金屬ノ笠ヲ金屬ノ環ト爲シ之ニ艶消雲母③ヲ取付ケ且蝶番⑤及「バネ」⑥ヲ附加シテ笠ト枠トヲ開閉セシメタルモノニシテ本件實用新案ノ登録ヲ受ケタル所以ハ蓋シ請求人ノ甲第一號證ノ物品カ本件實用新案出願以前公知公用ニ屬スルニ拘ハラス右ノ③⑤⑥ノ三點ヲ新規ノ考案ト認メタルニ由ル然ルニ請求人ノ甲第一號證ノ物品ハ數十年前ヨリ公知ニ屬スル金屬笠ニ同種ノ枠ヲ固着シ該枠ニ透明雲母ヲ付着シ管タ僅カニ其形狀ヲ甲第二號證ノ如ク明治四十四年七月十一日横濱瓦斯局ノ設計圖面ニ基キ製造シタル迄ニシテ爾來同局其他一般ノ瓦斯使用者ニ對シテ製造販賣シ來リタルモノナレハ何等新規ノモノニアラス從テ甲第一號證ノ物品ハ本件實用新案トハ全然別種ノモノニシテ前者ハ後者ノ權

利範圍ニ屬セサルモノナリト云フニ在リテ其事實ヲ確カムル爲メニ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セ
被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求
人ノ製造販賣スル甲第一號證圖示ノ瓦斯火屋ハ其構造ノ要部ニ於テ被請求人所有ノ第二三五二九號登
録實用新案ト相類似セルコト敢テ喋々ヲ要セサル所ナリ又請求人ハ本件實用新案ト類似セル構造ノ瓦
斯火屋カ本件實用新案ノ登録出願前ニ於テ公知公用ニ屬スト主張スルモ被請求人ハ如此事實ヲ認メス
殊ニ請求人カ甲第一號證ノ物品ヲ明治四十四年七月十一日ヨリ以後本件實用新案登録迄製造販賣シタ
リトノ事實ハ之ヲ否認ス次ニ請求人ハ被請求人カ本件實用新案ノ登録ニヨリ製造販賣シタルモノヲ模
倣シテ製造販賣シタル次第ナレハ其製造販賣ハ本件實用新案登録後ニ係リ本件實用新案權ノ侵害行爲
ナリト云フニ在リ

審決ノ理由 第二三五二九號登録實用新案ハ其請求範圍トシテ「圖面ニ示セル渡邊式「ダブルホヤ」全體
ノ構造」又圖面ノ説明トシテ「金屬環①金屬製枠②艶消シ雲母③雲母④蝶番⑤「バネ」⑥ナリ」トアリ故
ニ右實用新案ハ其圖面ニ示ス如ク大小二箇ノ環ヲ金屬杆ニテ連結シタル枠二箇ヲ製シ其一ニハ艶消シ
雲母ヲ附設シテ上笠トナシ他ノ一ニハ普通ノ雲母ヲ附設シテ下笠トナシ此上下兩笠ニ蝶番及「バネ」ヲ
設ケテ開閉ヲ自在ナラシムヘクナシタル構造全體ヲ以テ其要部トナスモノナリ然ルニ請求人ノ製作ニ
係カル甲第一號證圖示ノ瓦斯火屋ハ金屬笠ト金屬環トヲ金屬杆ニテ連結シタル枠ニ雲母ヲ附設シタル
モノニシテ之ヲ前記登録實用新案ニ比較スルニ其一要件タル上下兩笠ノ開閉ヲ自在ナラシムヘキ考案
ヲ缺如シ從テ蝶番及「バネ」ノ構成ヲ必要トセス全部固着セルモノナリ且右實用新案ニ於ケル上笠ハ雲
母ヲ附設セル金屬製枠ナルニ反シ甲第一號證火屋ハ單ニ金屬版ノ有孔蓋ヲ使用スルモノニシテ兩者全

然其構造ヲ異ニスルモノナリ只兩者其形狀雲母ヲ使用スルコト金屬製枠ヲ利用スルコト等ノ諸點ニ於
テ相類似スル所アルモ單ニ斯カル事項ヲ以テ第二三五二九號登録實用新案ノ要部ト爲スコトヲ得サル
ハ前記説明ノ如シ故ニ之ニ依リ甲第一號證火屋カ右實用新案ニ類似スルヤ否ヤヲ決スヘキモノニアラ
ス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月八日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚 本 信 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千五百十一號

京都市下京區三條通大橋東四丁目七軒町七番地 請 求 人 森 田 新 太 郎
同 市上京區柳馬場通夷川上ル特許辦理士 右 代 理 人 三 浦 倫 吉
同 市下京區本町四丁目三十二番地 被 請 求 人 淺 野 熊 次 郎
大阪市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷特許辦理士 右 代 理 人 小 池 宗 三 郎

右當事者間ノ第二三五六七號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第二三五六七號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

請求人申立ノ要領ハ第二三五六七號實用新案ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人所有ノ第二三五六七號登録實用新案ハ其請求範圍トシテ『圖面ニ示セル洋燈笠ニ於テ針金ヲ縱横ニナシタル枠ノ構造』トアリ而シテ圖面ノ説明ニ依レハ右針金枠ヲ上部ニ皺ヲ成形シツ、薄紗ニテ覆ヒ之レヲ竹籠ニ嵌入シテ洋燈笠トナスモノナリ然ルニ請求人所有ノ第一三九四一號登録實用新案ハ針金枠ヲ絹ノ皺寄セ張リトナシ〔第三圖〕之レヲ竹籠ニ嵌入シタル洋燈笠ナリ從テ前記被請求人ノ新案ハ請求人ノ新案ノ内僅ニ針金枠ニ横針金ヲ加ヘタル點ニ於テ異ナレルノミ他ニ何等異ナル點ナシ而シテ右ノ如キ些細ノ考案ハ實用新案法ニ所謂實用アル新規ノ工業的考案ト云フヲ得サルモノニシテ請求人カ案出シ現ニ實用新案公報ニ登載セラレタル第一三九四一號實用新案ノ針金枠ヨリ容易ニ案出シ得ヘキモノナリ又被請求人ハ針金枠ニ於テ針金ヲ縱横ニナスト否トハ實用上著シキ優劣ヲ生シ針金ヲ縱横ニナサ、ルトキハ濕氣ノ爲メ絹ノ垂下スルコトアリト云フモ其事實ナシト云フニ在リテ甲第一、二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ第二三五六七號實用新案ハ其請求範圍ニ記述シタル如ク針金ヲ縱横ニナシタル枠ノ構造ニアリ而シテ請求人ハ針金枠ニ對シテハ毫モ權利ヲ有セサルカ故ニ請求人カ自己權利ヲ主張シ得サル竹籠及薄絹ノ材料ノミカ類似スル點ヨリ論シテ兩者ヲ撞着スルモノトナスハ不當ナリ又被請求人ノ實用新案ハ針金ノ間ヨリ絹ノ垂下スル弊ナカラシムル爲メニ針金ヲ縱横ニナシタルモノニシテ構造上些細ノ點ナリトスルモ特殊ノ效果アルモノナレハ之レヲ新規ノ考案ト云フニ妨ケナシト云フニ在リテ審判第一四〇七號審決文ヲ援用セリ

審決ノ理由 被請求人專有ノ本件第二三五六七號登録實用新案ハ明治四十四年八月十九日附出願ニ係カ

リ其請求範圍トシテ『圖面ニ示セル洋燈笠ニ於テ針金ヲ縱横ニナシタル枠ノ構造』トアリテ第一圖ニ依レハ兩線環ヲ縱ニ針金ニテ連結シ右兩線環ノ中間ニ數箇ノ線環ヲ裝設シテナレル針金製枠ノ構造ヲ以テ其要部トナスモノナリ又請求人ノ第一三九四一號登録實用新案ハ其請求範圍ニ依レハ上下兩線環ヲ縱ニ針金ニテ連結シタル枠ヲ絹布ニテ覆ヒ之レヲ竹製籠ニ嵌入シタル洋燈笠ノ構造ヲ以テ其要部トナスモノナリ仍テ第二三五六七號、第一三九四一號兩登録實用新案ヲ比較スルニ前者ハ後者ニ於ケルナス更ニ數箇ノ線環ヲ附加シタルニ過キスシテ其結果枠ノ堅牢性ヲ増加スル當然普通ノ效果ヲ收メタルニ過キス斯カル考案ハ後者ニ於ケル枠ヨリ容易ニ推考シ得ヘク互ニ類似タルヲ免カレサルモノト認ム而テ右第一三九四一號登録實用新案ハ明治四十二年七月二十二日發行ノ公刊物タル實用新案公報第二五〇號中ニ記載セラレ、ヲ以テ本件第二三五六七號登録實用新案ハ其登録出願前同一物品ニ關シ容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ帝國內ニ頒布セラレタル刊行物ニ記載セラレタルモノニ類似スルモノニシテ實用新案法第三條第二號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スルヲ以テ其登録ハ同法第十條ニ依リ無効トスヘキモノトス其他双方ニ於テ爭フ所アルモ本審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ加ヘス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月四日於特許局

審判長 一 川 一
 同 塚 本 信 治
 特許局事務官 村 山 小 次 郎

第二千二百八十七號

*二十四

大阪市東區瓦町二丁目七十七番屋敷
同 市東區淡路町三丁目十九番地

請求人 津和儀平
被請求人 佐川芳之助

右當事者間ノ第一四九二號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 本件請求ハ之ヲ却下ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第一四九二號登録實用新案ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人カ明治三十八年六月三十日出願シ同年十二月十二日第七九八號ヲ以テ特許セラレタル骨止「蝙蝠傘用」ト被請求人カ明治三十八年十二月十七日出願シ同九年三月十三日第一四九二號ヲ以テ登録セラレタル實用新案洋傘骨端止トノ兩者ヲ比較スルニ前者ノ軸撐函イ、彈片ハ、割鏢ニ、壓子ホ、摺動管ヘ等ハ後者ノ輪狀臺金イ、骨端止金具ロ、彈壓子ハ、圓形彈子ニ、管軸ヘ等ノ構造ト全然同一ナリ但タ後者ニ於テハ突支子ホ及覆盤トヲ附加シタル點ニ於テ前者ニ異レリト雖モ之等ノ構造ハ單ニ附隨ノ一部ニ止マリ之レ有ルカ爲メ操作上何等影響ヲ及ボササルノミナラス其目的及效果ニ於テ見ルモ兩者全然相等シ故ニ被請求人ノ登録實用新案第一四九二號ハ請求人ノ特許第九七九八號ヨリ容易ニ推考シ得ヘキ程度ニアル類似物ナルヲ以テ本件登録實用新案ハ實用新案法第五條ニ該當シ同法第十一條ニ依リ無効トナルヘキモノナリト云フニ在リテ其申立ヲ確ムル爲メニ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ
被請求人ハ審判請求書ノ送達ヲ受ケナカラ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

審決ノ理由 請求人ハ曩ニ蝙蝠傘用骨止ニ付第九七九八號ヲ以テ特許ヲ受ケタルニ其後被請求人カ其目的及效果同一ニシテ請求人ノ特許ヨリ容易ニ推考シ得ヘキ類似物タル洋傘骨端止ニ付第一四九二號ヲ以テ實用新案ノ登録ヲ受ケタルハ實用新案法第五條ニ該當シ其登録ハ無効タルヘキモノナリト主張スト雖實用新案法第五條ハ其法文ノ示ス如ク同一又ハ類似ナル實用新案ノ出願ニ箇以上相競合セル場合ヲ規定シタルモノニシテ本件請求ノ如ク實用新案ノ出願ト特許發明ト相競合シタル場合ヲ規定シタルモノニアラス抑モ實用新案權ハ其出願前ノ出願ニ係ル同一又ハ類似ノ考案ニ關シ特許權ノ制限ヲ受クルコトハ實用新案法第八條第三項ノ規定ニ依リ明ナリト雖其出願ハ特許發明ニ依リ何等ノ制限ヲ受クルモノニアラサルヲ以テ本件實用新案ノ登録セラレタルハ不當ニアラス其他實用新案法中本件ノ如キ場合ニ審判請求ヲ許シタルノ規定ナシ
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十一日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
同 塚本信治
特許局事務官 奥山萬次郎

第二千五百五十號

*二十五

京都市上京區笹屋町通六軒町西入笹屋町五丁目四十三番戸
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士

請求人 田中富吉
右代理人 淺村三郎

右當事者間ノ第一六七二五號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 第一六七二五號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有スル第一六七二五號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ明治四十二年十二月二十日出願シ同四十三年三月二十九日登録ヲ受ケタル被請求人ノ所有スル第一六七二五號實用新案織物ハ其登録請求範圍ニ『紋織物織組ニヨリ模様ト地トカ凸凹ヲナセル織物ヲ起毛シタル構造』トアルヲ以テ起毛シ易キ緯絲ヲ紋織物部分ニ多ク表ハシ經絲ヲ地ニ多ク顯ハシテ織成シ之ヲ毛搔スルコトニ依リ紋模様部分ニノミ起毛ヲ生セシメテ任意ノ起毛模様ヲ顯出セシメタルモノナリ然ルニ甲第二號證特許公報第一七四號ニ掲載セラレタル改訂特許第六四號織物〔紋「ネール」〕ノ明細書ニ依レハ『此發明ハ地質即チ紋様ナキ部分ヲ綾地ニ織成シ又紋様ノ部分ヲ平地ニ織成シ又紋様ノ部分ニハ毛ヲ生スルコトナカラシメ以テ其外觀ヲシテ鮮麗ナラシムルニ在リ』又其特許請求範圍ニ依レハ『地質即チ紋様ナキ部分ニハ毛ヲ生シ又紋様ノ部分ニハ毛ヲ生スルコトナカラシメ以テ其外觀ヲシテ鮮麗ナラシムル目的ニ於テ紋様ナキ部分ヲ綾地ニ織成シ又紋様ノ部分ヲ平地ニ織成シ而シテ毛搔法ヲ施シタル織物〔紋「ネール」〕トアリ故ニ該特許織物ハ綾地即チ地合柔滑ニシテ緯絲ノ多ク顯ハルル部分ニ毛ヲ搔キ出シ平地即チ經絲ノ多ク顯ハレ緯絲ノ少ク顯ハルル部分ニハ起毛ヲ爲サス以テ起毛部ト不起毛部トニ依リ任意ノ模様ヲ顯出セシメタルモノトス依リテ之ヲ前記本件實用新案ニ

對比スルニ其構造全然同一ニシテ共ニ均シク其面ヲ凹凸ナラシメ又共ニ其凸所ニ毛搔キヲ施スモノナリコト兩者毫モ擇フ所ナシ只右實用新案ハ主トシテ其起毛シタル部分ヲ以テ紋模様部ヲ形成セシメ右特許ハ其起毛セサル部分ヲ以テ紋模様部ヲ形成セシメタル力ノ微差アルニ似タルモ其實然ラス何トナレハ兩者其模様ヲ限定シアラサルニ依リ此方法ヲ棒縞等ニ應用スレハ其模様部分ハ果シテ何レノ部分ニ在リヤハ任意ニ見做シ得ヘキモノナレハナリ次ニ改訂特許第六四號ノ特許明細書ニ依レハ『此發明ニ用フル原料ハ絹絲線絲絹綿絲等ニ限ルニアラス其他適宜ノ材料ヲ用フルモ妨ナシ』トアルヲ以テ右特許ノ紋「ネール」ニ用フル原料絲ニ付テハ何等ノ力制限ヲ置クモノニアラス從テ經緯ニ異種ノ絲ヲ用ヒ起毛部ト不起毛部トヲ顯ハスコトハ當然ノ理合ナリ且右特許明細書ノ解釋上特許紋「ネール」ニ在リテモ表裏兩面ヨリ起毛スルコトヲ得ヘク何等制限ヲ設ケタルモノニアラス由是觀之本件實用新案ハ特許公報第一七四號ニ掲載セラレタル改訂特許第六四號ヨリ容易ニ應用セラルヘキモノナルコト明カナリ加之本件特許織物〔紋「ネール」〕ハ本件實用新案ノ出願前ニ於テ盛ニ製織發賣セラレ既ニ公知公用ニ屬シタルモノナリ仍テ本件實用新案ハ實用新案法第三條第一號及第二號ニ該當シ同法第十一條ノ規定ニ違反スルニ依リ同法第十一條ニ依リ其登録ハ無効ナリト云フニ在リテ其事實ヲ確カムル爲メニ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ第一六七二五號實用新案織物ハ其登録請求範圍ニ『緯ニ起毛シ易キ絲ヲ用キ』トアル如ク經緯異種ノ絲ヲ用キテ紋織物ノ組織ニ依リ模様ト地ト凸凹ナラシメタル織物ニ表裏兩面ヨリ凸部ヲ起毛シ無起毛部ト起毛部トヲシテ兩面紋模様ヲ有セシムル毛織物ノ考案ナリ之ニ反シ改訂特許第六四號紋「ネール」ハ單ニ織法ノミニシテ經緯ニ異種ノ絲ヲ用フルニアラス且其構造モ綾地ノ裏面ハ綾地ニシテ平地ノ裏面ハ平綾

交織ナル綾地ニ平織ノ紋ヲ表ハスヘク織リタルモノニシテ特許明細書ニ在ルカ如ク鮮麗ナラシムルコトハ不可能ナル片面紋ノ片毛ノ「ネール」ナリ又第一六七二五號實用新案ノ紋織組織ハ模様ト地ト凹凸ナラシメタルモノニシテ凹所ハ起毛シ難キ經緯ヲ多ク表ハルヘク凸所ハ起毛スルコトキハ凹所ハ起毛ノ効ナク凸所ハ起毛シ易キヲ以テ明鮮ナル紋模様ノ毛織物ヲ得ルナリ之ニ反シ改訂特許第六四號紋「ネール」ハ大體地ヲ綾地ニ爲シ之ニ紋模様ヲ平地ニ爲シテ表ハシ此平地ノ裏面ハ平綾ノ交織ナリ故ニ此平地ニ爲シタル部分ノ一面ヨリ起毛スレハ起毛ノ部分ハ平綾ノ差ニ過キサルカ故ニ紋模様臙ニシテ其形狀ヲ認ムルコト能ハス仍テ起毛部ヲ裏面トシ起毛セサル部分ヲ表面トスルヲ以テ表面ハ毛織物ト視ルコト能ハス然ルニ之ヲ表裏ヨリ起毛スルトセハ原型ヲ維持セス紋ノ形狀ヲ害スルノミナラス表裏同結果ヲ表ハスナリ之ヲ要スルニ右兩者ハ考案、構造法及製造現品ニ於テ全然同一ノモノニアラス且容易ニ應用スヘキ程度ノモノニアラスト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ノ有スル第一六七二五號登錄實用新案ハ其登錄請求範圍トシテ「紋織物織組ニヨリ模様ト地トカ凸凹ヲ爲セル織物ヲ起毛シタル構造」トアリ而シテ圖面ノ說明ニ依レハ「ハ沈ミタル素地部ニシテ多ク經緯ヲ表ハシ」ハ起毛シ易キ緯絲ヲ表ハスヘク爲シタル紋模様部ニシテ素地ハ凹ミ模様ハ凸起セシメタル織物ニ毛搔法ヲ施シテ平地ニ起毛模様ヲ顯出セシメタルモノナリ然ルニ改訂第六四號特許織物ハ地質即紋模様ナキ部分ニハ毛ヲ生シ紋模様部ニハ毛ヲ生スルコトナカラシムル目的ニ於テ地ヲ綾地ニ織成シ紋模様部ヲ平地ニ織成シタルモノニ毛搔法ヲ施シタル紋「ネール」ナルコトハ其請求範圍ノ示ス所ナリ故ニ本件登錄實用新案ハ模様部ヲ起毛シ右特許ハ素地ヲ起毛セルモノニシテ各起毛部ヲ異ニセル微差アルモノトス被請求人ハ其答辯理由ノ第一點ニ於テ本件登錄實用新案ハ起毛シ

易キ緯絲ト否ラサル經緯トノ經緯異種ノ絲ヲ使用スルモ特許紋「ネール」ニ於テハ同種ノ經緯絲ヲ用フルノ差異アリト云フモ「ネール」ノ織製上經ニ比シ起毛シ易キ緯絲ヲ使用スルコト即チ被請求人ノ所謂異種ノ經緯ヲ使用スルコトハ該業ニ於ケル常手段ナリ故ニ改訂第六四號特許ニ於テハ之ニ關スル直接ノ說明ナキモ斯業上被請求人ノ所謂異種經緯ヲ使用スルモノト認ムヘキモノナルノミナラス又容易ニ遂行シ得ヘキ事項ニ屬ス從テ右第一點ハ之ヲ以テ兩者即チ本件實用新案及特許ノ差異ヲ決スヘキ價值ナキモノトス又答辯理由ノ第二點ニ於テ被請求人ハ特許ハ片面織物ニシテ模様鮮明ナラサルモ本件實用新案ハ兩面織物ニシテ模様鮮明ナリト云フモ片面ナルト兩面ナルトハ當業者ノ任意ニシテ只本件實用新案ハ兩面ニ起毛シタル結果表裏其起毛部分ノ位置ヲ異ニス即チ起毛部分カ織物ノ表裏兩面ニ於テ互ニ相反對スルモノナレトモ若シ特許織物ニ兩面起毛ヲ施セハ其結果表裏共ニ同一ナルヲ以テ兩者單ニ起毛部ノ位置相同シカラサルノ差異アルノミ然レトモ斯カル差異ハ單ニ意匠上ノ差ニ止マリ當業者間任意ノ業ニ屬シ之ニ依リテ兩者ノ差異ヲ主張スヘキ理由ナキモノトス次ニ答辯理由ノ第三點ハ本件實用新案ハ凹凸地ヲ利用スルヲ以テ紋模様鮮明ナルモ特許紋「ネール」ニ於テハ平地綾地ノ差異アルノミニシテ模様鮮明ナラスト云フモ綾地ハ一種ノ浮織ナルヲ以テ之ヲ平織ニ比スレハ凸起セルモノナリ只浮織ノ如何ニ依リテハ凸起ニ高低ノ差アルモノ之レ單ニ程度ノ差ニ止マリ兩者孰レモ凹凸アル織物ナルコトニ於テハ同一ナルコト明カナリ之ヲ要スルニ本件第一六七二五號登錄實用新案ト改訂第六四號特許トハ共ニ普通ノ組織即チ平地、綾地、縐子地等ノ組織ヲ結合シテ起毛シ易キ部分ト否ラサル部分トノ地合ト爲シ之ニ毛搔法ヲ施シ一種ノ起毛織物トナス考案ヲ以テ要部トナスモノニシテ被請求人カ執テ以テ兩者相違セルモノト主張セル點ハ前記三點ニ就キテ説明シタル如ク容易ニ應用シ得ヘキ事項又ハ意匠上ノ差異或ハ同一事項ニ屬スヘキモノ、ミ以テ兩者ノ差異トシテ論スヘキ價值ナキモノトス而シテ改

訂第六四號特許ハ第一六七二五號登錄實用新案ノ出願日即チ明治四十二年十二月二十日前明治二十八年十月二十四日發行ニ係カル特許公報第一七四號中ニ登載サル、所ナルヲ以テ右本件實用新案ハ其登錄出願前類似ノ物品ニ關シ容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ帝國内ニ類布セラレタル刊行物ニ記載セラレタルモノニシテ實用新案法第三條第二號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ其登錄ハ同法第十一條ニ依リ無効タルヘキモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十一日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚 本 信 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千五百三十七號

大阪市東區上難波北ノ町九十番地	請 求 人	眞 木 末 吉
同 市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士	右 代 理 人	廣 井 代 藏
同 市東區谷町五丁目二十番地	被 請 求 人	永 世 勝 治
同 市南區内安堂寺町二丁目二百四十番屋敷	同	信 原 二 郎
同 市南區下寺町三丁目四千七百二十九番地	同	松 井 寅 吉
同 市東區道修町五丁目一番地特許辨理士	右 代 理 人	近 藤 貞 三

右當事者間ノ第一二一九號登錄實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人カ製造販賣セル甲第一號證軸受ハ登錄實用新案第一二一九號永世式無双「メタル」ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人カ製造販賣セル甲第一號證軸承ハ第一二一九號登錄實用新案權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人所有ノ登錄實用新案第一二一九號ハ其請求範圍ニ圖面ト其説明トニ示セル如キ構造ノ「メタル」トアリ而テ其説明ニハ「A」ハ蓋部、「B」ハ胴部、「C」ハ接杆軸架ノ下半筒、「D」ハ同シク上半筒、「E」ハ適宜ノ環、「F」ハ軸杆、「G」ハ「A」「B」「C」ヲ締結スヘキ螺合杆、「H」ハ抱側部、「I」ハ嵌側堤、「J」ハ溜油溝、「K」ハ切除孔、「L」ハ覆環部、「M」ハ接杆面、「N」ハ還油孔、「O」ハ止動用凸起、「P」ハ還油口、「Q」ハ注油部、「R」ハ其蓋、「S」ハ注油孔、「T」ハ郭部、「U」ハ油槽部、「V」ハ漏油受、「W」ハ排油孔ノ栓ナリトアリ次ニ要スルニ本案ハ「E」ノ設備ノ爲メニ分離接合スヘキ環「E」以外ニ適宜ノ環ヲ用フルコトヲ得ラレ且ツ溝「E」ニ止動用凸起部ニモ還油口「Q」ヲ設ケタル爲メ軸架以外ニ軸杆「F」ニ浸傳滴下スルノ油ナカラシメ實用上至便ト有益トノ效果アル新案ナリトストアリ依之觀之本登錄實用新案ハ止動用凸起「O」及ヒ溝「E」ニ連續シテ還油口「Q」ヲ設ケタル點ヲ主要部トナスモノナルコトハ明瞭ナリ然ルニ請求人カ製造販賣セル甲第一號證軸承ハ其圖面甲第二號證ノ一、二ニ示ス如キ構造ヲ有スルモノニシテ自働注油ニヨリテ「シャフト」ニ注カレタル油ノ大部分ハ「シャフト」ノ廻轉スルニ從ヒ下部内筒ニ設ケタル傾斜面「3」ヲ傳ヒテ切缺「4」ヨリ油槽「7」ニ歸還スヘクナシタルモノニシテ其餘ノ油ハ内筒ノ兩端ニ設ケタル還油溝「1」ヲ傳ヒテ還油孔「2」ヨリ油槽「7」ニ歸還スヘクナシタルモノニシテ完全ニ油ノ還元ヲナサシムルト共ニ軸承外ニハ絶對ニ油ノ浸傳流出セサラシムルモノナリ故ニ請求人ノ甲第一號證

軸受ハ被請求人所有ノ登録實用新案ノ如ク止動用凸起^イ及ヒ還油溝^ロト連續シテ設ケラレタル還油口^リヲ有セサルハ即チ兩者相違ノ第一點ニシテ又漏油受^ニヲ設ケ「シャフト」ヨリ「メタル」外ニ浸傳流出スル油ヲ受クル裝置ヲ有セサルハ兩者相違ノ第二點ナリ而シテ永世式無双「メタル」ニ於テ溜油溝^ハ、還油孔^ニノ二點カ甲第一號證軸承ノ還油溝^一、還油孔^二ト均等ナルモ斯ノ如キハ自働注油ニヨル軸承ニ於テ極メテ普通ナルハ甲第三號證ニヨリテ一點ノ疑ヒナキ所ナリト云フニアリ 甲第一號證、甲第二號證一、二、甲第三號證一、二、甲第四號證一、二、三及甲第五號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ主張ヲ全然排斥シ同人ノ製造販賣スル甲第一號證軸承ハ第一一二一九號登録實用新案永世式無双「メタル」ノ權利範圍ニ屬スルモノトス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件登録實用新案ノ權利範圍ハ乙第三號證ニ明記スル如ク圖面ト其説明トニ示セル如キ構造ノ「メタル」トアリ絶體ニ圖面及説明ニ記載スルモノ、ミヲ指スニアラス即チ圖面ト其説明トニ示セル如キ構造ハ勿論之レト着想同一ニシテ而カモ機械學上均等又ハ類似ノ構造ニ係ルモノハ當然其範圍ニ入ルヘキモノナルコト今更辯明ヲ俟タスシテ明確ナリ然リ而シテ其前段ニ於ケル説明ヲ更ニ一層ニ的確ナラシムル爲メ後段ニ於テ要スルニ本案ハ「^ロ」設備ノ爲メニ分離接合スヘキ環^エ以外ニ適宜ノ環ヲ用ユルコトヲ得ラレ且ツ溝^ニニ止動用凸起部^ニモ還油口^リヲ設ケタル爲メ軸架以外ニ軸杆^フニ浸傳滴下スルノ油ナカラシメ云々ト附記シ其要旨トスル所ヲ殊ニ指摘セリ元來自働給油「メタル」ノ種類世ニ數多アリト雖モ本件ニ於ケル如キ覆環部^ヲ有スル接杆軸架ヲ上半部トシ同時ニ同下半部ニ溜油溝及還油孔ヲ兩端ニ設ケ更ニ止動用凸起部^ヲモ利用シ還油口^ヲ穿チ尠クトモ軸上半部ニ浸潤滴下スル油ヲ接杆軸架ノ中間ニ於テ側方ヨリ油槽部ニ排出還歸セシムルノ考案着想ハ本件ヲ外ニシテ他ニ存在スルモノニアラス換言スレハ上下接杆軸架ノ接合部ニ於テ下半部ノ軸架ニ還油口^リヲ設ケ之レト同時

ニ分離接合スヘキ給油環又ハ分離接合ノ出來サル無端給油環ヲモ使用スルニ差支ナカラシメタル覆環部^ハ、還油孔^ニヲ有スル還油溝^ハヲ組合シテ成ル「メタル」ハ本件登録新案ノ範圍ニアルモノトス今請求人ノ製作販賣スル甲第一號證ヲ視ルニ其圖面ニ顯ハシタル所ハ本件「メタル」ト異ル所ナシ第一二第三圖ニ於テ上部内筒ニ設ケタル覆環部^ハ本件「メタル」ノ覆環部^ト同一ニシテ分離接合ノ可否ニ拘ラス如何ナル給油環ヲ使用スルモ差支ナカラシム第二、内筒ノ兩端ニ還油溝^ニヲ設ケ之レニ還油孔^ニヲ穿チタルコト第三ニ下部内筒ノ兩上端即チ上部内筒ト接觸スル接合線ニ沿ヒ切缺^ヲヲ設ケタルコト即チ以上ノ三要部ハ本件登録實用新案ノ要旨トスル所ヲ悉ク採リテ之ヲ使用セリ又請求人ハ兩者相違ノ第一點トシテ甲第一號證ハ本件「メタル」ノ如ク止動用凸起部^ヲ及還油溝^ト連續シテ設ケラレタル還油口^リヲ有セスト云フモ之レ口實上ノ遁辭ナリ請求人ハ殊更傾斜面ヲ設ケ直ニ還油溝^トニ連通スル外見上ノ相似ヲ避ケ少シク内方ニ切缺ヲ切開シ本件「メタル」ノ要部ヲ避ケタルモノナリ第二點トシテ本件「メタル」カ漏油受^トヲ設ケタルモ甲第一號證ニハ之レヲ具備セスト云フモ漏油受ノ如キハ軸受ニハ極メテ公知公用ノモノニシテ其存否ノ如何ハ本件係争ノ論旨ヲ左右スルニ足ラス又溜油溝^ハ及還油孔^ニノ二點カ普通ノ設計ニナレルコト甲第三號證ニヨリ疑ヒナキ所ナリト云フモ勿論該溝ノ裝置ハ本件「メタル」ニ於テ新規ナリト主張スルモノニアラス被請求人ノ主張スル所ハ之ト他ノ要部ヲ組合セタル構造ニ付キ權利ヲ主張スルモノナリト云フニアリ乙第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件登録實用新案第一一二一九號永世式無双「メタル」ノ要點ハ其登録請求範圍ニ於テ圖面ト其説明トニ示セル如キ構造ノ「メタル」ト記載シ而テ其圖面ノ説明中ニ於テ「^イ」ハ抱側縁^ヲ、^ロ」ハ嵌側堤^ヲ、^ハ」ハ溜油溝^ヲ、^ニ」ハ切除孔^ヲ、^ニ」ハ覆環部^ヲ、^ニ」ハ接杆面^ヲ、^ニ」ハ還油孔^ヲ、^ニ」ハ止動用凸起^ヲ、^リ」ハ還油口ナリ其他ノ部分ノ構造ニ付キテ説明シタル後チ要スルニ本案ハ「^ロ」設備ノ爲メニ分離接合スヘキ環^エ以外ニ適宜

ノ環ヲ用ユルコトヲ得ラレ且ツ溝區ニ止動用凸起部ニモ還油口^①ヲ設ケタル爲メ軸架以外ニ軸杆^②ニ浸傳滴下スルノ油ナカラシメ云々ト記載セリ之ニ關シ被請求人ハ其答辯書ニ於テ説明シテ曰ク本件ニ於ケルカ如キ覆環部ヲ有スル接杆軸架ヲ上半部トシ同時ニ同下半部ニ溜油溝及還油孔ヲ兩端ニ設ケ更ニ止動用凸起部ヲモ利用シ還油口ヲ穿テ軸上半部ニ浸潤滴下スル油ヲ接杆軸架ノ中間ニ於テ側方ヨリ油槽部ニ排出還歸セシムルノ考案着想ハ本件ヲ外ニシテ他ニ存在スルモノニアラス換言スレハ上下接杆軸架ノ接合部ニ於テ下半部ノ軸架ニ還油口^③ヲ設ケ之レト同時ニ分離接合スヘキ給油環又ハ分離接合ノ出來サル無端給油環ヲモ使用スルニ差支ナカラシメタル覆環部^④、還油孔^⑤ヲ有スル還油溝^⑥ヲ組合セテ成ル「メタル」ハ本件登録新案ノ範圍ニアルモノナリト然ルニ甲第一號證軸承ニ於テハ自働給油ニヨリテ「シャフト」ニ注カレタル油ノ大部分ハ「シャフト」ノ廻轉スルニ從ヒ下部内筒ニ設ケタル傾斜面^⑦ヲ傳ヒテ切缺^⑧ヨリ油槽^⑨ニ歸還スヘクナシ其餘ノ油ハ内筒ノ兩端ニ設ケタル還油溝^⑩ヲ傳ヒテ還油孔^⑪ヨリ油槽^⑫ニ歸還スヘクナシタルモノニシテ完全ニ油ヲ歸還セシムルト共ニ軸承外ニハ絶對ニ油ノ浸傳流出セサラシムルモノナリ而シテ登録實用新案第一一二一九號ニ於ケル上下接杆軸架ノ接合部ニ於テ下半部ヲ設ケタル止動用凸起部ヲ利用シ還油口^⑬ヲ設ケ油ノ「メタル」外ニ浸傳滴下スルヲ防クカ如キノ構造ヲ有セス且油ノ歸還スル通路ヲ異ニスルモノニシテ其要點ニ於テ全然別種ノ構成ニ屬シ決シテ機械學上均等又ハ類似ノ構造ト稱スヘキモノニアラス又此種ノ自働給油軸承ニ於テ適宜ノ給油環或ハ給油鎖ヲ使用シウヘクシ所謂覆環部或ハ還油孔ヲ有スル還油溝ヲ設クルカ如キハ最モ尋常ノ事項ニ屬シ此點ニ於テ相互ニ類似スル所アリト雖モ此爲メニ該實用新案權ノ範圍ニ屬スル理由アルコトナシ又組合ニ付キテ考案スルモノ兩者各組合ノ要素ヲ異ニスルモノニシテ決シテ撞着スヘキモノニアラス故ニ甲第一號證軸承ハ登録實用新案第一一二一九號ノ永世式無双「メタル」ノ權利範圍

ニ屬セサルモノトス其他双方爭フ所アリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十一日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚 本 信 治
特許局事務官 三 浦 惠 一

第二千五百六十六號

大阪市西區立賣堀南通三丁目十五番地 請 求 人 增 田 榮 造
同 市北區絹笠町十番地特許辨理士 右 代 理 人 清 瀨 一 郎
同 市西區阿波座上通一丁目二百一番屋敷 被 請 求 人 關 原 利 兵 衛
同 市東區淡路町一丁目二十四番地特許辨理士 右 代 理 人 佐 々 木 高 吉

右當事者間ノ第二〇四六八號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ製造販賣スル甲第二號證車軸ハ被請求人所有ノ登録實用新案第二〇四六八號車軸ノ權利

範圍ニ屬ス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣スル甲第二號證車軸ハ登録實用新案第二〇四六八號
ノ權利範圍ニ屬セスト審決相成度其理由ハ登録實用新案第二〇四六八號ト請求人ノ製造販賣スル甲第

二號證ノ車軸トヲ比較スルニ根本思想ニ於テ差異アリ即チ第一、登録實用新案第二〇四六八號ハ「ハブ」イラシテ左右摺動ヲ爲サシメサルニ在リ故ニ「ハブ」ノ兩端ニハ彈條ヲ挿入シ且「ハブ」イハ之ヲ軸〇ニ固着セシメタリ然ルニ請求人ノ甲第二號證車軸ハ左右摺動ヲ避クルヨリモ寧ロ前後廻轉ノ圓滑〔摩擦ノ減少〕ヲ主トス故ニ「ハブ」イハ軸〇ヲ廻リ軸〇ハ管軸ハ内ヲ廻リ而シテ軸ト管軸トノ間ニモ亦廻轉球ヲ裝置スルナリ又被請求人ノ實用新案ニ於テ「ハブ」ト軸トカ固着スルコトハ實用上重大ナル障害ト爲ルヘシ然ルニ甲第二號證ノ車軸ハ此障害ナシ第二、請求人ノ甲第二號證車軸ニハ管軸ノ中央ニ押螺子ヲ具ヘタリ之レ注油、掃除等ノ用ヲ爲ス外此種ノ裝置ニ必要缺クヘカラサルモノナリ何トナレハ押螺子ヲ捻チ心軸ノ廻轉ヲ止ムレハ又ハ其方向ニ捻チルコトヲ得テ作業甚タ容易ナレハナリ以上ノ如ク考案ノ眼目ニ於テ大差アルヲ以テ甲第二號證車軸ハ到底登録實用新案第二〇四六八號ノ範圍ニ屬セサルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣スル甲第二號證車軸ハ被請求人ノ實用新案第二〇四六八號車軸ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ有スル實用新案第二〇四六八號車軸ハ管軸ハ内ヲ軸〇カ回轉シ且摺動スルコト自在ナル構造ヲ新規ノ考案ト爲スニ在リテ軸〇ニ車ノ「ハブ」イラ取付クルニハ「ハブ」イニ軸〇ヲ挿シ込ミ其兩端ニ螺旋彈條ヲ裝シ其力ニテ「ハブ」イカ回ハラサル様壓シアルモノニシテ車ノ外周ニ於ケル摩擦カ此力ニ打勝ツ場合即チ曲リ角等ニ於テ方向ヲ轉セントスルカ如キトキニ於テハ「ハブ」イハ軸〇ノ上ヲ回ハルコト勿論ナリ而シテ請求人ノ製造販賣スル甲第二號證車軸ハ管軸ハノ端ニ球受ニヲ附シ管軸ハノ中ニ軸〇ヲ貫通シ其軸〇ニ取付ケアル球押ヘト球受ニトノ間ニ回轉球ヲ裝入シ軸〇ニ「ハブ」イヲ挿シ込ミ其一端ニ彈條ヲ裝シタルモノニシテ單ニ被請求人ノ實用新案車軸ニ於テ「ハブ」イノ兩端ニ彈條ヲ設ケ裝シタルモノヲ請求人

ノ車軸ニ在リテハ之ヲ一側ノミニ裝シタルノ差アルノミ此差タル單ニ彈條ノ壓力ノ強弱ノ程度ヲ異ナラシムルニ外ナラス次ニ請求人ノ甲第二號證車軸ハ實用新案第二〇四六八號ヲ以テ登録ヲ得タル物品ニシテ其説明書中ニモ明カニ被請求人ノ登録實用新案第二〇四六八號ヲ使用シタルコトヲ記載シ前記ノ構造カ被請求人ノ實用新案權ニ屬スルコトヲ認ムルモノナリ之ヲ要スルニ甲第二號證車軸ノ構造ハ押螺子ヲ管軸ニ設ケタル以外ニ於テ登録實用新案第二〇四六八號車軸ノ構造ト同一ニシテ其權利範圍ニ屬スヘキモノナルコトハ請求人モ既ニ認ムル所ノモノナリト云フニ在リテ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 被請求人所有ノ登録實用新案第二〇四六八號車軸ハ其登録請求範圍ニ於テ別紙圖面ニ示ス如ク管軸内ニ軸ヲ挿入シ且管軸ニハ球受ヲ固着シ内軸ニハ球押ヲ螺着シ其間ニ球ヲ挿填シ又内軸ニハ左右ニ摺動シ之ト共ニ廻轉スヘク車ノ「ハブ」ヲ取付ケ其兩側ニ螺旋彈條ヲ挿入シタル車軸ノ構造ト記載シ而シテ其圖面ノ説明中本案ハ軸受兼用ノ管軸ハノ内ニ軸〇ヲ挿入シ管軸ハニハ球受ニヲ螺着シ軸〇ニハ球押ヘヲ螺着シ且「ハブ」イヲ左右ニ摺動スルモ廻轉セサル様軸〇ニ取付ケ「ハブ」イノ兩端ニハ螺旋彈條ヲ挿入シタルモノニシテ本案カ新規ノ考案タル所以ハ管軸ハ内ヲ軸〇カ廻轉シ且摺動スルコト自在ナルヲ以テ車體ハ勿論車輪及「スポーク」ヲ破損スルコトナク云々ト記載セリ之ヲ要スルニ本件實用新案ノ要點トスル所ハ球受ニヲ螺着シタル軸受兼用ノ管軸ハ内ニ球押ヘヲ螺着シタル軸〇ヲ球子軸承ヲ爲スヘク裝置シ「ハブ」イノ兩端ニ螺旋彈條ヲ挿入シテ左右ノ激觸ヲ緩和スルト同時ニ「ハブ」ト軸トヲ壓接シ其摩擦ニヨリテ平常ニ於テハ「ハブ」ト軸〇ト一體ニナリテ廻轉セシムルモノナルハ明瞭ナリ而シテ其街角ヲ廻ル場合ニ於テ車ノ外周ニ於ケル摩擦カ此螺旋彈條ノ壓接摩擦ニ打勝ツトキハ「ハブ」イハ軸〇ノ上ヲ廻轉スルハ構造上自然ノ結果ナリトス而シテ請求人ノ製造販賣スル甲第二號證車

軸ハ球受ニ有スル管軸ハ内ニ球押ヘテ螺着シタル軸口ヲ球子軸承ヲ爲スヘク装置シ軸ノ外端ニ螺子ト「ハブ」トノ間ニ在リテ之ヲ調節スル螺旋彈條ルヲ設ケ又管軸ノ中央ニ押螺子ヲ具ヘテ注油、掃除等ノ際螺釘又ヲ螺脱或ハ螺着スルニ方リ軸口ヲ固定セシメ作業ヲ容易ナラシムヘク爲セルモノナリ此等兩者ヲ比較スルニ球受ニ有スル管軸ハ内ニ球押ヘテ螺着シタル軸口ヲ球子軸承ヲ爲スヘク装置シ且「ハブ」ニ螺旋彈條ヲ裝設シタルハ兩者構成同一ニシテ且其作用均等ナルヲ以テ互ニ一致シ此點ニ於テハ甲第二號證軸承ハ登錄實用新案第二〇四六八號車軸ノ權利範圍ニ屬ス而シテ甲第二號證ニ於テ螺旋彈條ヲ一箇トシ又軸口ヲ固定シテ螺釘又ヲ螺脱或ハ螺着スルニ便ナラシメ且注油掃除ニ便ナラシムルモ此點ノ相違ノ爲メニ甲第二號證車軸カ登錄實用新案第二〇四六八號車軸ノ權利外ニ出ツルノ理由トナルヘカラサルモノナリ故ニ請求人ノ製造販賣スル甲第二號證車軸ハ被請求人所有ノ登錄實用新案第二〇四六八號車軸ノ權利範圍ニ屬スルモノトス其他當事者間ニ於テ相争フ所アルモ審決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十一日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 同 塚 本 信 治
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千三百九十號

愛知縣中島郡一宮町大字一宮千二百二番戸
 東京市京橋區采女町二十七番地特許辨理士
 同 市京橋區采女町二十七番地特許辨理士
 名古屋市西區押切町十二番地

請 求 人 大 橋 綱 次 郎
 右 代 理 人 木 戸 傳
 同 市 川 寛
 被 請 求 人 石 原 平 左 衛 門
 右 代 理 人 鈴 木 千 代 吉

右當事者間ノ第七二六三號登錄實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ製作販賣スル甲第一號證豆粕削器ハ登錄實用新案第七二六三號豆粕粉砕器ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製作販賣スル甲第一號證豆粕削器ハ請求人所有ニ係ル第七二六三號登錄實用新案豆粕粉砕器ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ第七二六三號登錄實用新案豆粕粉砕器ハ裏面兩端ニ於テ把手棒ヲ挿貫スヘキ二箇ノ透孔ヲ有スル鉋臺ノ面ニ前後二箇ノ傾斜狀ヲ爲セル刃物支持溝ヲ設ケ此等二箇ノ斜溝ニ櫛形刃物ヲ刃並ノ位置ヲ違ヘテ嵌入シタル構造ヲ要部トス然ルニ被請求人ノ製作販賣スル豆粕削器ハ甲第一號證ニ示ス如ク裏面兩端ニ把手棒ヲ挿貫スヘキ二箇ノ透孔ヲ有スル鉋臺ノ側面ニ開通シテ前後二箇ノ傾斜セル刃物支持溝ヲ設ケ該溝中ニ一方ハ五箇他方ハ六箇ノ刃先ヲ有スル櫛形刃物ヲ嵌入シ楔ニ依リ兩刃物ノ刃並ノ位置ヲ違ヘテ裝置セシメタル構造ヲ有ス仍テ後者ハ前者ノ要部ト全然同一ノ構造ヲ具備スルコト明瞭ナリ但シ被請求人ノ豆粕削器ニ於テハ鉋臺ノ裏面ニ於ケル把手棒ヲ挿貫スヘキ透孔部ノ一方ヲ框狀ニ作り軸ニ依リ鉋臺ノ端面ニ於テ起伏自在ニ裝着セシメ該框ノ他端ニハ鉋臺ノ平面ヨリ稍突出ス

ヘキ位置ニ於テ轉子ヲ橫架シ使用中鉋ノ往路ニハ刃物ヲ豆粕面ニ作用セシメ歸路ニハ「ロール」ノ下降ニ依リ刃物ヲ豆粕面ヨリ引上ケ以テ鉋ヲ輕滑ナラシムル構造アリト雖モ此構造ハ本件係争ノ要部外ナル附帶的構造ニ屬シ之レアルカ爲メニ請求人ノ實用新案ニ對スル權利ノ撞着關係ヲ否定シ得ヘキモノニアラスト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ第七二六三號登錄實用新案豆粕粉砕器ト被請求人ノ製造販賣スル明治四十二年十月二十七日附ヲ以テ登錄セラレタル第一五四一號登錄實用新案天狗豆粕削トヲ對照スルニ請求人ノ鉋臺ニ於ケル把手棒挿貫孔ハ二箇何レモ鉋臺ニ固定シ決シテ鉋臺トノ關係位置ヲ變更スルコトナキニ反シ被請求人ノ鉋臺ニ於ケル把手棒挿貫孔ハ其ノ一ハ鉋臺ニ固定シアルモ他ハ臺ノ他端ニ樞着セル起伏棒ニ設ケラレタルヲ以テ其ノ押引キ毎ニ鉋臺トノ關係位置ヲ變更スルモノニシテ彼此其構造ヲ異ニセリ又實用上ノ效果ニ於テモ被請求人ノ鉋臺ハ其ノ一端ニ起伏棒ヲ樞設セル結果前進スルニ當リ鉋刃カ豆粕ノ盤面ニ密接シテ之レヲ細削シ其後退ニ當リテハ起伏棒カ自ラ興起シテ鉋刃ト盤面トノ接觸ヲ脱シ鉋刃ノ磨損ヲ防止スルト同時ニ起伏棒下端ノ轉子ニ依リ輕ク運動シ大ニ勞力ヲ省減スルノ效アルモ請求人ノ鉋臺ハ斯ノ如キ巧妙ナル設備ヲ缺キ單ニ兩端ニ固定セル把手棒ヲ以テ押引キスルモノナレハ勞力ヲ要スルコト甚大ナルノミナラス鉋刃ヲ磨損スルコト甚シク爲メニ暫時ニシテ作業ヲ休止スルノ止ナキニ至ルノ不便アリ次ニ鉋刃ノ形態カ櫛狀ナル點ハ兩者類似スル如クナルモ請求人ノ鉋ハ其ノ刃先平ナルカ故ニ豆粕搔削ノ際大ナル抵抗ヲ受クルニ反シ被請求人ノ鉋ハ刃先カ矢羽狀ニ形成セラレ、ヲ以テ抵抗少クシテ極メテ輕ク操作シ得ルモノナリ加之其ノ削取物モ刃先ノ平ナル鉋ヲ用キタルモノハ紙片狀ヲ呈シ更ニ之レヲ搗碎スルニ非ラサレハ施肥ノ用ニ適セサルニ反シ矢羽狀ノ刃先ニテ搔削セルモノハ自

カラ粉粒トナリテ剝離スルヲ以テ別ニ搗碎スルノ要ナク直チニ施肥用ニ供シ得ルモノニシテ兩者ノ鉋刃ハ構造及效能ニ於テ差異優劣アリ要スルニ以上ノ如ク兩者ノ部分タル鉋臺及鉋刃ノ間ニ劃然タル區別アル以上ハ其ノ組合セ構造ノ別種ナルコト論ヲ俟タス加之被請求人ノ製造販賣スル豆粕削ハ第一五四一號登錄實用新案ニ基キテ製作シタルモノニシテ右實用新案ハ其ノ出願ノ當時既ニ本件請求人ノ第七二六三號登錄實用新案及之レニ類似スル特許若ハ登錄實用新案ノ存在アリテ公報ヲ以テ公布セラレタルニ拘ハラズ新規ノ考案ナリト査定セラレタルニ徴スルモ兩者何等權利範圍ノ撞着ナキコト明瞭ナリ又請求人ハ兩者共鉋臺ニ二列ノ櫛形刃物ヲ刃並ノ位置ヲ違ヘテ嵌入スヘキ構造ヲ具有スト主張スルモ被請求人ノ鉋臺ハ單ナル斜溝ヲ有スルノミニシテ刃並ノ位置ヲ違ヘテ櫛形刃物ヲ嵌着スルカ如キ特殊ノ構造アルヲ見ス而シテ鉋臺ニ鉋刃ヲ嵌入スヘキ斜溝ヲ具フルコトハ最モ普通ノ事ニ屬シ本件ニハ何等ノ關係ナキモノトスト云フニ在リテ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件登錄實用新案第七二六三號豆粕粉砕器ハ兩端ニ把手棒ヲ挿貫スヘキ二箇ノ透孔ヲ有スル鉋臺ノ面ニ傾斜セル刃ヲ支持溝ヲ前後二列ニ設ケ該斜溝ニ刃先扁平ナル櫛形刃物ヲ刃並ノ位置ヲ違ヘテ嵌入シタル構造ニ在リ然ルニ甲第一號證豆粕削器ニ使用セル櫛形刃物ハ前者ノ如キ扁平ナル刃先ニアラスシテ矢羽狀ヲナシ且ツ把手棒ノ一ハ前者ノ如ク悉ク鉋臺ニ固着セラル、ニアラスシテ轉子ヲ下面ニ有スル起伏棒上ノ透孔ニ挿貫セラル、構造ナルヲ以テ鉋臺並ニ鉋刃共二者均シカラサルノミナラス豆粕ニ作用スル情態モ亦同シカラス請求人ハ本件登錄實用新案第七二六三號ニ缺如セル起伏棒ノ如キハ附帶的構造ニ過キスト主張スルモ其係争要部ト稱スル鉋臺及刃物ヲ異ニスル以上ハ之ヲ附帶的構造ナリト認ムルヲ得サルハ自明ノ理ナリ從テ二者ハ劃然タル區別ヲ有スル別種ノ構造ニシテ互ニ撞着スルトコロナキモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月七日於特許局

審判長 特許局技師

同 特許局事務官

一 川 一
小野 喜惣治
奥山 萬次郎

* 四十二

第二千五百四十五號

京都府葛野郡朱雀野村字壬生十八番戸

京都市上京區二條通高倉西入松屋町五十五番地特許辨理士

福井縣敦賀郡敦賀町津内百五十八號十一番地

福井市寶永下町六十五番地特許辨理士

請 求 人 橋 詰 章 三
右 代 理 人 淺 村 三 郎
被 請 求 人 大 槻 末 吉
右 代 理 人 大 塚 表 一

右當事者間ノ第一九六五號登錄實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ製作販賣ニ係カル羽織紐即四本ノ織布ヲ結締メ一結締毎ニ四本ノ絲條ヲ織布ト共ニ結締

メテ製セル羽織紐ノ構造ハ第一九六五號登錄實用新案ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣スル甲第二號證羽織紐ハ被請求人ノ所有スル第一九

六五五號登錄實用新案ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請

求人ノ所有スル第一九六五五類登錄實用新案〔甲第一號證〕ハ其請求範圍ニ示ス如ク螺旋彈條ヲ中心柱
ト爲シ四本若ハ三本ノ織布ヲ材料トシテ角形、平形、菱形ニ結締メテ疊ミ製造シタル紐ナリ而シテ請求
人ノ製造販賣スル羽織紐〔甲第二號證〕ハ四本ノ織布ヲ結締メ一結締毎ニ四本ノ絲條イロハニヲ同様ニ
結締メ組地ヲ堅固ニ崩解ヲ防止セルモノナリ而シテ本件實用新案ハ一材料ノ織布ナルコト二四本若ハ
三本ニテ角形、平形、菱形ニ結締メ疊ミタルコト三中心ニ螺旋彈條ヲ柱トセルコトノ三要素ヨリ成ルモ
ノナルヲ以テ其三要素ノ一ヲ缺如スレハ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬セサルコト勿論ナリ然ルニ右要
素中其材料ノ普通ナルコト及結方ノ何人モ熟知スル所ナルコトハ論證ノ要ナキ程度ノモノナルヲ以テ
請求人ノ甲第二號證羽織紐ハ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬セサルコト明白ナリ況ンヤ請求人ノ甲第二
號證羽織紐ハ本件實用新案ノ主要ノ要素タル螺旋彈條ヲ缺如シ且紐ノ堅固ト崩解トヲ防止スル別手段
ヲ施シタルモノナルニ以テヲヤト云フニ在リテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ
被請求人申立ノ要旨ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求
人ノ權利ニ屬スル本件實用新案ノ登錄請求範圍ハ一材料ノ織布ナルコト二角形、菱形、平形等ニ結ヒ締
メ疊ミタルコト三中心ニ螺旋彈條ヲ使用セルコトノ三條件ナルコトハ請求人ノ承認セル所ノ如シ然ル
ニ羽織紐等ニ織布ヲ材料トシテ之ヲ結ヒ締メテ製スルコトハ決シテ公知ノ事實ニアラス又請求人ハ螺
旋彈條ヲ使用セスシテ四本ノ織布ヲ結締メ一結締毎ニ四本ノ絲條ヲ同様ニ結締メ組地ヲ堅固ニ爲シタ
ルカ故ニ別箇ノ考案ナリト主張セラレタルモ斯ノ如クシテ製造セラレタル紐ハ第二圖ノ如クイロハニ
ノ絲條カ紐ノ表面ニ顯ハルルモノニアラスシテ使用セラレタル四本ノ織布ノ合セ目ニ埋没セラルルモ
ノナルヲ以テ請求人主張ノ如ク製作セラレタル紐ハ外形上本件實用新案ト區別ナシ且甲第二號證ハ實
物ト同一ニアラサル圖面ニシテ被請求人ハ之ヲ承認スルヲ得ス尙ホ被請求人ノ主張ノ如ク四本ノ絲條
ヲ使用スルコトハ何等紐ノ崩壞ヲ防止スルノ實效ヲ有スルモノニアラサルコト明白ナリ加之請求人ハ

* 四十三

其製作ニ係ル紐カ被請求人ノ權利侵害ノ事項タルコトヲ承認シテ其製作ヲ廢止スヘキコトヲ確約シタル謝罪證書ヲ差入レタルヲ以テ請求人ハ被請求人ノ主張ヲ認諾シタルモノナリ以上ノ理由ニ依リ本件請求ハ之ヲ棄却セラルヘキモノナリト云フニ在リテ乙第一號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 被請求人ノ所有ニ係ル第一九六五五號登錄實用新案ハ螺旋彈條ヲ中心柱ト爲シ四本若ハ三本ノ織布ヲ材料トシテ角形、平形、菱形等ニ結締メテ製作シタル羽織紐ノ構造ナルコトハ其請求範圍ニ於テ明示スル所ナリ從テ右登錄實用新案ハ(一)材料ノ織布ナルコト(二)角形、平形、菱形ニ結締ムルコト(三)中心ニ螺旋彈條ヲ使用スルコト以上三要件相結合シテ始メテ實用新案權ヲ構成スルモノニシテ右各要件ハ孰レモ構造上其一部ニ止マリ獨立シテ權利ノ範圍ヲ爲スモノニアラス然ルニ甲第二號證羽織紐ハ四本ノ織布ヲ結締メ一結締毎ニ四本ノ絲條ヲ同様ニ結締メテ製作シタルモノニシテ織布ヲ材料ト爲スコト及之ヲ角形ニ結締ムルコトノ如キ考案ニ對シテ第一九六五五號登錄實用新案權ノ及フヘキ理ナキハ前記説明ニ於テ明カナルノミナラス甲第二號證羽織紐ニ於テハ第一九六五五號登錄實用新案ニ於ケル中心柱トシテ螺旋彈條ヲ使用スル考案ヲ全然缺如シ却テ之ト其本質ヲ異ニセル絲條ヲ使用シ而カモ絲條四本ヲ織布ト共ニ結締セル如キ第一九六五五號登錄實用新案ニ於テ見サル別箇ノ考案ヲ採用スルモノニシテ第一九六五五號登錄實用新案ノ權利ニ相觸ルル所ナシ次ニ被請求人ハ請求人主張ノ如ク製セラレタル甲第二號證羽織紐ニ於ケル四本ノ絲條ハ織布ノ合セ目ニ埋没セラルルモノニシテ圖面ト實物ト相違スト主張スルモ右四條ノ絲カ外部ニ顯出スルモ或ハ否ラサルモ之カ爲メニ本審決ニ何等ノ關係ヲ及ホスヘキモノニアラス其他當事者間互ニ論争スル處アルモ本審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ加ヘ以上ノ理由ニ依リ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十四日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚 本 信 治
特許局事務官 村 山 小 次 郎

第二千五百二十二號

東京市日本橋區馬喰町二丁目八番地 請 求 人 伊 藤 万 吉
同 市日本橋區馬喰町三丁目十二番地 同 荻 村 龜 太 郎
同 市淺草區猿屋町十七番地 同 榎 桑 三
同 市淺草區下平右衛門町十四番地 同 横 井 玉 治
同 市淺草區茅町一丁目八番地 同 山 田 由 吉
同 市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士 右 代 理 人 稻 木 繁 太 郎
名古屋市三輪町庚百二十五番戶 被 請 求 人 落 合 兵 之 助

右當事者間ノ第三七五三號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ所有ニ係ル第三七五三號實用新案襟止ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ被請求人ノ所有ニ係ル第三七五三號實用新案襟止ノ登録ハ無効ナリ審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ明治三十九年十月十五日出願同年十一

主文 被請求人ノ第二一七三二號實用新案登録ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第二一七三二號實用新案登録ハ之レヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人カ明治四十四年五月二日實用新案ノ登録ヲ出願シ同年九月九日其登録ヲ受ケタル前記實用新案ハ其登録出願以前ヨリ一般農家ニ於テ製造シツ、アルモノニシテ新規ノ考案ニアラス請求人及被請求人ハ共ニ右壘苞ノ販賣ヲ營業セルモノナルニ拘ラス被請求人ハ之ヲ新規ノ考案ニ係ルモノトシテ登録ヲ受ケタリ又本件實用新案中ノ壘苞ノ出入口ノ周圍ニ芯ヲ施スコトハ何等重要ノ關係ヲ有セサルコトハ被請求人對請求人ノ第二一七三二號實用新案權利確認事件ニ於テ被請求人ノ認ムル所ナルノミナラス芯ヲ入ル、コトハ從來一般ニ行ハル、所ノ範ヲ入ル、ノ方法ト同一ノ考案ニ屬シ新規ノ考案ト云フヘカラスト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且ツ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ハ其編ミ方及壘苞ノ出入口ノ周圍ニ芯ヲ入ル、コトノ二要素相集マリテ成レルモノニシテ其編ミ方ハ古來ヨリ行ハレタリト稱スル交又編ト同一ナルモノニアラス假リニ交又編ヲ轉用シタリトスルモ本件實用新案ハ此外尙ホ壘苞ノ出入口ニ芯ヲ入レタル構造ニアルヲ以テ無効トナルヘキモノニアラスト云フニアリ

審決ノ理由

被請求人ノ本件第二一七三二號登録實用新案島式改良壘苞ハ明治四十四年五月二日其登録ヲ出願シ同年九月九日其登録ヲ受ケタルモノニシテ其登録請求範圍ニハ別紙圖面ニ示セル總テノ構造ヲ具備スル島式改良壘苞トアリ而シテ其圖面ノ説明ニハ「イハ壘苞ノ出入口ノ周圍ニ施シタル芯」ハ編

絲ニハ藁又ハ麥稈ニシテ之ヲ二ツニ折リタル間ニ芯ヲ挟ミ上方ニ於テ編絲口及ニ依リ二箇所ニテ之ヲ編ミ芯ニ近キ絲口ニ於テハ同一ノ藁又ハ麥稈ヲ同一ノ編目ニ入レ又芯ニ遠キ絲口ニ於テハ一ノ藁又ハ麥稈ノ内側ニアル部分ト之ニ隣接セル藁又ハ麥稈ノ外側ニアル部分ト同一ノ編目ニ入ラシムト記載セルヲ以テ本件實用新案ハ被請求人主張ノ如ク前記編ミ方ヲ壘苞ノ出入口ノ周圍ニ入レタル芯ヲ苞ミテ施シタル構造全部ニアリト云ハサルヘカラスト然ルニ之レト同一構造ヨリ成ル物品カ本件登録實用新案ノ出願前〔即チ明治四十四年五月二日前〕帝國內ニ於テ公然知ラレ及ヒ公然用キラレタルコトハ證人平松仙太郎ノ證言中『御訊ノ通り壘苞ノ出入口ノ周圍ニ芯ヲ入ルルコトヲ自分カ工風シマシテカラ多勢ノ百姓モ壘苞ヲ拵ヘル時ニハ皆芯ヲ入レル様ニナリマシタ』ト云ヘル陳述又『證人ノ工風シタ壘苞ノ出入口ニ近キ編絲〔第一ノ編絲〕ニ於テハ同一ノ藁又ハ麥稈ヲ同一ノ編目ニ入ラシメ壘苞ノ出入口ニ遠キ編絲〔第二ノ編絲〕ニ於テ一ノ藁又ハ麥稈ノ内側ニアル部分ト之レニ隣接セル藁又ハ麥稈ノ外側ニアル部分ト同一ノ編目ニ入ラシムル構造ナルヤ』トノ問ニ對シテ『御訊ノ通りノ構造テアリマシタ』トノ答又『芯ハ如何ナル個所ヘ入レテ居リシヤ』トノ問ニ對シテ『壘苞ノ出入口ニ當ル個所ノ藁又ハ麥稈ノ折目ノ内ヘ藁ノ動カヌ様ニ芯ヲ入レテ居リマシタ』トノ答及『藁ノ様ナ編方ト芯ヲ入ルルコトヲ結合シテ壘苞ニ應用シタルハ何時頃ナルヤ』ノ問ニ對シテ『明治三十六七年比テアリマス』ナル陳述ヲ徵シテ明ナリ故ニ本件登録實用新案ハ實用新案法第三條第一項ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ同法第十一條ニ依リ其登録ヲ無効ト爲スヘキモノナリ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十四日於特許局

審判長 特許局技師 塚本 信治

第二千四百七十八號

兵庫縣津名郡假屋町二千三百五十番地	請求人	島圓次郎
大阪市南區安堂寺橋通四丁目二百三十五番屋敷特許辨理士	右代理人	山内香
兵庫縣津名郡江井村ノ内柳澤村	被請求人	壽谷清吉
同 縣津名郡浦村ノ内浦村	同	伊藤忠吉
同 縣津名郡浦村ノ内中山村	同	正井周平
同 縣津名郡假屋町ノ内宇島田	同	廣田コウ
同 縣津名郡假屋町ノ内假屋浦	同	相田龜藏
同 縣津名郡佐野村ノ内宇佐野村	同	高谷茂吉
同 縣津名郡佐野村ノ内小井	同	向田幸吉
同 縣津名郡淺野村	同	田邊太郎
同 縣三原郡賀集村ノ内八幡村	同	森田新助
同 縣三原郡賀集村ノ内八幡村	同	正木定市
同 縣三原郡神代村ノ内神稻村	同	榎本鬼餘門
神戸市下山手通六丁目五番地特許辨理士	右代理人	大野清茂

特許局事務官 奧山萬次郎
同 村山小次郎

*五十

兵庫縣三原郡市村ノ内市村十一ヶ所村

被請求人 藤岡由平

右當事者間ノ第二一七三三號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

被請求人藤岡由平ニ對スル本件請求ハ之レヲ却下ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人等ノ製造販賣セル壘苞ニ於テ壘ノ出入口ニ近キ編絲ニ於テハ

同一ノ藁又ハ麥稈ヲ同一ノ編目ニ入ラシメ壘ノ出入口ニ遠キ編絲ニ於テハ一ノ藁又ハ麥稈ノ内側ニアル部分ト之レニ隣接セル藁又ハ麥稈ノ外側ニアル部分ト同一ノ編目ニ入ラシムル構造ハ登録第二一七三三號實用新案權利範圍内ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ前記實用新案ハ壘苞ニ於テ壘ノ出入口ノ周圍ニ芯ヲ入レ且ツ上下二段ノ編絲ノ中壘ノ出入口ニ近キ編絲ニ於テハ同一ノ藁又ハ麥稈ヲ同一ノ編目ニ入ラシメ壘ノ出入口ニ遠キ編絲ニ於テハ一ノ藁又ハ麥稈ノ内側ニアル部分ト之レニ隣接セル藁又ハ麥稈ノ外側ニアル部分ト同一ノ編目ニ入ラシメ以テ上下段ノ編絲ヨリ生スル間隙ノ直通スルコトナカラシメ依テ内部ヨリノ壓迫ニ依リ壘若クハ之レニ貼付シタル商標ヲ露出毀損スルコト無カラシメ且ツ數回ノ使用ニ堪ヘヘカラシメタルモノナリ然ルニ被請求人等ハ前記構造中壘ノ出入口ノ周圍ニ芯ヲ入ルコトヲ除キタル以外ノ構造全部ヲ窃用シテ製作販賣シ請求人ノ實用新案權利範圍ヲ侵害セリ蓋シ壘ノ出入口ノ周圍ニ芯ヲ入ルコトハ本實用新案ノ從屬部分ニ過キスシテ被請求人等ノ窃用シタル部分ハ本實用新案ノ要部ナリト云フニアリテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ被請求人等カ販賣セル壘苞ノ編ミ方ハ請求人ノ登録第二一七三三號實用新案權利

ノ登録範圍ト同一ナリ審判費用ハ請求人ノ負擔タルヘシト審決相成度其理由ハ請求人ノ登録セル本件
實用新案ノ範圍ト同一ノ編ミ方ヲ壘苞ニ用キ始メシハ五六年前ノコトニシテ淡路國一圓ノ農家ノ副産
物トシテ廣ク行ハレシ所ナリ然ルニ請求人ハ之ニ對シ實用新案ノ登録ヲ受ケシモノニシテ被請求人等
ハ從來行ハレタル編ミ方カ本件實用新案ノ範圍ト同一ナルコトハ曾テ爭ヒタルコトナシト云フニアリ
テ乙第一號證乃至乙第四號證ヲ提出セリ被請求人藤岡由平申立ノ要領ハ被請求人ハ本件ニ付何等關係
ナキヲ本件請求ニ應スル義務ナシ其理由ハ被請求人ハ自己ノ邸内一部ノ建物ヲ赤穂利平ニ貸與シ壘苞
ノ製造販賣ハ同人ノ營業ニ屬スル所ニシテ被請求人ノ事業ニアラスト云フニアリテ乙第五號證ヲ提出
セリ

審決ノ理由 本件第二一七三二號登録實用新案島式改良壘苞ハ其願書附屬圖面及其說明ニ依レハ壘ノ嵌
入口ノ周圍ニ芯ヲ入レ其嵌入口ニ近キ編絲ニ於テハ同一ノ藁又ハ麥稈ヲ同一編目ニ入レ而シテ嵌入口
ニ遠キ編絲ニ於テハ一ノ藁又ハ麥稈ノ内側ニアル部分ト之レニ隣接セル藁又ハ麥稈ノ外側ニアル部分
トヲ同一ノ編目ニ入レタル全體ノ構造ヨリ成ルモノナルハ其登録請求範圍ニ於テ別紙圖面ニ示セル總
テノ構造ヲ具備セル島式改良壘苞ト記載シタルニ徴スルモ明瞭ナリ其構造中ノ一部タル嵌入口ノ周圍
ニ芯ヲ入ルルコトハ請求人主張ノ如ク本件實用新案ノ附屬部ナリト云フヲ得ス而シテ被請求人等ノ製
造販賣セリト稱スル構造ハ本件實用新案ノ構造中嵌入口ノ周圍ニ芯ヲ入ルルコトヲ缺如シタル以外ノ
構造ニアルカ故ニ本件實用新案トハ別種ノ構造ニ屬シ本件實用新案ノ範圍ニ屬スルモノニアラス又被
請求人藤岡由平ハ本件請求ニ關係ヲ有セスト主張シ兵庫縣三原郡市村々長ノ證明書ヲ提出スルモ請求
人ハ之レニ對シ何等反證ヲ提出セス又一件記録中被請求人藤岡由平カ壘苞ノ製造販賣ヲ爲シタルノ證
據ナキヲ以テ右被請求人ニ對スル本件請求ハ之レヲ却下スヘキモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十三日於特許局

審判長 特許局技師 塚本 信治
特許局事務官 奥山 萬次郎
同 村山 小次郎

第二千五百號

大阪市東區南久寶寺町四丁目八十八番屋敷	同	請求人	藤森源之助
同 市南區順慶町二丁目四十九番地	同	同	井上清次郎
同 市東區唐物町二丁目二十七番屋敷	同	同	川瀬正七
同 市東區博勞町四丁目四十二番地	同	同	駒井伊八
同 市東區北久寶寺町三丁目五十四番屋敷	同	代理人	鈴木勘右衛門
同 市東區伏見町二丁目十一番地特許辨理士	同	代理人	吉田音松
同 市東區備後町五丁目十五番地	同	被請求人	丸井宇三郎
同 市東區備後町二丁目三十六番地特許辨理士	同	代理人	堤他彦

右當事者間ノ第二四九八〇號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第二四九八〇號實用新案登録ハ之レヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ右實用新案ハ被請求人カ明治四十五年一月二十七日出願シ同年七月二十六日其登録ヲ受ケタルモ斯カル物品ハ出願前數年來ヨリ帝國内ニ於テ製造販賣セラル、公知公用ノ物品ニシテ何等新規ナル考案ヲ有スルモノニアラス該品ハ明治四十二年以來我國ノ輸出品トシテ廣ク清國等ニ輸出セラレタリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第十七號ヲ提出シ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ハ其登録請求範圍ニ明記シ且ツ其圖面竝ニ説明ニ示スカ如ク三折財囊ノ内面ニ鏡面、耳搔キ、櫛及ヒ耳刷子等ヲ收藏スヘカラシメタル錢入ニ於テ鏡面ヲ直立スヘクナシタル囊ヲ設ケタル點ヲ骨子トスル財囊ニシテ各囊相俟テ實用的效果ヲ奏セシムヘクナシタルモノナリ故ニ抽象的ニ化粧道具財囊ト云ヘルカ如キ觀察ヲ以テスルハ不可ナルノミナラス假リニ囊③ヲ除キタル其他ノ部分ニ類似スル構造ヲ有スル錢入カ本願出願前存在セリトスルモ之レヲ以テ本件實用新案ヲ無効トナスコトヲ得ヌ又本件實用新案ト同一又ハ類似ノ物品カ其出願前公知公用ナリシコトヲ認メスト云フニアリ

審決ノ理由 被請求人ノ第二四九八〇號登録實用新案ハ明治四十五年一月二十七日出願シ同年七月二十六日其登録ヲ受ケタルモノニシテ其登録請求範圍ニ依レハ圖面ニ示ス錢入レノ内面ニ二重囊②③及囊④欠孔⑤四箇ヲ設ケ上部二重囊②③ニハ鏡⑥ヲ收容シ使用ノ際ハ囊③中ニ直立スヘク又囊④ニハ櫛⑧ヲ收容シ欠孔⑤ニハ耳搔キ⑦及耳刷毛⑨ヲ挿入シテ普通日用ノ化粧道具ヲ收ムヘキ構造ヨリ成ルモノニシテ鏡ヲ使用スル際ニ囊中ニ直立スヘクナシタル構造ハ本件實用新案中主要ナル部分ヲナスモノナリ然ルニ證人竹口安吉カ本件實用新案ノ登録出願以前ヨリ製造セリト稱スル錢入レハ鏡ヲ横ニ挿

入セシモノニシテ縦ニ直立シ得ヘキ構造ヲ缺クモノニシテ本件實用新案ノ主要部分ヲ缺如シ全ク別種ノ構造ニ屬スルヲ以テ之レニ依リ本件實用新案ヲ無効ト爲スコトヲ得ヌ又證人前田彦七ノ證言ハ其製造セシ錢入ノ構造ニ付確カナル記憶存セスト云フヲ以テ其證言ハ信憑スルニ足ラス又證人阪井佐平ノ陳述中本件實用新案錢入ヲ製造セシコトヲ明言スルモ其時日ニ付陳述ナキヲ以テ本件實用新案ヲ無効トスヘキ效力ナシ又甲第二號證乃至甲第十二號證中ノ物品ハ其構造ノ表示明カナラサルヲ以テ本件實用新案ト同一構造ナルコトヲ認ムルヲ得ヌ要之本件請求ハ其證據十分ナラサルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十七日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 小野喜惣治
特許局事務官 奥山萬次郎

第二千四百七十七號

大阪市南區難波新川二丁目番外三百八十八番屋敷 請求人 安井万治郎
同 市北區天滿橋筋二丁目七番屋敷 被請求人 石川市藏

右當事者間ノ第一七三三五號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第一七三八五號實用新案登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件登録實用新案ハ明治四十三年五月三日出願シ同年六月七日其登録ヲ受ケタルモ之レト同種類ノ物品ハ其登録出願以前既ニ請求人ニ依リテ出願番號第三三六八三號ヲ以テ出願セラレ明治四十二年六月十四日附ヲ以テ拒絶セラレタル事實アルニ依リ本件實用新案ノ登録ハ之レヲ無効ト爲スヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由

請求人ハ自己ノ出願ニ係ル願書番號第三三六八三號二重縁釣瓶ハ被請求人ノ本件第一七三八五號實用新案釣瓶ト同種類ナリト主張スト雖前記二重縁釣瓶ハ其請求範圍、圖面及圖面ノ説明ニ明記スル如ク圓筒(一)、針金卷込縁(二)、二重縁(三)、釣桿(四)ノ構造ヨリ成レルニ反シ本件實用新案ハ其登録請求範圍ニ明示スル如ク釣瓶體ノ上縁ニ當テ縁金(五)ヲ當テ之レカ上縁端ヲ曲ケテ縁線金(六)ヲ卷キ込ムヘクナシタル構造ニアルヲ以テ上縁ニ針金ヲ卷キ込ミタル點ニ於テハ兩者相同シト雖其之レヲ包被スル構造ニ於テ前述ノ如ク兩者相異ルヲ以テ兩者ハ同一若クハ類似ノ構造ト云フヲ得ス故ニ請求人ノ出願カ先願ニ屬スルモ之レニ依リ本件實用新案ヲ無効ト爲スコトヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月十九日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
同 塚本信治
同 特許局事務官 奥山萬次郎

第二千五百五十一號

請求人 シンガソウイニング、メシ
横濱市山下町二十三番地
同 右代理人 岸清一
東京市京橋區宗十郎町一番地特許辨理士
同 堀江專一郎
市京橋區宗十郎町一番地特許辨理士
被請求人 吉田彌之助
京都市下京區六角通り新町西へ入ル西六角町七番戸

右當事者間ノ第二三三二一六號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第二三三二一六號登録實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第二三三二一六號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ハ明治四十四年七月一日ノ出願ニ係リ同年十一月十六日登録セラレタルモノニシテ其要旨ハ「ミシン」縫ノ裏ノ絲ノ調子ヲ強クナシテ千鳥(口)ニ掛ケテ表上縁(ハ)ヲ引寄セ爲メニ織布(イ)ハ空布門(ヘ)ヲ生シテ表面ニ隆起(ニ)ヲ生シ「ミシン」ニテ縫フニ從ヒ一種ノ突起線(ホ)ヲ任意ノ形狀ニ現ハシテ諸種ノ裝飾ヲ爲ス立浪縫ナリ然ルニ「立浪縫」ハ請求會社カ多年間世界各國ニ於テ販賣シ來レル第三十二種「ミシン」機械ヲ以テスレハ容易ニ縫ヒ出シ得ヘキモノニシテ現ニ請求會社ハ之ヲ明治三十四年八月申中ノ印刷ニ係ル「カタログ」ニ掲載シテ日本國內ニ頒布シ且該種ノ機械ハ明治三十八年一月中始メテ日本國ニ輸入シ爾來廣ク販賣シツ、アリ加之本件實用新案出願前既ニ請求會社製造第三十二種「ミシン」機械ヲ用キ立浪縫ヲ商品ニ加工シテ之ヲ販賣シ居ルモノ多數存在ス之ヲ要スルニ本件實用新案ハ其出願前ニ於テ既ニ公知ニ屬スルモノニシテ其登録ハ無効ノモノナリト云フ

登録實用新案第二四九三六號足踏織機綜統裝置ハ圖面及其說明ニ於テ見ル如ク機臺①ノ横木垂臂②④ニ軸着セル踏槌⑦⑧ト原動曲軸⑥ト「ロッド」⑧⑨ヲ以テ連結シ踏槌⑦⑧ヨリ原動曲軸⑥ニ運動ヲ傳フヘク爲シ突臂⑤ニ導溝⑬ヲ以テ一端ヲ遊支セシメ中央ヲ踏杆⑦⑧ニ關着シタル副槌⑫⑬ニ短杆⑭⑮短杆⑭⑮各緩ク配着シ鳥居形枠上部ノ突臂③ニ架セル轉子⑩⑪ニ掛ケタル綜統①ノ各下端吊紐ヲ夫々右サシメ織前ヨリ近キ綜統ヲシテ比較的小ナル昇降運動ヲ爲サシムヘクセル構造ニ成レルモノナリ此兩者ヲ比較スルニ請求人ノ足踏織機綜統裝置ニ於ケル踏槌及副槌ハ被請求人ノ足踏織機綜統裝置ニ於テ共ニ之ヲ具ヘ唯副槌ノ取着方法ヲ少許異ナラシメタルノミニテ殆ント均等酷似ノ手段ヲ以テ裝置シ且地紙狀ニ運動スヘキ副槌先端ニ短杆ヲ關着シ綜統ノ吊紐ヲ夫々連結シ綜統運動ノ次第ヲ前後異ル如クセル部分ハ全然其構造及目的ヲ同一ニシ加之踏槌ト曲軸ト「ロッド」ニテ連結シ其搖動程度ヲ一定シ且「ロッド」ノ作用ヲ副槌ニ及ホシ綜統ノ反動運動ヲ防ク關係迄モ同一ノ目的及聯動機構ニ依リ成レルモノ也故ニ兩者足踏織機綜統裝置ハ構造上互ニ相類似セルモノト云ハサルヘカラス仍テ甲第二號證ノ足踏織機綜統裝置ハ登録實用新案第二四九三六號足踏織機綜統裝置ノ權利範圍ニ撞着スルモノナリト云フニ在リテ其實事ヲ確カムル爲メニ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人津田駒次郎申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣セル乙第一號證圖面ニ示ス織機ノ綜統開口裝置ハ登録實用新案第二四九三六號足踏織機綜統裝置ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其理由ハ被請求人ノ製造販賣ニ係ル足踏織機ノ綜統裝置ハ請求人提出ノ甲第二號證圖面トハ大ニ相違セルヲ以テ被請求人ハ更ニ乙第一號證實物見取ノ正確ナル圖面ヲ提出シテ之ヲ説明センニ適宜織機ノ下臺①ノ上方縱梁②ヲ設ケ其前後ニ横木③④ヲ架設シ前方ノ横木③ニハ垂着セル臂⑤ニ

一端ヲ軸着セル踏槌⑦⑧ヲ各「ロッド」⑧⑨ヲ以テ原動曲軸⑥ニ連絡シ踏槌ノ後端ヲ交踏シテ原動曲軸⑥ニ運動ヲ傳ヘ織機全體ヲ運動セシムヘク爲シ横木③ニハ曲臂⑤ヲ特設シ副槌⑫⑬ヲ具ヘテ其後端ヲ軸着シ副槌⑫⑬ノ中央ト適當所ニ調節孔⑯⑰ヲ具備シテ織物ニ依リ開口ヲ大小任意ニ位置替ヘシ得ヘク爲シタル踏槌⑦⑧トハ相當ナル長サニ構成シタル「ロッド」⑬⑭ヲ以テ各取リ外シ自由ナル「ポルド」⑱⑲ヲ連續シ踏槌⑦⑧ノ運動ニ伴ヒ副槌⑫⑬ノ先端ヲ地紙狀ニ搖動セシメ綜統ヲシテ常ニ垂直ニ上下セシムヘク而シテ副槌ノ各先端外側ハ定規杆⑱ニ支持セラレ兩内側ニハ竹材ノ突栓⑲⑲ヲ嵌着シ鳥居形枠ノ突臂⑤ニ架設セル轉軸⑲⑲ニ懸裝シタル各綜統①①①①ノ下端吊紐ヲ夫々突栓⑲⑲ニ取外シ易ク結着シ副槌⑫⑬ノ平靜ナル運動ニ伴ヒ各綜統ハ垂直ニシテ些ノ動搖ト傾斜トヲ受クル事ナク極メテ輕易ニ昇降シ經絲ノ開口ヲ適切ニ杼⑲ノ行通ヲ善良ナラシムルモノニシテ請求人提出ノ甲證第一號ニ於テ短杆⑭⑮⑭⑮ヲ備フル如ク記載スルモ被請求人ノ眞實ナル裝置ニ於テハ前記ノ如ク副槌⑫⑬⑫⑬ノ各先方兩内側ニ竹ノ突栓⑲⑲ヲ嵌着シテ吊紐ノ付替ヲ容易ナラシムヘクシ且綜統トノ平均ヲ保タシメタル等請求人ノ實地製造織機トハ大ニ相違シ居レリ而シテ兩者ノ構造ヲ比較スルニ請求人ノ甲第一號證實用新案登録第二四九三六號ノ綜統裝置ニ於テハ甲第一號證圖面ノ說明ニ於テ明ナル如ク梁ノ後部ニ設ケタル横木②ニ小柱④ヲ垂直シ之ニ「ロッド」⑧⑨ヲ以テ原動曲軸⑥ニ連絡セシメタル踏槌⑦⑧ヲ軸着シ横臺木①ニ突着セル臂⑤ニハ下端ニ長溝⑬ヲ設ケ中央踏槌⑦⑧ニ關着シ上端ニ短冊形杆⑭⑭及⑮⑮ヲ各關着シタル槓杆⑭⑭ノ該長溝⑬ヲ支持セシメタルモノニシテ被請求人ノ裝置ハ乙第一號證ニ明示セル如ク下臺①ノ上方ニ縱梁②ヲ設ケ其前後方ニ横木③③ヲ具ヘ前方ノ横木③ニ踏槌⑦⑧ノ先端ヲ軸着シ後方ノ横木③ニ曲臂⑤ヲ後方ニ向テ裝着シ其先端ニ副槌⑫⑬ノ後部ヲ各水平ノ位置ニ軸着シ踏槌⑦⑧副槌⑫⑬トハ「ロッド」⑬⑬ヲ以テ連絡セシメ副槌ノ先端ニハ竹ノ突栓⑲⑲ヲ

嵌着シ該突栓ニ紐ヲ結着シテ綜統ニ連續セシメタルモノナリ之ニ據リテ見ルニ兩者ニ於ケル裝置ハ多大ノ差異懸隔アルモノニシテ全然別考案別構造ヨリ成レルモノナリ次ニ請求人ハ自己ノ權利範圍ヲ揭ケスシテ徒ニ兩者裝置ノ全體ヲ論シテ本件請求ヲ爲スハ不當ナリ而シテ請求人ノ權利範圍ヲ甲第一號證ニ依リテ見ルニ「ロッド」(8)(9)ニ依リテ原動曲軸(6)ニ運動ヲ傳フヘキ槓杆(7)ヲ設ケ其内側ニ突臂(5)ニ遊支セシメ綜統ヲ吊着スヘキ短冊形杆(14)(15)ヲ各關着セル槓杆(12)ヲ關着セル構造ヨリナレルコトハ圖面及其說明ニ徴シテモ亦明カナリ然ルニ被請求人ノ乙第一號證ノ構造ハ「ロッド」(8)(9)ニ依リ原動曲軸(6)ニ運動ヲ傳フヘキ槓杆(7)ヲ設ケルハ請求人ノモノト略同一ナラン然レトモ請求人ノ裝置ニ使用スル中央ヲ槓杆(7)ニ關着シテ下端ハ長溝(13)ヲ備ヘテ突臂ニ遊支セシメ上端ニハ短冊形杆(14)(15)ヲ關着シテ先端ニ綜統吊紐ヲ結着セシメタル槓杆(12)ノ如キ裝置ハ毫モ使用シタルコトナシ又被請求人ノ裝置ニ於テハ横木(3)上ニ曲臂(5)ヲ特設シ後端ヲ軸着シ先方ニ竹ノ突栓(14)ヲ嵌着セル副槓(12)ヲ各水平ノ位置ニ裝設シ該突栓(14)ニ直接綜統紐ヲ結着シ綜統ヲシテ常ニ垂直ニ且靜穩ニ昇降セシメ而シテ副槓(12)ト踏槓(7)トハ「トレド」(17)ヲ以テ連絡セシメ踏槓(7)ノ中央ノ適宜所ニハ調節孔(16)(17)ヲ特設シ織機又ハ織布ノ必要上「ボルト」(17)ヲ抜挿位置替ニ依リ經絲ノ開口ヲ大ニシ或ハ少ナラシムルコト自由ナル裝置ヲ爲スヲ以テ登錄實用新案第二四九三六號足踏織機綜統裝置ノ權利範圍ニハ撞着セサルモノナリ尙ホ請求人ハ被請求人中ノ河村、酒井等ト謀議シ之ヲ販賣セシメタルカ如ク云フモ被請求人タル拙者ハ單ニ彼地ニ出張店ヲ設置シ店員ヲシテ之ヲ販賣セシメタルノミニシテ被請求人中ノ河村、酒井ノ兩名ニハ關係アルモノニ非ラス故ニ之ヲ被請求人中ニ加入シタルハ絕對ニ非認スルモノナリト云フニ在リテ乙第一號證乃至乙第三號證ヲ提出セリ

被請求人河村小太郎申立ノ要領ハ請求人ハ被請求人津田駒次郎カ當所ニ出張店ヲ設置シ店員ヲシテ販賣セシメタルモノヲ直接拙者ニ關係アル如ク云フモ之ヲ絕對ニ非認スルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由

被請求人津田駒次郎ハ甲第二號證圖面ニ示スモノハ自己ノ製造販賣セルモノト其構造上ニ相違ノ點アリトシ自己ノ製作ニ係ルモノヲ圖示セル乙第一號證圖面ヲ提出セリ仍テ此兩者ヲ比較スルニ甲第二號證ニ於テハ短杆(14)(15)ヲ備ヘ又乙第一號證ニ於テハ調節孔(16)ヲ踏槓(7)ニ設ケタル等微細ノ相違アリト雖モ其構成均等ナルモノニシテ乙第一號證ハ甲第二號證ト同一物品ト認ムルヲ至當トス而シテ登錄實用新案第二四九三六號足踏式織機綜統裝置ハ其登錄請求範圍ニ於テ圖面及其說明ニ示ス如ク「ロッド」(8)(9)ニ依リ原動曲軸(6)ニ運動ヲ傳フヘキ槓杆(7)ヲ設ケ其内側ニ突臂(5)ニ遊支セシメ綜統ヲ吊着スヘキ短冊形杆(14)及(15)ヲ各關着セル槓杆(12)ヲ關着セル構造ニ成ル綜統裝置ト記載セリ然ルニ本件綜統裝置ニ於テ短冊形杆(14)(15)ヲ適用スルカ如キ又ハ槓杆(12)ヲ槓杆即チ踏槓(7)ニ關着シタル結果トシテ槓杆(12)ヲ突臂(5)ニ遊支セシムルカ如キハ實行上ノ附隨事項ニ屬シ本考案ノ主要部ト認ムヘカラサルモノニシテ本件實用新案ニ於テ其要點トスル所ハ踏槓(7)ニ「ロッド」(8)(9)ヲ設ケテ原動曲軸(6)ニ運動ヲ傳フルト同時ニ該踏槓ニ槓杆(12)ヲ聯着シ該槓杆ニ綜統ヲ結着シテ踏槓ノ交互ノ踏下ニ依リテ原動曲軸ヲ廻轉スルト同時ニ恰當ナル綜統ノ開口作用ヲ爲サシメントスルニ在ルコトハ明白ナリ然ルニ甲第二號證ニ示ス裝置ニ於テハ副槓(12)ヲ連杆(13)ニ依リテ踏槓(7)ニ聯着シ又副槓ヲ曲臂(5)ヲ設ケテ之ニ關着シタルコト其他微細ノ點ニ於テ其構成上ニ相違アリト雖モ其考案ノ要點ハ兩者均等ニシテ構造上相類似セルモノト認ムヘキモノナリ故ニ甲第二號證ノ足踏織機綜統裝置ハ登錄實用新案第二四九三六號足踏織機綜統裝置ノ權利範圍ニ屬スルモノトス次ニ請求人ハ被請求人河村小太郎、酒井伊四郎カ甲第二號證ニ示セル物品ヲ製造販賣シ居ル事實ヲ立證セサルヲ以テ右兩名ニ

對スル審判請求ハ之ヲ却下スヘキモノトス其他當事者間ニ相争フ所アリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セズ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
同 塚本信治
特許局事務官 奥山萬次郎

第二千五百七十七號

大阪市西區新町南通三丁目三十一番地
佐世保市島瀬町百三十五番地

請求人 堀尾スママ
被請求人 本田正治

大阪市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士

右代理人 廣井代藏

右當事者間ノ第二〇九五七號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有ニ係ル登録實用新案第二〇九五七號釣漁燈ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人所有ノ登録實用新案第二〇九五七號釣漁燈ハ其登録請求範圍ニ圖面ニ示セル釣漁燈ニ於テ本線タル瓦斯送管ニ取付ケタル副線ノ

瓦斯管ヲ「コック」ノ回轉ニ因リ點火、消火自在ナル裝置ト明記セリ仍テ按スルニ其新規トナス點ハ眞鍮製管⑤ニ眞鍮製副線⑦ヲ連結シ兩者ノ間「副線」ニ「コック」⑨ヲ附シ之ヨリ送ル瓦斯ヲ送止スヘク爲シタル構造ニ在ルコト勿論ニシテ此部分ニ登録ヲ受ケタルモノナリ而シテ其實用上ノ效果トシテハ眞鍮製主管⑤、副線⑦ノ先端ヲ瓦斯燈内ニ於テ一所ニ接近セシメ各火口⑧ヲ附シテ最初主管⑤ノ火口ニ點火シ置キ必要ニ應シ副線⑦ニ瓦斯ヲ送り或ハ停止シテ別ニ點火スル要ナク兩火口ニ點火シ又ハ一方ヲ消火シ得ヘク爲シタルモノナリ然ルニ此構造ハ被請求人カ實用新案第二〇九五七號ノ登録ヲ受ケサル以前ヨリ公然販賣セラレタル瓦斯燈ニ見ル所ニシテ新規ナルモノニアラス即チ登録實用新案第一三六〇四號いさゞ瓦斯燈ニ於テ其登録請求範圍及説明中ニハ之カ明記無シト雖モ實際販賣セルモノハ瓦斯送管ノ先端ニ管⑦ヲ連結シ此部分ニ火口⑨ヲ所好ノ數丈ケ相接近シテ併設シ火口⑨一箇毎ニ各一箇ノ「コック」ヲ附シ在リ故ニ本器ノ實用上ノ效果ハ第二〇九五七號登録實用新案ト同シ又千八百七年英國「ロンドン」スミス「會社」ノ發刊ニ係ル「カタローグ」中ニモ甲第四號證ノ如キモノアリ而シテ之ハ石炭瓦斯ノ器具ナルモ其當時ヨリ頻リニ輸入サレ世上多ク使用スル所ノモノニシテ副線ニ「コック」ヲ附スル代リニ主管ニ「コック」ヲ附スルノ差異アルモ斯ノ如キハ畢竟設計上ノ變更ニ止マリ大體ノ構造ニ於テ同一ナルハ勿論兩管共同一火口ヲ附シタル如キハ普通ノ考案ニシテ單ニ之ノミヲ以テ新規ト爲スコトヲ得ス從テ登録實用新案第二〇九五七號釣漁燈ハ此等ノ物品ヨリ容易ニ應用シ得ヘキモノニシテ其大體ノ考案ハ全ク均等ナルモノナリ上記ノ理由ニ依リ本件實用新案ハ實用新案法第三條第一項及第二項ニ該當シ同法第一條ニ違反セルモノナルヲ以テ同法第十一條ニ依リ無効タルヘキモノナリト云フニ在リテ甲第一號乃至第四號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人

ハ本件實用新案ト均等ナル構造ヲ有スル燈器ハ本件實用新案出願以前ニ於テ公知公用セラレタルモノナリト主張シテ甲第二號乃至第四號證ヲ提出シタルモ甲第二號證ニ示ス第一三六〇四號登錄實用新案いさゞ瓦斯燈ハ本件實用新案ノ要部ト爲レル副線竝ニ該副線ニ設ケタル「コック」ヲ缺如スルモノナルカ故ニ本件實用新案ノ無効原因トシテ何等ノ證據力ナキモノト認ム又甲第三號證トシテ被請求人ノ提出ニ係ル第一三六〇四號實用新案いさゞ瓦斯燈ノ現物ハ火口ニ「コック」ヲ附セリト云フモ斯ノ如キハ購入者カ後日ニ至リ任意ニ取附ケタルカ又ハ被請求人ノ本件實用新案出願後ニ於テ製造販賣シタルモノト認メサルヲ得ス次ニ甲第四號證トシテ請求人ノ提出ニ係ル「カタローグ」所載ノ燈器ハ其構造全然別種ニ屬スルモノナリ要スルニ請求人ノ提出セル甲號各證ハ何等ノ證據力ナク斯ノ如キ薄弱ナル證據物件ヲ以テ被請求人ノ本件實用新案ヲ無効タラシムヘキモノニアラスト云フニ在リ

審決ノ理由 本件登錄實用新案第二〇九五七號釣漁燈ハ其登錄請求範圍ニ於テ圖面ニ示セル釣漁燈ニ於テ本線タル瓦斯送管ニ取付ケタル副線ノ瓦斯管ヲ「コック」ノ回轉ニ因リ點火、消火自在ナル裝置ト記載シ又圖面ノ說明中點火スヘキ瓦斯ハ「アセチリン」瓦斯發生器ヨリ一線ノ「ゴム」管(4)ト眞鍮製管(5)ト連續セシメタルモノヨリ送り(6)ノ火口ニ點火ス此ノ連鎖ノ中央ニ眞鍮ノ副線ヲ設ケ此副線(7)ノ先端ノ火口(8)ヲ取付ケ此副線ト火口線トノ中間ニ「コック」(9)ヲ裝置ス云々ト記載セリ故ニ其要部トスル點ハ「アセチリン」ヲ使用スル釣漁燈ニ於テ瓦斯送管ノ本線ニ「コック」ヲ備ヘタル副線ヲ分岐セシメ「コック」ノ開閉ニヨリテ其先端ナル火口ニ點火又ハ消火セシムルノ構造ニ在ルハ明カナリ然ルニ請求人ノ提出シタル甲第二號證及甲第三號證ヲ示スモノハ本件實用新案ニ於ケルカ如キ「コック」ヲ有スル副管ヲ有セス又甲第四號證ニ示スモノハ瓦斯燈ニシテ「アセチリン」ヲ使用スル釣漁燈ニアラサルノミナラス構成著シク相違シ且本件實用新案カ此等ヨリ容易ニ應用シ得ヘキモノニアラス故ニ此等ノ物品ノ本件實用

新案ノ登録出願時日即明治四十二年五月十二日以前ニ公ニ知ラレ又ハ公ニ用キラレタルノ事實アリトスルモ之カ爲メニ本件實用新案カ其出願前ニ帝國内ニ於テ公然知ラレ若ハ公然用キラレタル事由トナルヘカラサルモノナリ故ニ被請求人ノ所有ニ係ル登録實用新案第二〇九五七號釣漁燈ノ登録ハ無効タルヘカラサルモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月二十七日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚 本 信 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千五百九十一號

京都市上京區岡崎町入江八十二番地 請 求 人 榎 垣 多 七
同 市上京區柳馬場通夷川上ル五丁目特許辨理士 右 代 理 人 三 浦 倫 吉
群馬縣山田郡毛里田村吉澤乙十八番地 被 請 求 人 岡 部 幸 吉
東京市下谷區竹町二十八番地特許辨理士 右 代 理 人 新 井 要 太 郎

右當事者間ノ第二五八二六號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

請求人申立ノ要領ハ第二五八二六號實用新案織物ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人所有ノ本件登録實用新案ハ大正元年八月二十二日出願同年十一月十二日登録ニ係ルモノニシテ其登録請求範圍ハ縮緬地ト縮緬地トヲ縮緬地ト中間ニ織成シ任意ノ縮緬ヲ組織シタル織物ノ構造ナリ而シテ請求人所有ノ第八八五六號登録實用新案清瀧織ハ明治四十一年一月二十七日出願同年五月七日登録ニ係ルモノニシテ其登録請求範圍ハ經絲數條毎ニ其兩邊ノ二條ニ緘ヲ掛ケ組織ト爲サシメタルモノ數組ヲ織布全幅ニ涉リ配置シ緯絲ニハ左撚絲數條ト右撚絲數條トヲ交互ニ織込ミ之ヲ練リテ經目ノ縮緬ヲ得ルモノニシテ右縱縮緬ノ構造ハ兩者全ク同一ナリ加之經絲ヲ撚ミ合セタル横縮緬ハ被請求人ノ本件實用新案出願前即チ明治二十七八年頃ヨリ既ニ世間ニ於テ行ハル、方法ニシテ所謂公知公用ニ屬スルモノトス從テ被請求人ノ權利ハ實用新案法第三條第一號及第二號ニ該當シ毫モ實用アル新規ノ工業的考案ト稱スルヲ得サルヲ以テ同法第十一條ニ依リ無効審判ヲ請求スル所以ナリト云フニ在リテ甲第一號證及甲第二號證トシテ實用新案公報第二十號〔大正元年〕及同第百五十四號〔明治四十一年〕ヲ援用セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ主張ハ被請求人ノ權利ハ實用新案法第三條第一號及第二號ニ該當スルカ故ニ同法第十一條ニ據リ無効審判ヲ仰クト云フニ在リ然レトモ同法第十一條ニハ同法第三條ノ場合ヲ包含セラレス從テ同條ノ該當ヲ理由トスルハ同法ノ認容セサル所ニシテ本件ハ此點ニ於テ却下セラルヘキモノナリ而シテ請求人ノ有スル實用新案第八八五六號清瀧織ハ縮緬地ノ間ニ縱縮ヲ現ハスニ止マレトモ被請求人ノ登録實用新案第二五八二六號織物ハ縱縮ヲ兩端ニ有スル縮緬地ニ横縮ヲ織込ムモノト横縮ナキ部分トアリテ其組成ニ著シキ差異アリ又被請求人ノ織物ハ横縮ノ緊縮スル力ニ依リテ縱縮ノ亂潰ヲ防クト單ニ横縮

ヲ兩端ニ有スル部分ノミナラス横縮ナキ部分ニモ其效力ヲ及ホス様工夫セルモノニシテ未ダ會テ類似ノモノヲ見サル考案ナリ然ルニ請求人ハ其成品ヲ組立ツヘキ幾多ノ方法ヲ分割シテ各別ニ其根元ヲ論難セントスルモ實用新案第一條ノ解釋上請求人ノ主張ハ不當ナリト云フニ在リ

審決ノ理由

第八八五六號登録實用新案ハ其請求範圍トシテ『圖面ニ示セル清瀧織ノ構造』トアリ從テ該登録實用新案ハ其圖面ニ示ス如ク普通ノ鶉縮緬地ト縱縮組織トヲ組合ハセタル構造ヲ以テ要部ト爲スハ明カナリ然ルニ第二五八二六號登録實用新案ハ其請求範圍及圖面、説明ニ依レハ縱縮組織ニテ普通縮緬地ト普通縮緬地即請求人ノ所謂横縮縮緬地トヲ組合ハセタル構造ヲ以テ要部ト爲スモノニシテ前者ニ於ケル鶉縮緬地ヲ缺如セルモノナリ即チ第二五八二六號並ニ第八八五六號兩登録實用新案ハ其要部ニ在ラサル單ニ縱縮組織ヲ應用スル點ニ於テ相一致スルノミ其要部トセル組合ハセニ於テ全然關係ナキモノニシテ兩者互ニ構造上類似スルモノト認ムヘキ點ナシ又請求人主張ノ如ク横縮縮緬カ明治二十七八年頃ヨリ公知公用ニ屬ストスルモ之レカ爲メニ本件登録實用新案ノ無効タルヘキ理ナシ從テ第二五八二六號登録實用新案カ實用新案法第三條第一號及第二號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ同法第十一條ニ依リ無効タルヘキモノナリト云フ請求人ノ主張ハ其理由ナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月二日於特許局

審判長 特許局技師

同

特許局事務官

一 川

塚

本

信

治

一

村山小次郎

第二千四百四號

*七十

京都市下京區烏丸通佛光寺上ル二帖半敷町十三番戶 請求人 塚本喜八郎
 同 市上京區堺町通二條下ル杉屋町特許辨理士 右代理人 寺尾次郎吉
 大阪府西成郡鷺洲町大字浦江五百五十一番地 被請求人 伊藤清次郎
 大阪市北區堂島濱通一丁目二十八番地特許辨理士 右代理人 清瀨一郎

右當事者間ノ第二一六八〇號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ實用新案登録第二一六八〇號友禪小供「マント」ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件第二一六八〇號實用新案ハ請求人ノ第一三三九七號友染「マント」ニ模倣シ製造シタルモノニシテ新規ノ考案ニアラス即チ其表布ヲ「モスリン」及金巾地ノ友禪染ヲ以テスルハ請求人ノ實用新案ト同シク又其裏面ニ毛及綿「フランネル」ヲ用ユルコトハ別ニ斬新ノ考案ニアラス又其裁方ハ裂地、堅、横適宜ナリト云フモ素ヨリ登録請求範圍ニ特記スルノ必要ナシ又「マント」ノ上部ト頭巾ノ下部トニ襞ヲ設ケ縫ヒ合ハセトアルモ「マント」ニ頭巾ヲ附スルコトハ數年前ヨリ公ニ行ハル、所ニシテ何等斬新ナルモノニアラス其接合部ニ襞ヲ設ケルコトモ明治三十七年中東京市日本橋白木屋吳服店ノ雜誌ニ「サーキウラー、ケーブ」ト名ツケ圖面ヲ掲ケ賣出シタルモノニシテ請求人モ明治四十三年中京都市河原町通三條上ル二丁目伊東直吉ニ注文シ數多製造販賣シタル又「マント」ノ前面ヨリ裾ノ周圍ニ綿ヲ入レ前合セ及垂下ヲ能クセシメ脱落セサル爲メニ上部全面ニ

「ホック」及釦ヲ附スルハ請求人ノ「マント」ニ全部綿ヲ入レタルモノニ類似シ且ツ之ヨリ容易ニ應用セラルヘキモノニシテ斬新ト云フヘカラス要スルニ本件「マント」ノ新案トシテ認メラレタル點ハ「マント」ノ上部ト頭巾ノ下部ト接合スヘク襞ヲ設ケテ縫ヒ合セタル點ニアランモ右ハ前記ノ如ク公知公用ノモノナルノミナラス本件「マント」ト同一ノモノハ明治四十三年中ヨリ伊東直吉ニ製造セシメ販賣シタルモノニシテ實用新案法第三條ニ所謂新規ト稱スルコト能ハサルモノニシテ其登録ハ無効ト爲スヘキモノナリト云フニアリテ第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立ヲ却下ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ一、被請求人ノ實用新案ニ在リテハ前面周圍ニ紐ヲ貫通シテ緊締スル防寒用頭巾ヲ具フルニ反シ請求人ノ實用新案ニ全然此裝置ナシニ、被請求人ノ實用新案ニ在リテハ「マント」ノ裁方ハ裂地、堅、横適宜トシ之ヲ綜合シテ仕立ツルモノニシテ之レカ爲メ不用ノ生地ヲ生セス然ルニ請求人ノ實用新案ハ生地ヲ蛇ノ目ニ切り抜クモノニシテ之レカ爲メ不用ノ生地ヲ生スニ、被請求人ノ實用新案ニ在リテハ「マント」ノ上部ト頭巾ノ下部トヲ接合スヘク襞ヲ設ケ之レヲ縫合スルニ反シ被請求人ノ實用新案ニハ此裝置ナシ四、請求人ノ實用新案ニ在リテハ表裏布ノ中間ニ綿ヲ入ル、外表布ト綿トノ中間ニ柔軟ナル紙ヲ布キ加ヘ綿ノ墜落ヲ防カンカ爲メ「ミシン」縫ヲ爲セリ然ルニ被請求人ノ實用新案ニ在リテハ綿ハ單ニ「マント」ノ前面及裾ノ周圍ニ入ル、ニ過キサルヲ以テ綿ノ墜落ヲ防ク爲メ表布ノ下ニ紙ヲ用ヒ之ヲ裏布ト縫合ハスルコトナシ又白木屋吳服店ニテ販賣スル「サーキウラー、ケーブ」ト稱スルモノハ乙第一號證ノ如キモノニシテ頭巾ナク且ツ洋式裁縫術ニ依リ肩ノ部分ヲ作り此部分ト之レヨリ以下ノ部分トヲ接續スル爲メ襞ヲ付クルモノニシテ頭巾ト「マント」トヲ接續スル爲メ襞ヲ設ケル本件實用新案トハ全然別物ナリ又伊東直吉ハ明治四十四年十月以後本件實用新案ニ相當スルモノヲ製造セシモ明治四十

*七十一

三年中製造セシコト斷シテナシト云フニアリテ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 請求人ハ被請求人ノ本件登録實用新案ハ請求人ノ第一三三九七號登録實用新案ヲ模倣シタルモノニシテ新規ノ考案ニアラスト主張スルモ被請求人ノ本件第二一六八〇號登録實用新案ハ其登録請求範圍ニ記載スル如ク「マント」ノ表面全體ニ毛斯綸地及ヒ金巾地ノ友禪染ヲ用キ裏面ニ毛及綿「フ」ランネル「ヲ用キ其裁方ハ裂地、堅、横適宜トナシ「マント」ノ上部ト頭巾ノ下部トヲ接合スヘク襷ヲ設ケテ縫合シテ「マント」ノ前面ヨリ裾ノ周圍ニ綿ヲ入レ其上部前面ニ「ホック」及釦ヲ付シ又ハ其上部ノ回リニ紐ヲ貫通シテ緊縮スヘク爲シ頭巾ノ前面周圍ニハ紐ヲ貫通シテ緊縮スヘクナシ又ハ「ホック」及釦ヲ付シタル構造全部ヨリ成ルモノナリ然ルニ請求人ノ第一三三九七號登録實用新案ハ其願書附屬圖面及圖面ノ說明ニ記載スル如ク表布ニ友禪染模様アル織布ヲ用キタルノ點ニ於テハ被請求人ノ本件登録實用新案ト同一ナリト雖「マント」ノ上部ニ頭巾ヲ附着スル構造ヲ缺如スル點ニ於テ被請求人ノ實用新案ト異ルノミナラス表裏布ノ中間全部ニ互リ綿及紙ヲ布延シ其墜落ヲ防ク爲メ裏布ニ「ミシン」縫ヲ施シ之レニ釦及釦掛ケヲ附屬セシメタルノ構造ニ於テ被請求人ノ實用新案ト全ク別種ノ構造ニ屬シ假令本件實用新案ノ登録出願前請求人ノ實用新案存スルモ本件實用新案ノ新規タルニ關シ何等ノ影響ナキモノトス又本件實用新案ノ登録出願前公ニ知ラレタリト稱スル「サーキユレーター、ケーブ」ナルモノハ其表面ニ友禪染ノ地ヲ用キサルノミナラス其上部ニ頭巾ヲ附着セサル點ニ於テ本件實用新案ト別種ノ構造ニ屬スルヲ以テ之レヲ以テ本件實用新案登録ヲ無効ト爲スコトヲ得ス又本件登録實用新案ト全然同一ナル物品カ其登録出願前公ニ知ラレタリトノ請求人ノ主張ハ其證據十分ナラス仍テ本文ノ如ク審決ス

大正二年四月八日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
同 塚 本 信 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千五百六十三號

大阪市西區江戶堀下通一丁目七番地 請 求 人 生 島 サ ト
同 市西區江戶堀上通一丁目百五番屋敷 同 竹 村 柳 藏
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右 代 理 人 淺 村 三 郎
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平 岩 義 一
同 市東區南久寶寺町一丁目四番地 被 請 求 人 萬 代 龜 藏
同 市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士 右 代 理 人 廣 井 代 藏

右當事者間ノ第一六〇五九號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ製造販賣セル甲第一號證蠟燭製造用型管ハ被請求人ノ所有スル登録實用新案第一六〇五九號ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證蠟燭製造用型管ハ被請求人ノ所有スル登録實用新案第一六〇五九號ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ製造販賣セル蠟燭製造用型管ハ甲第一號證ニ示シタル如ク蠟燭溶液ヲ注入スル内管イノ

接合目へ掩版□ヲ固着シ之ニ外管ハヲ被着セシメテ成ルモノニシテ内管ト外管トノ中間ニハ毫モ「ペンキ」蠟燭其他ノ填充料ヲ使用セサルモノナリトス而シテ被請求人ノ所有スル第一六〇五九號登録實用新案蠟燭製造用二枚合眞鍮「パイプ」ハ其登録請求範圍及圖面ノ說明ニ記載シタル如ク内管イノ繼目ヲ掩版□ヲ以テ掩ヒ眞鍮製外管ハ内ニ挿入シ其兩管ノ中間ニハ「ペンキ」蠟ノ類ヲ塗付シテ間隙ヲ存セサラシメ之ニ添管ニ、型管ホ等ヲ組合ハセテ成ル構造ナリトス仍テ兩者右ノ構造ヲ對比スルニ前者ハ内管イ、掩版□、外管ハノ結合ヨリ成レル構造ナルニ反シ後者ハ内管イ、掩版□、外管ハノ外兩管ノ中間ニ間隙ヲ存セサラシムル爲メ「ペンキ」蠟類ノ填充料ヲ使用シ及添管ニ、型管ホ等ヲ結合シテ成ル構造ナルカ故ニ前者ハ後者ニ於テ其構造上考案ノ骨子トシテ最モ必要ナル填充料及添管型管等ヲ缺如シ兩者其構造ヲ異ニスルハ明ナリト云フニ在リテ甲第一號乃至第四號證ヲ提出シ且審判番號第二〇〇二號第一六〇五九號登録實用新案蠟燭製造用二枚合眞鍮「パイプ」權利確認事件ノ審決ヲ援用セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證蠟燭製造用型管ハ登録實用新案第一六〇五九號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ所有ニ係ル本件登録實用新案ハ其登録請求範圍ニ記載セラル如ク圖面ニ示セル蠟燭製造用ニ二枚合セ「パイプ」ノ構造即チ内管イノ繩目ニ掩版□ヲ當ニテ固着シ之ヲ外管ハヲ以テ被覆シテ成ルモノニシテ請求人カ製造販賣セル甲第一號證ハ請求人ニ於テ承認セルカ如ク内管ノ接合部ニ掩版ヲ固着シ之ニ外管ヲ被覆セシメテ成ルモノナレハ其構造ハ全然均等ナルカ故ニ該甲第一號證ハ被請求人ノ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬スルコト明瞭ナリ而シテ請求人ハ前者ノ圖面竝ニ説明書ニ記載セラルル「ペンキ」又ハ蠟ノ如キ塗布料及添管ニ、型管ホノ總テヲ後者ニ於テ缺如セルカ故ニ兩者其構造ヲ異ニスト論スレトモ彼ノ「ペンキ」又ハ蠟ノ類ヲ塗布スルコトハ其物ノ構造上何等ノ關係ナキモノニシテ本件實用新案ニ「ペンキ」又ハ蠟ノ類ヲ塗布スト云ヘルハ内管ト外管トヲ可

成的密着セシムル一ノ手段ニ過キササルモノナレハ其圖面ニ之等塗布材料層ノ記載ナキニ依リテ見ルモ彼ノ塗布材料ハ其物ノ構造上影響ヲ及ボスヘキモノニ非ラサルコト更ラニ疑義ヲ挿ムノ餘地ナキナリ殊ニ本件實用新案ノ圖面ニ記載セラルル型管ホノ如キハ苟モ西洋蠟燭製造用蠟液注入管ニハ當然使用セサルヘカラサルモノナルノミナラス該型管ホハ十數年前ヨリ一般ニ使用セラルルモノナレハ此點ハ本件實用新案ノ權利範圍ニ包含セラルルモノニ非ラスト云フニ在リテ乙第二號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件登録實用新案第一六〇五九號蠟燭製造用二枚合眞鍮「パイプ」ハ其登録請求範圍ニ於テ圖面ニ示セル蠟燭製造用二枚合セ「パイプ」ノ構造ト記載シ其圖面ノ說明中本案ハ内管ノ繼目ニ掩版□ヲ被覆シ更ニ外管ヲ被セ其中間ニ空隙ヲ存セサラシムヘク爲シタルヲ以テ堅牢ニシテ永久ノ使用ニ耐フルノミナラス蠟燭ノ製造ニ方リ管中ニ蠟液ヲ注入シタル後外部ニ冷水ヲ充タシテ蠟液ヲ冷却シ又ハ更ニ温水ヲ充タシテ蠟燭ノ外面ノミヲ温メ以テ抽出ニ際シ水ハ毫モ内管ヲ侵スコトナク隨テ内管ノ腐蝕ヲ來タスノ虞ナク且水ノ冷氣又ハ温度ハ各部齊一ニ蠟液ニ傳達シテ各部ノ品質竝ニ光澤均一ナル蠟燭ヲ製造シ得ヘク頗ル有益ナル效果ヲ生シ得ヘキモノナリト記載セリ此等ノ記載ニ徴スルニ本件實用新案ニ於テハ内外兩管ノ中間ニ「ペンキ」蠟ノ類ヲ塗附シテ兩管ノ中間ニ間隙ナカラシメタル爲メニ蠟液ノ冷却竝ニ蠟燭外面ノ加温ニ際シ奮熱竝ニ加熱トモニ各部齊一ニ蠟液ニ傳達シテ蠟燭各計ノ品質竝ニ光澤均一ナルノ利益アルノミナラス水ハ毫モ内管ヲ侵スコトナキノ特徴アルモノナリ故ニ本件實用新案ノ權利範圍ハ圖面ノ說明ニ記載セル特徴ヲ具ヘタル蠟燭製造用二枚合セ「パイプ」ノ構造ニ在ルモノト解スルヲ至當ナリトサレハ本件實用新案ニ於テハ内外兩管ノ中間ニ「ペンキ」蠟ノ類ヲ塗附シテ中間ニ間隙ヲ存セサラシムルコトハ考案ノ要部ニシテ決シテ缺如スヘカラサルノ必要事項ニ屬シ又

其構造ノ一部ヲ爲スモノトス然ルニ請求人ノ製造販賣セル蠟燭製造用型管ハ掩版ヲ固着シタル内管ト外管トヨリ成リ而シテ本件實用新案ニ於テ考案ノ要部トスル内外兩管ノ中間ニ「ペンキ」蠟其他ノ填充料ヲ使用セサルモノニシテ掩版ヲ固着シタル内管ト外管トヨリ成ル構造ハ兩者一致スルト雖モ夫カ爲メニ本件實用新案ノ權利範圍ニ牴觸スルモノニアラス故ニ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證蠟燭製造用型管ハ被請求人ノ所有スル登録實用新案第一六〇五九號ノ權利範圍ニ屬セサルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月八日於特許局

審判長 特許局技師 塚本 信治
特許局事務官 奥山 萬次郎
同 村山 小次郎

第二千五百六十四號

神戸市池田村字大道六番地

請求人 合資會社日本蠟燭製
造所

右代表者

大正市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右代理人 槌橋 末吉
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 淺村 三郎
同 市東區南久寶寺町一丁目四番地 同 被請求人 平岩 義一
同 市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士 右代理人 廣井 龜藏

右當事者間ノ第一六〇五九號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ製作及使用セル甲第一號證蠟燭製造用型管ハ被請求人ノ所有スル登録實用新案第一六〇

五九號ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製作及使用セル甲第一號證蠟燭製造用型管ハ被請求人ノ所有

スル登録實用新案第一六〇五九號ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其

理由ハ請求人ノ製作及使用セル蠟燭製造用型管ハ甲第一號證ニ示シタル如ク蠟燭溶液ヲ注入スル内管

「イ」ノ接合目へ掩版「ロ」ヲ固着シ之ニ外管「ハ」ヲ被着セシメテ成ルモノニシテ内管ト外管トノ中間ニハ毫モ

「ペンキ」蠟其他ノ填充料ヲ使用セサルモノナリトス而シテ被請求人ノ所有スル第一六〇五九號登録實

用新案蠟燭製造用二枚合セ眞鍮「バイブ」ハ其登録請求範圍及圖面ノ説明ニ記載シタル如ク内管「イ」ノ繼

目ヲ掩版「ロ」ヲ以テ掩ヒ眞鍮製外管「ハ」内ニ挿入シ其兩管ノ中間ニハ「ペンキ」蠟ノ類ヲ塗付シテ間隙ヲ存

セサラシメ之ニ添管「ニ」、型管「ホ」等ヲ組合セテ成ル構造ナリトス仍テ右兩者ノ構造ヲ對比スルニ前者ハ

内管「イ」、掩版「ロ」、外管「ハ」ノ結合ヨリ成レル構造ナルニ反シ後者ハ内管「イ」、掩版「ロ」、外管「ハ」ノ外兩管ノ中間

ニ間隙ヲ存セサラシムル爲メ「ペンキ」蠟類ノ填充料ヲ使用シ及添管「ニ」、型管「ホ」等ヲ結合シテ成レル構造

ナルカ故ニ前者ハ後者ニ於テ其構造上考案ノ骨子トシテ最モ必要ナル填充料及添管型管等ヲ缺如シ兩

者其構造ヲ異ニスルハ明カナリト云フニ在リテ甲第一號乃至第三號證ヲ提出シ且審判番號第二〇〇二

號第一六〇五九號登録實用新案蠟燭製造用二枚合眞鍮「バイブ」權利確認事件ノ審決ヲ援用セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製作及使用セル甲第一號證蠟燭製造用型管ハ登録實用新案第一六〇五

九號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ所有ニ係ル本件

登録實用新案ハ其登録請求範圍ニ記載セラルル如ク圖面ニ示セル蠟燭製造用二枚合せ「パイプ」ノ構造即チ内管^イノ繼目ニ掩版^ロヲ當テテ固着シ之ヲ外管^ハヲ以テ被覆シテ成ルモノニシテ請求人カ製造使用セル甲第一號證ハ請求人ニ於テ自認セルカ如ク内管ノ接合部ニ掩版ヲ固着シ之ニ外管ヲ被覆セシメテ成ルモノナレハ其構造ハ全然均等ナルカ故ニ該甲第一號證ハ被請求人ノ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬スルコト明瞭ナリ而シテ請求人ハ前者ノ圖面竝ニ説明書ニ記載セラルル「ペンキ」又ハ蠟ノ如キ塗布料及添管^ニ型管^ホノ總テヲ後者ニ於テ缺如セルカ故ニ兩者其構造ヲ異ニスト論スレトモ彼ノ「ペンキ」又ハ蠟ノ類ヲ塗布スルコトハ其物ノ構造上何等ノ關係ナキモノニシテ本件實用新案ニ「ペンキ」又ハ蠟ノ類ヲ塗布スト云ヘルハ内管ト外管トヲ可成の密着セシムルノ一ノ手段ニ過キサルモノナレハ其圖面ニ此等塗布材料層ノ記載ナキニ依リテ見ルモ彼ノ塗布材料ハ其物ノ構造上影響ヲ及ホスヘキモノニ非ラサルコト明カナリ殊ニ本件實用新案ノ圖面ニ記載セラルル型管^ホノ如キハ苟モ西洋蠟燭製造用蠟液注入管ニハ當然使用セサルヘカラサルモノナラヌ該型管^ホハ十數年前ヨリ一般ニ使用セラルルモノナレハ此點ハ本件實用新案ノ權利範圍ニ包含セラルルモノニ非ラスト云フニ在リテ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由

本件登録實用新案第一六〇五九號蠟燭製造用二枚合せ眞鍮「パイプ」ハ其登録請求範圍ニ於テ圖面ニ示セル蠟燭製造用二枚合せ「パイプ」ノ構造ト記載シ其圖面ノ説明中本案ハ内管ノ繼目ニ掩版^ロヲ被覆シ更ニ外管ヲ被セ其中間ニ空隙ヲ存セサラシムヘク爲シタルヲ以テ堅牢ニシテ永久ノ使用ニ耐フルノミナラス蠟燭ノ製造ニ方リ管中ニ蠟液ヲ注入シタル後外部ニ冷水ヲ充タシテ蠟液ヲ冷却シ又ハ更ニ温水ヲ充タシテ蠟燭ノ外面ノミヲ温メテ以テ抽出ニ際シ水ハ毫モ内管ヲ侵スコトナク隨テ内管ノ腐蝕ヲ來スノ虞ナク且水ノ冷氣又ハ温度ハ各部齊一ニ蠟液ニ傳達シテ各部ノ品質竝ニ光澤均一ナル

ル蠟燭ヲ製造シ得ヘク頗ル有益ナル效果ヲ生シ得ヘキモノナリト記載セリ此等ノ記載ニ徵スルニ本件實用新案ニ於テハ内外兩管ノ中間ニ「ペンキ」蠟ノ類ヲ塗附シテ兩管ノ中間ニ空隙ナカラシメタル爲メニ蠟液ノ冷却竝ニ蠟燭外面ノ加温ニ際シ奮熱竝ニ加熱トモニ各部齊一ニ蠟液ニ傳達シテ蠟燭各部ノ品質竝ニ光澤均一ナルノ利益アルノミナラス水ハ毫モ内管ヲ侵スコトナキノ特徴アルモノナリ故ニ本件實用新案ノ權利範圍ハ圖面ノ説明ニ記載セル特徵ヲ具ヘタル蠟燭製造用二枚合せ「パイプ」ノ構造ニ在ルモノト解スルヲ至當ナリトスサレハ本件實用新案ニ於テハ内外兩管ノ中間ニ「ペンキ」又ハ蠟ノ類ヲ塗附シテ中間ニ空隙ヲ存セサラシムルコトハ考案ノ要部ニシテ又其ノ構造ノ一部ヲ爲スモノトス然ルニ請求人ノ製造販賣セル蠟燭製造用型管ハ掩版ヲ固着シタル内管ト外管トヨリ成リ而シテ本件實用新案ニ於テ考案ノ要部ト爲ス所ノ内外兩管ノ中間ニ「ペンキ」又ハ蠟其他ノ填充料ヲ使用セサルモノニシテ掩版ノ固着シタル内管ト外管トヨリ成ル構造ハ兩者一致スルモ夫カ爲メニ本件實用新案ノ權利範圍ニ抵觸スルモノニアラス故ニ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證蠟燭製造用型管ハ被請求人ノ所有スル登録實用新案第一六〇五九號ノ權利範圍ニ屬セサルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月八日於特許局

審判長

特許局技師

塚本信治

特許局事務官

奥山萬次郎

同

村山小次郎

第二千五百八十八號

* 八十

東京市日本橋區新材木町十番地 請求人 小關與三郎
同 市麴町區道三町四番地特許辨理士 右代理人 本田源次郎
同 市本所區中ノ郷元町二十四番地 被請求人 蓑 樂

右當事者間ノ第二六一四三號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ有スル實用新案第二六一四三號洋傘「サック」ノ登録ヲ無効

トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其理由ハ被請求人ノ明治四十五年五月出願シ大正
元年十二月第二六一四三號ヲ以テ登録ヲ受ケタル本件實用新案ハ金屬杆ヲ中部ヨリ屈折シテ鉤ヲ挾持
セシムヘキ孔ヲ形成セル挾子杆即チ金屬條線ヲ縫込ミタルモノニシテ以テ鉤ノ脱出ヲ防クト同時ニ袋
口ノ閉鎖ヲ完全ナラシムルモノナルヲ以テ請求人ノ創案ニ係ル第二三一一三號實用新案ト其作用效果
ニ於テ軒輊スル所ナシ唯々其構造上ヨリ觀察スレハ請求人ノ有スル實用新案ニ於テハ鉤ヲ挾着スヘキ
孔ハ圓形ナルモ被請求人ノ實用新案ニ於ケル該孔ハ縱長形ナルニ過キス然カモ此點ハ新規ノ考案ト爲
スニ足ラス而シテ被請求人ノ本件實用新案ハ其出願以前即チ明治四十五年一月二十五日附ヲ以テ登録
ヲ得タル第二三一一三號實用新案ニ依リ公知公用ニ屬スルモノニシテ請求人ハ其後實用新案登録願第
七二六六九號及第七三五五號ヲ以テ同一趣旨ニシテ構造ノ異レルモノニ付出願ヲ爲シタルモ孰レモ
請求人ノ登録實用新案第二三一一三號ニ類似シ公知ニ屬スルモノトシテ拒絶査定ヲ受ケタルニ徴スル

モ明瞭ナル事實ナリ仍テ本件實用新案ハ實用新案法第一條ニ該當セスト云フニ在リテ甲第一號證トシ
テ第七二六六九號及第七三五五號實用新案登録願ノ記録ヲ援用シ且甲第二號證乃至甲第七號證ヲ提
出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人
ノ有スル實用新案モ被請求人ノ有スル本件實用新案モ何レモ洋傘ノ袋口ノ閉鎖ヲ完全ナラシムル點ニ
於テハ相違ナキモ其作用ノ效果ニ於テ大差アリ且其構造及形體ニ於テ全然異レリ即チ前者ハ鉤ヲ挾着
セシムル孔ハ圓形ニシテ金屬板ヲ以テ製作シタルモノナルニ反シ後者ハ鋼鐵線ヲ屈折シ鉤ヲ挾着セシ
ムヘキ孔ハ屈折ト同時ニ殊更人工ヲ要セスシテ請求人ノ所謂縱長形ヲ顯出シ毫毛類似セサル構造ナリ
其他請求人ノ有スル實用新案ハ金屬條板ヲ用ヒタレハ包裝セル外部ノ皮革ヲ破損スル憂アリ又鉤ヲ挾
着セシムヘキ孔ノ周圍ヲ縫ヒ非常ナル手數ヲ要スルノミナラス縫跡ニ絲ヲ露出シ外觀ヲ損スル等ノ缺
點アルモ本件實用新案ニ於テハ此等ノ缺點ナシ從テ假令實用新案第二三一一三號カ公知ナリトスルモ
之ニ關係ナキ本件實用新案モ亦無効ナリトノ請求人ノ主張ハ不當ナリト云フニ在リテ乙第一號證乃至
乙第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 洋傘袋口ノ閉合ヲ完全ナラシムル爲メニ其側邊ニ單ニ金屬條片ヲ縫込ムコトノ如キ考案ハ
從來普通ニ行ハル所ナルノミナラス其通用物タル竹條片ヲ使用スルモノノ如キモ亦明治四十一年五
月二十八日附出願ニ係カル第九三六七號登録實用新案ニ依リテ公知ニ屬スル所ニシテ單ニ袋口ノ側邊
ニ彈性條片ヲ縫込ムコトハ新規タル價值ナキモノナリ從テ請求人ノ所有ニ係ル第二三一一三號登録實
用新案ハ此公知ノ考案ニ有孔圓座ヲ附設シタル點即チ其請求範圍及圖面ニ示ス如ク彈性金屬板口ノ一
端ニ透孔ニテ有スル圓座ハ設ケタルモノヲ袋口ノ上側ニ該圓座ヲ其内面ニ露出セシムヘク縫込ミ

* 八十一

タル傘袋ノ構造ヲ以テ新規ト爲スモノナリ然ルニ本件第二六一四三號登録實用新案ハ其請求範圍及圖面ニ依レハ金屬杆ヲ中央ヨリ屈折シテ一端ヲ廣クシ他端ヲ狹クシ之ヲ傘袋ノ閉合部³ノ縁部ニ縫込ミテ成ル傘袋ノ構造ヲ以テ新規ト爲セルモノニシテ袋口ノ閉合ヲ確實ナラシムル爲メニ有孔圓座ニ依賴セス單ニ金屬杆即金屬線ノ屈折ヨリ生スル溝ヲ利用シ且袋口ノ形狀ヲ保ツ爲メニ金屬板ノ代リニ金屬線ヲ用フル等全然第二三一一三號登録實用新案ニ於テ見サル別作用別考案ニ基ケルモノニシテ兩者即チ第二三一一三號及第二六一四三號兩實用新案ハ全然相類似スル所ナシ又請求人援用ノ實用新案登録願第七二六六九號及同第七三五五號ハ孰レモ半圓形ノ孔ト彈性金屬板ヲ利用セルモノニシテ之ヲ第二三一一三號登録實用新案ニ比スレハ考案上互ニ相關聯スル所アルモ之ヲ單ニ金屬線ヲ利用スル本件實用新案ニ比スレハ全然別考案ニ屬スルモノナリ從テ請求人カ援用セル第二三一一三號登録實用新案カ先出願ニ屬スルモ將又該登録實用新案及實用新案登録願第七二六六九號及同第七三五五號ノ製品カ公知ニ屬スルモ之ヲ以テ別考案ニ屬スル本件第二六一四三號實用新案ノ登録無効ヲ云爲スヘキ理由ナシ

仍テ主文ノ如ク審決ス
大正二年四月十四日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 塚 本 信 治
同 特許局事務官 村 山 小 次 郎

第二千三百三十二號

大阪市北區東梅ヶ枝町五百九十番地	同	請求人	東野貫三郎
同 市北區空心中町一丁目九番地	同	同	北川政之助
同 市東區農人橋二丁目二番地	同	同	池崎小三郎
同 市東區内平野町一丁目九十九番地	同	同	岩井和吉
同 市北區信保町一丁目二百二十四番地	同	同	池田助藏
同 市北區西寺町一丁目八百五十九番邸	同	同	淺田震一郎
同 市北區西梅ヶ枝町八百十番地	同	同	左納武三郎
同 市北區西梅ヶ枝町八百四十八番地	同	同	藤並政治
同 市北區我野町七百九十六番地	同	同	山本吉太郎
同 市北區伊勢町百二十三番屋敷	同	同	石村林吉
同 市北區今井町九番屋敷	同	同	山田權之助
同 市東區船越町二丁目九番地	同	同	布田藤吉
同 市東區淡路町一丁目二十四番地特許辨理士	右代理人	佐々木高吉	
同 市北區源藏町四番地大橋辰次郎方	被請求人	傍島伍作	
同 市北區樋上町三十一番地特許辨理士	右代理人	高木藏吉	

右當事者間ノ第一〇一三三號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ實用新案登録第一〇一三三號ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ被請求人ノ所有スル第一〇一三三號實用新案ノ登録ハ無効トス審判費

用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ所有スル第一〇一三三號登錄實用新案莫大
 小編成裝置機ノ新規ナル考案ナリトシテ登錄サレタル點ハ表絲及裏絲カ各別ニ貫通スル二ノ孔ヲ有ス
 ル絲受ニ存スルコトハ拒絕査定書、再審査請求書、登錄査定書及被請求人ノ本件實用新案權侵害ノ告訴
 ノ主張ニ據リテ疑ナキ所トス然ルニ裏毛「メリヤス」又ハ裏違莫大小ハ既ニ久シキ以前ヨリ行ハルルモ
 ノナルコトハ何人モ否認スルコトヲ得サル所ニシテ此等ノ莫大小ニ於テ裏ニ顯ハルル絲ト表ニ顯ハル
 ル絲トヲ正シク竝ヘテ編針ニ供スルニハ其表裏絲カ各別ニ貫通スル絲受ヲ用キサレハ之ヲ編成スル能
 ハサルヲ以テ絲ノ數ニ應スル孔ヲ具フル絲受ノ普通ナルコトハ推知スルニ難カラズ且普通莫大小機ヲ
 以テ表裏ヲ異色絲ニテ編成スルニ其表裏ノ絲ヲ錯交スルコトナク正ク列ヘテ編成スル如ク爲シタルハ
 明治四十年一月十七日龍印靴下ヲ大橋辰次郎ノ出願以前ヨリ行ハレタルコトハ該出願ノ拒絕査定ヲ受
 ケタルニ徴スルモ明カナリ又明治三十年頃赤染部美濃四郎ノ特許ヲ出願シタル靴下及同人ノ明治三十
 八九年頃實用新案ヲ出願シタル靴下ニ於テモ裏違ニ編成サレタリ其他普通裏綿ト稱シ表毛裏絲ノ異絲
 ヲ正シク列ヘ編成シタル靴下ハ古クヨリ東京ニ行ハレ地方ニ傳ハリ大阪ニ汎ク行ハルルニ至レル事實
 アリ加之甲第二號證第一二五一〇號特許靴下製造機ノ絲受モ所供ノ表絲ト裏絲トカ編成機ノ左右回轉
 即チ前進逆行ノ何レノ場合ニテモ位置關係ヲ紊ルコトナク絲ヲ導ク二箇ノ相對セル孔ヲヨリ編成部
 ニ致サレ表裏正シク編成スルモノニシテ本件實用新案ニ於ケル絲請器ノ相對セル二箇ノ導孔ヨリ表裏
 絲ヲ所定ノ裝置關係ヲ以テ前進逆行何レノ場合ニモ紊ルコトナク編成スルト何等ノ差異ナク全ク絲請
 器ハ作用ト構造トヲ同ウス又甲第三號證第九八五〇號實用新案裏毛付莫大小編成機モ其絲受ニ於テ相
 對セル絲孔^アヲ有ス然ルニ此等特許又ハ實用新案ハ其絲受以外ニ於テ新考案ヲ有スルモノニシテ絲
 受ニ二ノ孔ヲ相對セシメテ設ケタル點ニ付テハ發明又ハ考案ナリト爲ササルニ依リテ見ルモ受孔ヲ相

對シテ具ヘシムル構造カ本件實用新案出願前既ニ帝國内ニ於テ普通ニ行ハルルモノナルヲ立證シ得ヘ
 シ又普通ノ絲受ニ更ニ一箇ノ孔ヲ穿チ二箇ノ孔ト爲シ之ニ莫大小編成機ニ附設セル絲立ニ挿シタル絲
 管ヨリスル絲及別ニ機側ニ在ル絲棒ヨリスル絲ヲ貫通シテ靴下莫大小ヲ編成スルコトハ明治二十九年
 頃ヨリ大阪地方ニ於テ普通ニ行ハルル所ナリ從テ本件實用新案ニ於テ新規ノ考案ナリトスル所ハ其出
 願前既ニ帝國内ニ於テ普通ニ行ハルル所ナルヲ以テ其登錄ハ無效タルヘシト云フニ在リテ其事實ヲ確
 カムル爲メニ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且龍印靴下實用新案拒絕査定書ノ取寄及證人訊問ヲ
 申請セリ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求
 人カ權利ヲ有スル實用新案第一〇一三三號莫大小表裏異色異絲編成裝置機ノ特色トスル所ハ單ニ絲請
 器ニ二箇ノ絲請穴ヲ有スト云フニ止マラスシテ普通莫大小編成機ヲ利用スルニ簡易ナル絲請器ヲ以テ
 シ其正面ニ設ケタル二箇ノ相對スル絲請穴ノ作用ニ依リ莫大小ノ表裏ヲ編成スヘキ兩絲ヲ相併行シテ
 編針ニ供セシメ編成機ノ前進ト逆行トニ拘ハラズ絲列ヲ紊ルコトナク斯業從事者ノ一般ニ以テ不能ト
 爲セル靴下ノ踵部及襪先ノ如キモノノ表裏ヲ異色異絲ヲ以テ正確容易ニ編成シ得ル點ニ存スルモノナ
 リ此ノ如キ裝置ハ後來大阪地方ニ於テ普通ニ使用セラレタルモノニアラスシテ被請求人カ明治四十年
 一月十七日龍印靴下トシテ實用新案ノ登錄ヲ出願シ次テ同年二月頃大阪市北區天滿橋筋二丁目百三十
 六番屋敷小泉藤三郎カ實用新案第一八五六〇號トシテ願出テタルモノ等ニ至リテ漸ク莫大小ノ表裏ヲ
 異色異絲ヲ以テ編成シ得ルコトヲ考案シ得タルモ此等ノ方法ハ單ニ莫大小編成機ヲ前進スルトキニ於
 テノミ莫大小ノ表裏ヲ編成スヘキ兩絲ヲ併列シテ共ニ編針ニ供シ得ヘキモ編成機ヲ反對ノ方向ニ逆行
 セシムル時ハ此兩絲ノ併行ヲ案リ異色異絲ヲ以テ表裏ヲ編成スルコトヲ得ス殊ニ靴下ノ踵部及襪先ノ

如キ編成機ヲ左右ニ回轉スルコトヲ要スル所ニ於テ然リトス然ルニ被請求人ノ有スル實用新案ニ於ケル絲請器ノ正面ニ二箇ノ絲請穴ヲ相對立シテ設ケタル工夫ニ依テ始メテ此ノ如キ缺點ヲ除キ得タリ而シテ裏毛莫大小カ久シキ以前ヨリ行ハレタルハ被請求人ノ認ムル所ナルモ「請求人ノ主張スル裏毛莫大小ナルモノハ裏毛莫大小トハ大差アリ」莫大小ノ表地ヲ編成スヘキ絲ト裏毛ヲ爲スヘキ絲トハ同時ニ併列シテ編針ニ懸カルモノニアラスシテ表裏ノ絲ハ別々ニ導カルモノナレハ此編方ニ於テモ表地ト裏地トノ編口ノ數ニ應シテ數箇ノ絲請穴ヲ具フルコトアルヘキモ此等ノ穴ハ特別ノ意味ト作用トヲ有スルモノニアラス又甲第二號證特許第一二五一〇號靴下製造機ハ其圖面ノ說明ニ依リテ知ラルル如ク二箇ノ導孔ハ單ニ兩絲ヲ各別ノ方向ニ導キ別箇ノ位地ニ於テ別段ノ作用ヲ爲サシムル爲メニ設ケラレタルモノニシテ此兩絲ノ導孔カ相對シテ設ケラルルヤ否ヤノ點ハ何等ノ關係アルモノニアラス而カモ此兩絲カ編成機ノ前進ト逆行トニ拘ハラス同一ナル編方ヲ爲スハ全ク他ノ複雜ナル機械的作用ニ依ルモノニシテ本件實用新案ニ於テ相對セル絲道ノ作用ヲ應用スルノミニ依リ編成機ノ前進ト逆行トニ拘ハラス莫大小ノ表裏ヲ編成スヘキ兩絲ヲ同時ニ併列シテ編針ニ供シ之ヲ編成セシムル方法トハ全然其趣ヲ異ニスルヲ以テ該機械ニ在リテハ二箇ノ導孔ノ存在カ何等發明的考案ノ一部ヲ爲サ、ルコト勿論ナリ又甲第三號實用新案第九八五〇號モ亦之ト同シク本件實用新案ト其考案ノ主要部ヲ異ニシ共ニ相杆格スルコトナシ故ニ此等ヲ以テ被請求人ノ權利ヲ非難スルハ不當ナリ要スルニ本件實用新案ニ於ケル前記ノ如キ特色トスル裝置ハ全ク考案者ノ獨創ニ係リ其以前ニ類例ヲ有セサル新規ノモノナルヲ以テ請求人ノ主張ハ理由ナシト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ノ第一〇一三三號登錄實用新案ハ明治四十一年五月十七日出願シ同年八月二十八日其登錄ヲ受ケタルモノニシテ其登錄請求範圍及圖面ノ說明ニ依レハ絲道イ、絲引「バネ」ロ、編成表絲

(ハ)木管ノ捲絲ニ、表絲ノ「バネ」臺ホ、表裏絲受臺へ、木管ノ臺ト、裏絲チ、表絲受穴リ、裏絲受穴又、普通機ニ取附ノ個所ル、表絲受所又、裝置機ノ中心棒ヲ、編成裏絲カ、編成表絲ヨリ成リ其要部ハ裏絲受穴又及表絲受穴リカ正面ニ相對向シ機械ヲ左右ニ廻轉スルニ從ヒ表裏絲カ共ニ前進逆行シ得ヘクナシタル點ニアリ然ルニ之レニ類似スル物品(甲第一號證)カ其登錄出願前(即チ明治四十一年五月十七日以前)ニ帝國内ニ於テ公然知ラレ公然用キラレタルコトハ證人内藤克己ノ證言竝ニ請求人カ援用セル抗告審判番號第三五七號抗告審判請求人谷本爲雄對抗告審判被請求人池崎小三郎間ノ第九七九三號實用新案登錄無效請求事件ノ證人中川伊作ノ訊問調書ニ依リ之ヲ認ム從テ本件登錄實用新案ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ其登錄ハ同法第十一條ニ依リ無効ト爲スヘキモノナリ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
 特許局事務官 奥山萬次郎
 同 村山小次郎

第二千四百三十七號

大阪府西成郡鷺洲町大字浦江五百五十一番地
 大阪市北區絹笠町十番地特許辨理士

請求人 伊東清次郎
 右代理人 清瀨一郎

京都市下京區烏丸通佛光寺上ルニ帖半敷町十三番戸
同 市上京區堺町通二條下ル杉屋町特許辨理士

被請求人 塚本喜八郎
右代理人 寺尾次郎 吉

右當事者間ノ第二一六八〇號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 甲第一號證友禪小供「マント」ハ實用新案第二一六八〇號ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ甲第一號證友禪小供「マント」ハ實用新案第二一六八〇號ノ權利範圍ニ屬スト審決相成度其理由ハ本件實用新案ハ甲第二號證ノ如シ然ルニ被請求人ノ製造販賣スル甲第一號證ノ小供「マント」ハ全然右實用新案ト同一ニシテ區別ナシ強テ其區別ヲ求ムレハ右實用新案ニアリテハ上部回りニ紐ヲ貫通シテ緊締スルノ裝置アレトモ被請求人ノ製品ニハ此裝置ナシ然レトモ斯ノ如キハ本件實用新案ノ主要點ニアラス之ヲ以テ二者同一ナラスト云フコト能ハスト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件申立ハ之ヲ却下スト審決相成度其理由ハ被請求人ハ實用新案第一三三九七號友禪「マント」ノ權利ヲ明治四十三年六月十一日讓リ受ケ爾來漸次改良ヲ加ヘ製造販賣セシモノニシテ請求人ノ本件實用新案ヲ模造シタルモノニアラサルヲ以テ同一物ニアラス即チ被請求人ノ製造ニ係ル「マント」ハ本件實用新案トハ其裁方ヲ異ニスルノミナラス其襟ノ點ニ於テモ差アリ又本件實用新案ハ綿ヲ裾ノ周圍ニノミ入レ「マント」ノ上部廻リニ紐ヲ貫通シ緊締スヘクナシタルモ被請求人ノ製造セシモノハ綿ヲ全體ニ入レタルノミナラス上部廻リヲ緊締スヘキ裝置ナシト云フニアリ

審決ノ理由 請求人ノ第二一六八〇號登録實用新案ハ其登録請求範圍ニ記載スル如ク「マント」ノ表面全體ニ毛斯繪地及ヒ金巾地ノ友禪染ヲ用キ裏面ニ毛及ヒ綿「フランネル」ヲ用キ其裁方ハ裂地、豎、横適宜

トナシ「マント」ノ上部ト頭巾ノ下部トヲ接合スヘク襷ヲ設ケテ縫合シ而シテ「マント」ノ前面ヨリ裾ノ周圍ニ綿ヲ入レ其上部前面ニ「ホック」及ヒ釦ヲ付シ又ハ其上部ノ廻リニ紐ヲ貫通シテ緊締スヘク爲シ頭巾ノ前面周圍ニハ紐ヲ貫通シテ緊締スヘクナシ又ハ「ホック」及ヒ釦ヲ付シタル構造全部ヨリ成ルモノナリ然ルニ被請求人ノ製造ニ係ル「マント」【甲第一號證】ハ表面全體ニ毛斯繪地ノ友禪染ヲ用キ裏面ニ綿「フランネル」ヲ用キ「マント」ノ上部ト頭巾ノ下部トヲ接合スヘク襷ヲ設ケテ縫合シ縫合部ノ裏面ニ縁ヲ縫着シ表地及ヒ裏地ノ中間全部ニ綿ヲ入レ上部前面ニ「ホック」ヲ付シテ緊締スヘクナシ頭巾ノ前面周圍ニハ「リボン」ノ縁ヲ施シタルモノニシテ之レヲ請求人ノ前記實用新案ニ比較スルニ請求人ノ實用新案ニアリテハ「マント」ノ前面ヨリ裾ノ周圍ニ綿ヲ入レタルニ反シ甲第一號證ニアリテハ全部ニ綿ヲ入レ又「マント」及頭巾ノ接合部裏面ノ縁等少許ノ差異アルニ過キスシテ其他各部ノ構造ニ於テ請求人ノ實用新案ト同一ニシテ之ヲ全部ノ構造ヨリ觀察スレハ請求人ノ實用新案ト類似シ其範圍ニ屬スルモノトス被請求人ハ甲第一號證ハ自己ノ第一三三九七號登録實用新案友禪「マント」ニ頭巾ヲ付シ多少切地ノ裁方ヲ改良シタルモノニシテ請求人ノ實用新案ノ權利範圍ニ屬セスト云フト雖甲第一號證ハ「マント」ノ上部ト頭巾ノ下部トヲ接合スヘク襷ヲ設ケテ縫合シタルノミナラス第一三三九七號實用新案ノ如ク裏布ニ綿ヲ布延シ其上ニ柔軟ナル紙ヲ布キ「ミシン」縫ヲ施サ、ルヲ以テ該實用新案ト別種ノ構造ニ屬スルモノナリ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
同 塚本信治

*九十
特許局事務官 奥山萬次郎

第二千五百三十三號

請求人 藤村 一二
右代理人 小池宗三郎
被請求人 田原政吉
同 松本守雄
廣島縣佐伯郡嚴島町五百六十二番地
廣島市榎町四百五十番地
同 市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷特許辦理士
大阪市西區堀江上通一丁目一番地
右代理人 松井繁太郎

右當事者間ノ第二三八四號發錄實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ販賣スル甲第二號證箸袋ノ構造ハ第二三八四號發錄實用新案ノ權利範圍ニ屬ス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ販賣スル甲第二號證消毒衛生御はしハ請求人所有ノ發錄實用新案第二三八四號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人所有ノ發錄實用新案第二三八四號ハ其主要ナル考案カ袋イニ箸ヲ收メタル後疊目ロハヲ折返シ小孔ニ小楊子ホヲ貫通シテ封シタル構造ニ在ルコトハ甲第一號證ニ明カナリ然ルニ被請求人田原政吉ノ製造販賣及同松本商店ノ販賣スル甲第二號證ノ袋ノ構造ヲ見ルニ袋ノ上口ニ疊目ヲ設ケ之ヲ折返シテ小楊子ヲ貫通封緘シタルモノナリ故ニ其構造ノ目的及考案ニ於テ全ク同一ナリト云フニ在リテ甲第一號乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人ハ本件審判請求書副本ノ送達ヲ受ケ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

審決ノ理由 第二三八四號發錄實用新案ハ硫酸紙ヲ以テ作成シタル箸袋イニ第一圖ニ示ス如クロハノ折目ヲ附シ第二圖ニ示ス如ク小孔ニヲ穿チ第三圖ニ示ス如ク小楊子ホヲ右小孔ニ貫通シテ封緘スヘキ箸袋ノ構造ヲ以テ要部ト爲スコトハ其請求範圍ニ明示スル所ナリ然ルニ被請求人ノ製造販賣セル甲第二號證ハ又硫酸紙製ノ箸工ニ前記實用新案ニ於ケルロハニ相當スル工ニ折目ヲ附シ且其折疊部ニ於テ前記實用新案ニ於ケル小孔ニ相當スル位置ニ小楊子ヲ貫通シテ封緘シタルモノニシテ兩者即チ第二三八四號發錄實用新案ト甲第二號證トハ其主要ノ構造ニ於テ相異ノ所ナシ從テ甲第二號證箸ノ構造ハ第二三八四號發錄實用新案ノ權利範圍ニ屬ス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月二十一日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
同 塚本信治
特許局事務官 奥山萬次郎

第二千三百七十五號

請求人 東田市兵衛
右代理人 堤他彦
被請求人 大橋友藏
兵庫縣明石郡明石町ノ内鍛冶屋町五十六番屋敷
大阪市東區備後町二丁目三十六番地特許辦理士
神戸市兵庫水木通四丁目二番地ノ二

右當事者間ノ第二三〇三八號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ第二三〇三八號實用新案登錄ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第二三〇三八號登錄實用新案ハ之ヲ無効トス審判費用
ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人所有ノ第二三〇三八號登錄實用新案ハ明治四十
三年六月八日出願同四十五年一月十七日登錄ヲ得タルモノニシテ其構造ハ其圖面及說明ニ依レハ長方
形ノ鐵製釜ト生魚ヲ容ルヘキ竹製籠ヲ收容スヘキ助籠ト鐵網ヲ張リタル蓋ト及助籠ヲ載架シテ釜底面
ト助籠トニ間隙ヲ生セシムヘキ助臺トヨリ成ル煮乾魚製造用釜ナリ然ルニ請求人ハ本件實用新案出願
前即チ明治四十一年八月兵庫縣明石郡林崎村中谷捨吉ノ考案ニ係ル乾魚製造用鍋ヲ同人ヨリ其製造ノ
依頼ヲ受ケ之カ製作ヲ爲シタルモノニシテ其構造ハ長方形ノ深キ鍋ノ内底面ニ梯子形ノ「スケ」臺ヲ收
容シ該「スケ」臺上ニ鐵棒製ノ「スケ」籠ヲ載架シ此「スケ」籠内ニハ煮乾スヘキ生魚ヲ入レタル籠ヲ積ミ
入レ該籠ヲ蓋蓋スヘキ金網張リノ蓋ヲ具ヘテ成ルモノナリ從テ此等各部ヲ本件實用新案ノ各部ト對照
スルニ全然均等ノ部分ヨリ成立スルモノナルコト明カナリ而シテ之ヲ以テ製造セラレタル乾魚カ品位
優良ナルコト一般斯業者ノ認ムル所トナリ淡路及兵庫ノ各地ヨリ續々注文ヲ受ケ製造供給シタリ就中
請求人ヨリ販賣シタル甲第二號證物品ノ圖面ハ其製品ト共ニ明治四十二年開催ノ淡路洲本水産共進會
ニ出品セラレタリ以上ノ如ク本件實用新案ハ其出願前公然用キラレタル物品ト同一ナルヲ以テ實用新
案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ反スルヲ以テ無効ナリト云フニ在リテ其立證トシテ甲
第一號證乃至甲第五號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ
被請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第二三〇三八號登錄實用新案ハ有效ナリ審判費用ハ請求人ノ負

擔トストノ審決ヲ求ム其理由ハ淡路洲本ニ開催セラレタル水産共進會ニ出品シタル熬雜魚及
該品ヲ製造セシ熬釜ノ圖面ト被請求人ノ新案權ヲ得タル圖面トハ同一ノモノナリト云フモ兩者ハ全ク
其構造裝置ノ點ニ大差アリ即チ請求人ノ模造ニ係ル釜ハ一尺以上ノモノナルカ故ニ上端ヨリ三四寸ノ
所ヨリ腐敗シ二箇年乃至三箇年ニシテ廢物ニ歸ス助籠臺ハ一寸五分ノ平鐵ヲ以テ製シタルモノナルカ
故ニ煮沸スルモ觸火面積ヲ減シ平均ノ熱ヲ與ヘサル爲メ製品ニ不良ノモノヲ得ヘク又助籠ハ高クシテ
中間ニ支柱ヲ入レアリテ其材料弱少ナルヲ以テ破損シ易シ然ルニ被請求人ノ本件實用新案ノ釜ハ觸火
面積ハ全釜底ニ火力ヲ用ヒ燃料ヲ節減ス又助籠臺ハ四分九鐵ヲ以テ製シタルカ故ニ沸騰力ヲ妨ケス從
テ折碎等ノ憂ナク良好ナル多量ノ製品ヲ收得ス此等ノ差異ハ製魚上多大ノ利害關係ヲ有スルヲ以テ請
求人ノ主張ノ如ク微細ノ差異ニアラス又本件實用新案釜ハ被請求人カ其父ト共ニ明治三十七年中ヨリ
自宅ニ於テ其製作ニ苦心シ再三試驗ノ結果完全ナル物ヲ製出スルニ至リ他ニ出願者出テントスル虞ア
ルヨリ被請求人ニ於テ出願ノ手續ヲ了シ權利ヲ得タルモノナリ然ルニ請求人ハ兵庫縣明石郡林崎村中
谷捨吉ノ考案ニ係リ云々ト云フモ請求人ハ本件實用新案試驗中目撃シタル角釜ノ說明ヲ爲シテ同人ヨ
リ其製作ノ注文ヲ受ケタルモノニシテ多少ノ取捨ヲ加ヘテ其模造品ヲ販賣セシヤノ風聞アリテ右主張
ハ全ク僞說ナリ以上ノ如ク本件實用新案ハ被請求人ノ苦心努力ノ結果公然正規ノ手續ヲ經テ權利ヲ得
タルモノナルヲ以テ請求人ノ申立ハ不當ナリト云フニ在リテ其立證トシテ乙第一號證及乙第二號證ヲ
提出セリ

審決ノ理由 被請求人ハ請求人カ本件實用新案登錄出願前甲第二號證釜ヲ製造販賣セシコトニ付テハ之
ヲ否認セスト雖其製造販賣ニ係ル釜ハ一尺以上ノモノナルカ故ニ上端ヨリ三四寸ノ所ヨリ腐敗シ二三
箇年ニシテ廢物ニ歸シ其助籠臺ハ一寸五分ノ平鐵ヲ以テ製シタルモノナルカ故ニ煮沸スルモ觸火面積

ヲ減シ之レカ爲メ釜中ノ魚ニ平均ノ熱ヲ與ヘサルヨリ製品ニ不良ノモノヲ生スルノミナラス助籠ハ高クシテ中間ニ支柱ヲ入レアリテ其材料弱少ナルモノヲ以テ製作シタルカ故ニ破損シ易キニ反シ被請求人カ出願許可ヲ得タル釜ハ觸火面積ヲ釜ノ底部全體トシ燃料ヲ節約シ助籠臺ハ僅ニ四分丸鐵ナルカ故ニ沸騰力ヲ妨ケス又釜中全部ヲ煮沸スルカ故ニ製品良好ナリト主張スト雖其釜ノ深サノ一尺以上ナルト九寸ナルトノ差異竝ニ助籠臺ヲ一寸五分ノ平鐵ヲ以テ製シタルト四分ノ鐵棒ヲ以テ製シタルトノ差異及ヒ助籠ノ材料ノ纖弱ナルト堅牢ナルトノ差異ノ如キハ釜ノ設計ニ屬シ實用新案ノ登録ヲ受クヘキ考案ニ何等ノ關係ヲ有セサルノミナラス請求人ノ製造販賣ニ係ル甲第一號證ハ長方形ノ鍋、梯子形ノ助臺、鐵棒製ノ助籠、籠及金網製ノ蓋ヨリ成レルモノニシテ被請求人ノ本件實用新案ノ煮乾魚製造用釜(口、助籠臺ハ、助籠ニ蓋ホ及籠ト均等ノ構造ヲ有シ之ヲ全部ノ構成上ヨリ觀察スレハ二者類似ノ構造ヨリ成ルモノナリ故ニ本件登録實用新案ハ其登録出願前類似ノ物品ニ關シ帝國內ニ於テ公然知ラレ及公然用キラレタルモノニシテ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反シ同法第十一條ニ依リ其登録ヲ無効ト爲スベキモノナリ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月三十日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 同 小野喜惣治
 特許局事務官 奥山萬次郎

第二千四百六十四號

廣島縣甲奴郡上下町八十八番屋敷 請求人 山本乙吉
 同 縣甲奴郡上下町八十七番屋敷 同 山本喜一郎
 同 縣深安郡野上村三百三十八番地 被請求人 牧本市太郎

右當事者間ノ第一四四一九號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ第一四四一九號實用新案登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一四四一九號實用新案登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案登録品ハ甲第一號證ノ如ク明治三十六年三月以前ニ於テ既

ニ三河國碧海郡青野村ニ於テ製造ニ係リ帝國內ニ於テ公然知ラレ且ツ公然用ヒラレタル品ニシテ又明治三十七年四月以來連年請求人カ模倣製作セル改良犁ト稱スル農具ニ裝置セルモノトハ唯僅カニ鑄鐵ト鍛鐵トノ差違アルノミニシテ形狀同一全ク在來品ノ類似ニシテ新規ノ考案ト認ムルヲ得ス故ニ其登録ハ無効ト爲スヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ連帶負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ本件實用新案ハ其登録出願以前ニ於テ帝國內ニ公然知ラレ公然用キラレタリト主張スルモ請求人山本喜一郎カ本件審判請求書ニ添附ノ寫眞圖ト同一ノ圖面ヲ以テ實用新案ノ登録出願ヲ爲セシコト及ヒ右請求人ハ被請求人ノ本件登録實用新案ニ對シ權利侵害ヲ爲セルコトヲ自覺シ之レカ爲メ明治四十五年三月八日乙第二號證ヲ調製シ被請求人ニ與ヘタルノ點ヨリ見ルモ請求人ノ主張ハ事實ニ於テ大

ニ矛盾シ其立證ハ全然信スルニ足ラスト云フニアリテ乙第一號證及ヒ乙第二號證ヲ提出セリ
 審決ノ理由 被請求人ノ本件第一四四一九號登錄實用新案ハ明治四十二年七月十二日出願シ同年八月二
 十六日其登錄ヲ受ケタルモノニシテ其願書附屬圖面ニ記載スル如ク鑄鐵板ヲ以テ被ヒタル犁床ニノ構
 造ニアルコトハ其登錄請求範圍ニ「圖面ニ示ス如キ犁床」ノ構造「トアリ又其圖面ノ說明中ニ「本器ノ
 主要トスル處ハ犁床ニシテ土壤ニ摩擦スル部分ヲ鑄鐵製トスルニアリ」〔中略〕我國元來用キ來レル犁床
 ハ木製ニシテ土壤トノ摩擦多ク牽引力ヲ大ナラシメ耕地ノ下層ヲ硬固セシメテ深耕ヲ妨ルノ損アルモ
 本考案ハ犁床ハ床成形鑄鐵製ノモノヲ犁床ニ附着スルカ故ニ滑ニシテ前記ノ損害ナク農家ニ裨益スル
 コト大ナリ」トアル記載ニ徴シテ明ナリ然ルニ其登錄出願前即チ明治三十六七年頃ヨリ鍊鐵板ヲ以テ
 犁床ヲ被ヒタル犁カ公然知ラレ公然用キラレタルコトハ證人田邊六一郎及ヒ柏木六藏ノ證言ニ依テ明
 カニシテ該犁床ハ其鍊鐵ヲ以テ犁床ヲ被ヒタルノ點ニ於テ鑄鐵ヲ以テ被ヒタル本件實用新案ト異レリ
 ト雖鐵板ヲ以テ犁床ヲ被ヒタルノ點ニ於テハ同一ニシテ其效果ニ於テモ差異少ナシ要スルニ該犁床ハ
 本件實用新案ニ類似ノ構造ヲ有スルモノナリ從テ本件登錄實用新案ハ其登錄出願前類似ノ物品ニ關シ
 帝國內ニ公然知ラレ若ハ公然用キラレタルモノニシテ實用新案法第三條第一號ニ該當シ其登錄ハ同法
 第十一條ニ依リ無効ト爲スヘキモノナリ
 仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年四月三十日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
 特許局事務官 奥山萬次郎
 同 三浦惠一

第二千五百五十六號

下關市大字關後地村千七百九十五番地 請求人 防長度量衡株式會社
 右代表者 吉永米藏
 東京市京橋區宗十郎町一番地特許辨理士 右代理人 岸清一
 同 市京橋區宗十郎町一番地 同 堀江專一郎
 廣島市西魚屋町三十番地 被請求人 廣島度量衡器株式會社
 右代表者 秦武八

同 市下中町十八番地特許辨理士 右代理人 松井繁太郎

右當事者間ノ第一〇八九二號實用新案登錄無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 第一〇八九二號登錄實用新案ノ登錄ハ之ヲ無効トス
 審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求會社ノ有スル實用新案第一〇八九二號ノ登錄ハ之ヲ無効トス審
 判費用ハ被請求會社ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求會社ノ有スル登錄實用新案第一〇八九二
 號ハ明治四十一年五月十五日ノ出願ニ係ルモノニシテ量器底板ノ下面ニ於テ對角のニ長サ對角徑ノ約
 十分七ノ溝ヲ切設ケ又把柄全長ノ約三分一ヲ厚サ約二分一ニ切缺キ之ヲ該量器ノ下面ニ設ケタル溝ニ
 差込ムトキハ把柄ノ下面ト水平ヲ保ツカ如クシ量器ノ下面ノ差込口ニ當ル把柄切缺ノ終點ハ山形ノ岸

ヲ爲シテ量器ノ角ニ當ル外郭ニ設ケタル切缺ニ密接スル如ク爲シタル液用柄付量器ノ構造ナリ而シテ
 請求會社ハ明治四十年十月業務ヲ開始シタルトキヨリ量器下面ノ一角ニ設ケタル把柄ノ切缺ノ終點ナ
 ル山形ノ岸ニ接合スル切缺ヲ除クノ外全ク本件實用新案ト同一ナル量器ヲ製造販賣シツ、アリシニ量
 器ノ下面ヲ把柄ト水平ニ保タシメンカ爲メ把柄全體ノ厚サヲ増シ量器ノ下面ニ約三厘ノ隆起ヲ以テ釘
 付ノ不便ヲ除キ引續キ製造販賣シ來リタリ斯ノ如ク本件實用新案ハ其登録出願以前ヨリ請求會社ノ製
 造販賣シツ、アル量器ト類似シ其出願當時既ニ公知ニ屬シ該登録ハ無効ノモノナリ然ルニ被請求會社
 ハ其有スル實用新案權ヲ侵害スルモノナリトシ山口地方裁判所下關支部ニ告訴シ目下繫屬中ナルヲ以
 テ本請求ニ及フ次第ナリト云フニ在リテ甲第一號證ノ一乃至三ヲ提出セリ
 被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件
 實用新案ノ量器ハ明治四十年五月頃ヨリ被請求人ノ獨創ノ考案ニ係リ之カ製造販賣ヲ爲シタルモノニ
 シテ請求人カ本件實用新案登録以前ヨリ甲第一號證ノ一ノ如キ液用柄付量器ヲ製造販賣シツ、アリト
 ノ事實ハ之ヲ認メス次ニ請求人ノ製造販賣セリト稱スル量器ハ下面ニ隆起スル所アリ之ニ反シ本件實
 用新案ハ下面水平ヲ保ツカ如ク爲シタルモノニシテ兩者構造ノ要部ニ何等抵觸スル所ナシ而シテ被請
 求人ハ請求人ニ對シ山口地方裁判所下關支部へ實用新案權侵害ノ告訴ヲ提起シタル所兩者全ク構造ヲ
 異ニシ請求人ノ所爲ハ權利侵害ト認ムヘカラスト爲シ請求人ハ既ニ無罪トナレリ從テ請求人カ被請求
 人以前ニ甲第一號證ノ物品ヲ考案シタリトノ事實アリトスルモ被請求人ノ物品ト何等關係ナキヲ以テ
 本件審判請求ハ理由ナシト云フニ在リテ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

審決ノ理由 被請求人ハ請求人カ製造販賣セル甲第一號證圖示ノ量器ニ對シ本件第一〇八九二號登録實
 用新案ノ權利侵害ナリトシテ山口地方裁判所下關支部ニ告訴ヲ爲シタルモ兩者相異ナルモノナリトノ

理由ニ依リテ右係爭事件ハ請求人ノ無罪ニ歸シタリ故ニ請求人ハ本件第一〇八九二號登録實用新案ノ
 無効審判請求ニ付キ何等利害關係ナキヲ以テ本件請求ハ棄却セラルヘキモノナリト云フモ請求人及被
 請求人ハ同業者ナルノミナラス前記訴訟事件ノ起リタル以上其訴訟ノ成績如何ニ拘ハラス請求人ハ本
 件請求ニ對シ實用新案法第十八條第二項ニ所謂利害關係人ト稱スヘキモノト認ム次ニ本件第一〇八九
 二號登録實用新案ハ其登録出願ノ日タル明治四十一年五月十五日ヨリ以前即チ明治四十年五月頃ヨリ
 既ニ被請求人自身ニ於テ製造販賣セル所ナルハ被請求人ノ答辯書ニ於テ主張スル所ナリ從テ本件實用
 新案ハ被請求人ノ最先考案ニ係ルモノト假定スルモ其出願前既ニ帝國内ニ於テ公然知ラレ若ハ公然用
 キラレタルモノ即チ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スルモノナルヲ以テ其
 登録ハ同法第十一條ニ依リテ之ヲ無効トスヘキモノトス
 仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年五月五日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 奧 山 萬 次 郎
 同 村 山 小 次 郎

第二千六百六十二號

香川縣大川郡松尾村大字田面九十八番地
 德島縣麻植郡川島町大字桑村

請 求 人 藤 目 七 郎
 被 請 求 人 岡 本 嘉 二 郎

東京市本所區林町三丁目二十番地
高知縣香美郡山田町千三百九十一番地

被請求人 赤澤政助
上島勇治

*百

右當事者間ノ第九三八四號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 實用新案第九三八四號ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第九三八四號實用新案ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
スト審決相成度其理由トシテ(一)第九三八四號實用新案ノ登録出願ハ明治四十一年四月十七日ニシテ同年六月二十三日登録セラレタルモノナリ然レトモ其登録ニ係ル物件ト同一物件ハ登録出願前既ニ公知公用ニ屬シタルノ事實ハ森本久吉(甲第一號證)德島縣麻植郡立蠶業學校(甲第二號證及甲第十一號證ノ一)板野郡立農蠶學校(甲第十號證)德島縣蠶種同業組合(甲第九號證)等ノ證明其他甲號各證ニヨリ之ヲ認ムルコトヲ得(二)被請求人ハ蠶業具販賣竝ニ養蠶業者ニ非ス然ルニ前記實用新案權ヲ三宅永之丞外三名ヨリ讓受ケ實業家ニ對シ權利侵害ナリト申立德島地方裁判所又ハ高松地方裁判所等ニ告訴ヲナスコト數回何レモ同一物件ハ既ニ出願前ヨリ販賣使用セラレタルヲ以テ犯罪不成立トナリタリト雖モ「甲第七號證」之レ正業者ノ發達ヲ阻害スルコト多大ナリ(三)請求人ハ前記權利登録出願前即明治四十年四月ヨリ同一養蠶用箱ヲ使用シ來リタリ「甲第八號證」然ルニ被請求人ハ高松地方裁判所ニ權利侵害ノ告訴ヲ提起シタルモ同檢事局ハ其不都合ヲ責メ斯業者一般ノ發達ノ爲メ無効審判ヲ請求スヘシトノ下命アリタリ右ノ如キ理由ニヨリ請求人ハ本審判ヲ請求シタルナリト主張シ事實ヲ證スル爲メ甲第一號證乃至第十一號證ヲ提出セリ
被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ三宅

式養蠶用箱ト同一物品ハ登録出願前森本久吉カ考案ヲナシ爾來使用シ來リタル様甲第一號證ニヨリ證明スト雖モ森本久吉ハ請求人カ使用シ現ニ被請求人ノ權利ヲ侵シツ、アル森本長七ノ父ニシテ長七ハ被請求人ノ許諾ヲ得テ三宅式養蠶箱ノ製造使用ヲナシタル者ナルヲ以テ甲第一號證ヲ證據ト爲スニ足ラス「乙第一號證」又德島縣麻植郡立蠶業學校ニ於テ明治四十年四月頃ヨリ同一物品ヲ使用シ居タリト云フモ右學校ハ被請求人ノ郷里ノ近傍ニアリ且被請求人ハ蠶具商、繭絲商トシテ常ニ之ニ出入セルモ如此事實ヲ認メタルコトナシ又甲第三號證乃至第六號證ニヨリ明治三十六年十一月ヨリ一般ニ製造販賣シ居ル由立證スト雖モ斯ル年月ハ確實ニ立證シ得ルモノニアラス次ニ被請求人ハ蠶業具竝ニ養蠶業者ニアラスト申立ツルト雖モ被請求人及父實三郎ハ本實用新案權讓渡以前ヨリ德島縣麻植郡川島町愛媛縣東宇和郡宇和町及ヒ現今香川縣大川郡長尾村等ニ於テ蠶具一切ノ販賣ヲ爲シ從テ被請求人ハ各地ニ於テ本蠶箱ノ製造方法ヲ教授シ分權又ハ特約販賣ヲ爲サシメツ、アリ現ニ請求人モ亦特約者ノ一人ニシテ乙第二號證ノ契約證ヲ差入レタルニ不拘其契約ヲ履行セサルカ爲メ明治四十五年七月九日高松地方裁判所ニテ有罪ノ決定ヲ受ケ「乙第四號證」又大正元年十二月頃ヨリ前記森本長七ヲ雇入レ被請求人ノ權利ヲ侵害セルヲ以テ大正二年二月五日高松地方裁判所ニ權利侵害ノ告訴ヲ提起セリ然ルニ請求人ハ明治四十年四月下旬ヨリ製造販賣セルカ如ク立證スト雖モ「甲第八號證」村役場トシテ如此事實ヲ確實ニ證明シ得ラルヘキニアラス要スルニ請求人ノ提出シタル證據ハ毫モ信用スルニ足ラスト主張シ乙第一號證乃至第七號ヲ提出セリ

審決ノ理由 被請求人ノ第九三八四號實用新案三宅式養蠶用箱ハ三宅永之丞外二名カ明治四十一年四月十七日出願シ同年六月二十二日登録セラレ明治四十二年五月二十七日被請求人カ其讓受ノ登録ヲ受ケタルモノナリ而シテ其實用新案ニ係ル養蠶用箱ハ丸竹ヲ外周ト爲シ割竹ヲ以テ菱形ニ組ミテ外周ノ丸

*百一

竹ヲシテ保持セシメ中央縦横ニ力竹ヲ結ヒテ成レルモノナリ然ルニ之ト其構造ニ於テ均等ナル物件ハ本件出願前即明治四十一年四月十七日以前ニ既ニ公用ニ屬シタルノ事實ハ甲第二號證甲第十號及ヒ甲第十一號ノ一ニヨリ之ヲ認ムルヲ得更ニ之ヲ詳述スレハ徳島縣麻植郡立蠶業學校ニ於テハ明治四十年四月十日同學校開校ノ當時ヨリ又板野郡立農蠶學校ニ於テモ明治四十年四月ヨリ新案ノ登録ニ係ル蠶箔ト同一ナル蠶箔ヲ使用シ來リタルコト明ニシテ又徳島蠶種同業組合ノ證明ニ依ルモ明治三十九年ヨリ同様ナル蠶箔ヲ其組合員タル蠶種製造者カ使用シ居タルモノナリ被請求人ハ右ニ援用シタル證明書ハ何人ノ申請ニヨリ作成シタルヤヲ明記セサルヲ以テ事實ヲ立證スルニ足ラスト主張スルモ凡ソ證據方法トシテ使用セラル、書面ニシテ其趣旨ニ依リ證據ヲ供シ得ヘキ證書ナルニ於テハ作成者ハ當該審判事件ニ付證據方法トナスノ意思ヲ以テスルノ必要ナク又何人ノ申請ニヨリ之ヲ作成シタルヤ明ナルヲ要セス右ノ理由ニヨリ本件登録ニ係ル考案ハ其出願前既ニ帝國内ニ於テ公用ニ屬シタルコト明ニシテ其登録ハ實用新案法第三條第一項ニ該當シ同法第一條ニ規定セル新規考案ニアラサルヲ以テ同法第十一條ニヨリ其登録ヲ無効トスヘキモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年七月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
 特許局事務官 村山小次郎
 同 三浦惠一

第二千五百四十號

神戸市御幸通一丁目三十八番ノ一 請求人 行松勝次郎
 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右代理人 淺村三郎
 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平岩義一
 神戸市榮町三丁目十番地 被請求人 寺島半藏
 大阪市東區淡路町一丁目二十四番地特許辨理士 右代理人 佐々木高吉

右當事者間ノ第二四四九五號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 實用新案第二四四九五號ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ被請求人ノ所有スル第二四四九五號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ被請求人ノ所有スル登録第二四四九五號實用新案ハ明治四十五年五月十日出願同年六月五日ノ登録ニ係レリ然ルニ其實用新案ノ洋傘及杖ノ握柄ト類似ノ構造ヨリ成ル洋傘及杖ノ握柄〔甲第二號證ニ示スモノ〕ハ明治二十五年頃ヨリ請求人ノ製作販賣シ來レルコトハ甲第三號證ニ依リテ之ヲ證スルヲ得ルノミナラス請求人ハ明治四十四年八月以降甲第二號證ニ示ス洋傘及杖ノ握柄ノ注文ヲ受ケ被請求人ニ引渡シタル事實アリ要スルニ本件實用新案品ト類似スル洋傘及杖ノ握柄カ明治四十五年五月十日以前ニ於テ公用ニ屬シタルコト明ニシテ本件實用新案ハ實用新案法第三條ノ規定ニ該當シ同法第一條ニ違反スルモノナルヲ以テ同法第十一條ニ基キ其登録ハ無効ナリト主張シ之ヲ證スルカ爲メ甲第一號證乃至第九號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ眞竹ノ主根ニ竹ノ球根ヲ繼合セタル構造ノ洋傘及杖ノ握柄ハ被請求人ニ於テ之ヲ考案シ明治四十五年五月十日實用新案ノ登録ヲ出願シ其後被請求人ハ請求人ニ該品ノ製造ヲ爲サシメタルモノニシテ請求人ハ製作ニ未熟ニシテ被請求人ニ損害ヲ與ヘタル事實ニ依ルモ請求人カ被請求人ヨリ製造ヲ受合ヒタル以前ニ該品ヲ製作シタルコトナキヲ推知シ得ヘシ又甲第三號證長田大介ノ證明書ニ記セル事實ハ虛偽ナリ又甲第四號證小森末吉ノ證明書ニハ明治三十八年頃行松勝次郎ヨリ「ステッキ」ノ一端ヘ竹ノ球根ヲ差込ミタル物ヲ買取リ他ヘ販賣セル旨ノ記載アルモ同年頃行松勝次郎ハ此ノ如キ物ヲ製作シタル事實無シト主張シ證據トシテ乙第一號證乃至第三號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

審決ノ理由 本件實用新案ハ中空ヲ有セサル眞竹ノ把握ヲ彎曲シ其先端ニ破竹若ハ矢竹ノ球根ヲ螺釘ニ依リテ接合シタル洋傘及杖ノ握柄ニ係レリ然ルニ中空ヲ有セサル眞竹ノ把握ヲ彎曲シタルモノ、先端ニ破竹ノ球根ヲ螺釘ニテ接合シテ成ル洋傘又ハ杖ノ把握ハ本件實用新案登録出願ノ日即チ明治四十五年五月十日以前ヨリ帝國内ニ公然知ラレ公然用ヒラレタルモノナルコトハ本件證人本郷米吉ノ證言中甲第六號證ノ握柄ト同様ノモノハ明治三十九年二月頃大阪ノ小森末吉ヨリ破竹ノ柄ヲ接着シタル「ステッキ」ノ握柄ヲ長短兩種合セテ三十五六本許リ買ヒタリト云ヒ及ヒ明治三十九年九月頃右ト同一品ヲ行松勝次郎ヨリ買入レタリト云フニ徴シ又證人志水清太郎カ明治十二三年頃大阪ニ於テ甲第六號證ニ示ス如キモノカ舶來品ニアリタリトノ證言ニ依リテ之ヲ認ムルニ足ル從テ本件實用新案ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反シ同法第十一條ニ依リ無効タルヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年七月十九日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
 同 特許局事務官 村山小次郎
 同 三浦 惠一

第二千五百四十一號

神戸市御幸通一丁目三十八番ノ一 請求人 行松勝次郎
 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右代理人 淺村三郎
 同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平岩義一
 神戸市榮町三丁目十番地 被請求人 寺島半藏
 大阪市東區淡路町一丁目二十四番地特許辨理士 右代理人 佐々木高吉

右當事者間ノ第二四四九五號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人ハ請求人ノ製造販賣セル甲第一號證洋傘及杖ノ握柄ハ被請求人所有ノ登録實用新案第二四四九五號ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ登録實用新案第二四四九五號ニアリテハ一、中空ヲ有セサル眞竹ノ把握ヲ彎曲スルコト二、把握部ノ先端ニ破竹若ハ矢竹ノ球根ヲ接合スルコト其接合ニハ螺釘ヲ使用スルコト三、條件ヲ具備スルコトヲ要シ其一ヲ缺如スルトキハ該實用新案ヲ構成セサルモノナリ而シテ請求人ノ製作スル洋傘及杖ノ握柄ハ甲

第一號證ニ示スカ如ク中空ヲ有セサル眞竹ヲ彎曲シ〔又ハ彎曲セス〕其先端ニ竹ノ球根ヲ柄子ニ依リテ
捻回スルコトナク膠其他ノモノヲ用ヒテ固ク嵌合セシメテ成リ一ハ螺釘ヲ使用スルヲ要件トシ他ハ之
ヲ絶對ニ使用セス單ニ柄子ヲ使用シ爲メニ其效果ニ於テモ差違アリト云フニ在リ
被請求人ハ請求人ノ製作販賣セル甲第一號證洋傘及杖ノ握柄ハ被請求人所有ノ登録實用新案第二四四
九五號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ右登録實用新案
ハ中空ヲ有セサル眞竹ノ主根ニ破竹若ハ矢竹ノ球根ヲ接合シタル新規ノ構造ニ係レリ而シテ請求人ノ
甲第一號證ノ握柄モ亦眞竹ノ主根ニ他ノ球根ヲ接合シタルモノナルヲ以テ甲第一號證ノ握柄ハ全然請
求人ノ實用新案ヲ使用セルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 登録實用新案第二四四九五號ノ要部ハ中空ヲ有セサル眞竹ノ主根ニ破竹若ハ矢竹ノ球根ヲ
接合スルノ點ニ在リ而シテ請求人ノ製作販賣スル甲第一號證ニ示ス洋傘若ハ杖ノ握柄モ亦中空ヲ有セ
サル眞竹ノ主根ニ破竹若ハ矢竹ノ球根ヲ接合スルノ點ヲ以テ要部ト爲シ二者相一致ス故ニ其接合ノ爲
メニ螺釘又ハ柄子ヲ用フルカ如キ多少ノ差違アリト雖モ甲第一號證ハ登録實用新案第二四四九五號ノ
權利範圍ニ屬スルヲ以テ請求人ノ主張ハ之ヲ認ムルニ由ナシ
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年七月十九日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
特許局事務官 村山小次郎
同 三浦小惠一

第二千五百九十三號

東京市京橋區南傳馬町二丁目八番地
同 市下谷區池ノ端仲町九番地

請求人 溝口萬吉
被請求人 野尻雄三

右當事者間ノ第二二三〇八號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 審判請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ第二二三〇八號實用新案登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審
決相成度ト申立テ其理由ハ被請求人ハ實用新案登録第二二三〇八號裝飾用指輪箱ニ就キ明治四十四年
四月一日實用新案登録ヲ出願シ同年十一月十五日ヲ以テ其登録ヲ得タリ然ルニ之ト全然同一構造ノ指
輪箱ハ本願登録出願前即チ明治四十三年五月六日頃ヨリ東京市神田區佐柄木町二十一番地「サック」製
業小澤倉吉カ引續キ製造販賣セルトコロナリ從テ本件登録實用新案ハ其登録出願前公知公用ニ屬シ新
規ノ考案ニ係ルモノニ非ス即チ甲第二號證ノ指輪「サック」ハ明治四十三年五月六月以來一般ニ製造販賣
セラレツ、アルモノト同一構造ノ物品ニシテ此構造ノ物品ハ明治四十三年六月二十七日指輪「バネ」揚
ケ「サック」ナル名稱ヲ以テ前記小澤倉吉ヨリ東京市日本橋區通油町十四番地貴金屬製品卸商川尻商店
へ數量五打ヲ賣渡シ又同年十一月七日同人ヨリ同商店へ同一構造ノ「サック」ヲ一箇賣渡シタル事實ア
リ猶小澤倉吉ハ川尻商店以外へモ右同一ノ物品ヲ販賣シタルコトハ同人ノ言明スルトコロナリト主張
シ甲第一號證乃至第三號證ヲ提出シ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ
被請求人ハ請求人ノ請求ヲ棄却ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ登録第

二二三〇八號實用新案ニ係ル物品ト全然同一構造ノ指輪箱ハ本件實用新案登録出願前即チ明治四十三年五月頃ヨリ東京市神田區佐柄木町二十一番地小澤倉吉ナル者カ製造販賣セル所ニシテ本件實用新案ハ新規ノモノニ非スト云フ請求人ノ主張ハ不當ナリ請求人ハ又小澤倉吉ヲ證人トシテ訊問セラレンコトヲ請求スレトモ同人ハ請求人ト同シク被請求人ノ新案權ヲ侵害シタルモノトシテ目下東京地方裁判所ニ於テ取調中ナルヲ以テ同人ノ證言ハ信スルニ足ラス又被請求人ハ佐藤隼吉ヲ代理人トシテ同人ノ侵害行為ヲ責メタルトキ明治四十四年八月初メテ本件指輪箱ヲ製造シタリト言明セル事實アルニ徴スルモ本件實用新案ノ考案カ其出願前公知公用ニ屬セサルコトヲ證スルニ足ル又小澤倉吉カ明治四十四年四月一日即本件實用新案登録出願前本件ノ裝飾用指輪箱ヲ製造シ居ラサルコトハ其當時日本橋區濱町三丁目住居現時山梨縣甲府市境町二十番地居住松坂儀平カ明治四十四年六月中神田區連雀町十八番地藤原龜太郎方ニ行キタル際藤原方ニ於テハ小澤倉吉ヨリ注文セラレタルモノトシテ本件實用新案登録出願中ノ該指輪箱ト同型ノ物ニシテ該指輪箱ノ眞トナルヘキ木地ヲ製造シ居ルヲ目撃シ同人ノ不法行為ヲ詰責シタル事實アリ又請求人ヨリ提出セル炭彦商店仕入帳ト稱スルモノ、一部ニ記載セラレタル「指輪」バネ「上ケ」サク「ク」〔四十二年度分〕ナルモノハ偽造又ハ變造ニ係ルモノニアラサレハ該帳簿ニ記載スル「指輪」サク「ク」バネ「上ケ」ナルモノハ本件新案ノ指輪箱トハ別種ニ屬スルモノタルハ論ナシ又「バネ」上ケ「サク」ト普通ニ稱スルハ乙第一號證第二圖ニ示スモノヲ云ヒ乙第一號證ノ三即チ本件新案指輪箱ヲ指稱スルモノニ非スト主張シ乙第一號及第二號證ヲ提出シ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

審決ノ理由

登録第二二三〇八號實用新案裝飾用指輪箱ハ箱ノ上部一邊ニ蓋ヲ開閉シ得ヘク蝶着シ箱ノ内部ニ伸縮自在ニ布又ハ皮ヲ張り詰メテ内部ヲ覆フヘキ部分ト爲シ其上面ニ指輪ヲ挟ムヘキ部分ヲ附

着シ内部ヲ覆ヒタル部分ノ内ニ彈器及板ヲ裝付シテ蓋ヲ開キタル場合彈器トノ撥力ニ依リ覆ト共ニ指輪ヲ挟ムヘキ部分ヲ上方ニ突出セシムヘクナシタルト同時ニ該蓋ヲ閉チタル際彈器ヲ壓縮シテ覆並ニ指輪ヲ挟ムヘキ部分ヲ下方ニ陥没スヘカラシメタル構造ヨリ成リ明治四十四年四月一日登録出願ヲ爲シ同年十一月十五日登録セラレタルモノナリ然ルニ甲第二號證ノ圖面及説明書ニ示ス指輪函ノ構造ハ下箱ノ内面ニ伸縮自在ニ張着シタル布又ハ革ノ覆ヲ爲シ其覆ノ内部中央ニ板ヲ附着セシメ覆ノ上面ニ指輪ノ挾持部ヲ設ケ蓋ヲ蝶着シ蓋ト下箱トハ掛金ニテ密閉スルヲ得ヘク爲シ覆ノ内部ニハ彈機ヲ具ヘ蓋ヲ開キタル場合覆ト共ニ指輪ノ挾持部ヲ上方ニ突出セシメ又蓋ヲ閉チタルトキハ指輪ノ挾持部ヲ覆ト共ニ下方ニ陥没セシムヘク爲シタルニ在リ故ニ本件實用新案ノ指輪箱ノ構造ト甲第二號證ニ示ス指輪箱トノ構造ハ全ク同一ナリ然レトモ甲第二號證ニ示ス指輪箱ハ本件實用新案登録出願ノ日即チ明治四十四年四月一日以前ヨリ公然知ラレ公然用ヒラレタルモノナリヤヲ按ズルニ證人平野巳之助ハ其證言中甲第二號證ニ示ス物品ハ明治四十三年六月十日小澤倉吉ヨリ三箇買入レ次ニ同年同月二十七日ニ同人ヨリ五打購入シ其後引續キ右小澤倉吉ヨリ購入シタリト主張スレトモ其構造ニ就テハ之ヲ知悉セスト申立ツル所ヲ以テ見レハ平野巳之助カ支配人トシテ勤務スル東京市日本橋區通油町十四番地川尻彦兵衛商店ニ於テ指輪箱ヲ前記ノ如キ數額購入シタル事實ハ之レヲ認ムルニ足ルト雖其購入シタル指輪箱カ甲第二號證ニ示ス如キ構造ニ成レルモノナリシコトヲ證スルニ足ラス又請求人ノ主張ヲ確ムルニ足ル證據不充分ナリ故ニ本件實用新案ノ登録ハ實用新案法第三條第一號ニ該當スルコト無ク從テ同法第一條ニ違反スルモノトナシ同法第十一條ニ依リ其登録ヲ無効トスヘキモノニアラス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年七月二十九日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 三浦惠一
同 馬場穎一

*百十

第二千六百九號

名古屋市西區鹽町二丁目百六番戸 請求人 服部 萬吉
同 市西區長島町三丁目百十五番戸特許辦理士 右代理人 織田 了
大阪市北區西野田龜甲南ノ町百二十四番地 被請求人 山崎 照親
同 市北區松島町二丁目七番地 同 松永安左衛門
同 市南區順慶町四丁目七十三番地特許辦理士 右代理人 山内 香

右當事者間ノ第二〇一四五號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ製造販賣スル甲第一號證煉炭ハ第二〇一四五號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬セス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人カ製造販賣スル甲第一號證ノ譽炭煉炭ハ被請求人ノ所有ニ係ル
登録實用新案第二〇一四五號經濟煉炭ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成
度其理由ハ請求人カ製造販賣スル甲第一號證譽炭煉炭ハ無煙炭粉末八割及「ドベタン」沈澱粉末二割ヲ
麩糊液或ハ泥土液ヲ以テ固メ其周邊ニ導火粉末ヲ附着シタル煉固炭ニ氣孔七箇ヲ穿テ下面ヲ凹クシテ
成リ之ヲ圓形ノ臺上ニ平置シ且通風筒ヲ併裝シテ火床ニ置クトキハ火氣ト煉固炭トノ間ニ空隙ヲ生シ

通風作用ヲ爲シ燃燒力ヲ迅速ナラシムヘク結合セルモノナリ然ルニ本件實用新案第二〇一四五號經濟
煉炭ハ圖面ニ示ス如ク「コークス」粉末及無煙炭粉末ヲ麩糊液ト泥土液トノ混合液ヲ固メ其下端ニ消炭
ノ粉末ヲ固メ附着シタル煉固炭「ニ孔ニ」ヲ穿テ下面ヲ凹クシ中央ノ孔「ニ點火包」ヲ結束シ且上端
ヲ環狀ニ爲シタル條線「ヲ貫通シテ成ルモノニシテ其新規考案ノ主要部ハ中央ノ孔「ニ點火包」ハ蠟液
ヲ附着シタル蠟束」ヲ結束シ且上端ヲ環狀ニ爲シタル條線「ヲ貫通シタル點」ニ存在ス即チ點火包ニ
點火シテ燃燒力ヲ起サシメ且環狀ノ條線ヲ以テ煉炭ヲ釣リ上ケ下部ニ空氣ヲ流通セシメテ火力ヲ熾ナ
ラシムル目的ニ在ルヤ明カナリ右兩者ヲ比較スルニ一般公用ニ屬スル煉固炭自體ノ構成ニ付テ相
類似スルモ其他ノ構成竝ニ考案ノ目的全然異ナリ前者ハ後者ノ主要部タル新規考案ヲ施設シタル處ナ
シ從テ甲第一號證譽炭煉炭ハ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬セサルヤ勿論ナリト云フニ在リテ甲第一號
證及甲第二號證ヲ提出シタリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求
人ノ製造販賣ニ係ル甲第一號證譽炭煉炭ハ被請求人ノ本件登録實用新案第二〇一四五號經濟煉炭中點
火包ヲ練束シタル條線「ヲ除キタル部分ト全然同一若ハ均等ノ構造及效果ヲ有ス即チ請求人ハ其製造
販賣ニ係ル譽炭煉炭ハ無煙炭粉末及「ドベタン」沈澱粉末ヲ麩糊液或ハ泥土液ヲ以テ固メタルモノナリ
ト云フモ本件經濟煉炭ト同シク「ドベタン」沈澱粉末ヲ混合スルコトナシ又周圍ニ導火粉末ヲ附着セシ
メタル煉固炭ナリト云フモ只下端ニノミ附着スルノミナルコトハ此種ノ煉炭ハ其周圍ヨリ導火スルニ
アラサル構造ニ徵スルニ明カナリ其他氣孔七箇ヲ有スルコト及下面ヲ凹クシタル構造ハ請求人自身ノ
主張ニ依リテ明白ナリ然ルニ本件實用新案ハ廢物タル無煙炭粉末ヲ煉炭トシテ使用シ得ヘカラシムル
ヲ以テ其目的トスルニ在リ且其登録請求範圍ニ記載スルカ如ク圖面ニ示ス如キ經濟煉炭ノ構造ニシテ

*百十一

主文 本件審判請求ハ之ヲ却下ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ請求人等カ製造販賣スル『やまと表』ハ被請求人會社ノ所有スル登録實用新案第六七九二號ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由トシテ被請求人ノ專用スル登録實用新案第六七九二號ノ構造ヲ説明シ請求人等カ現ニ製造販賣シツ、アル『やまと表』ノ構造ハ望月英太郎ノ專用スル登録第一二四七八號實用新案權者ノ實施許諾ヲ受ケ該權利ノ範圍ニ從テ製造スルモノニシテ該實用新案ノ圖面及登録請求範圍ニ示スカ如ク『下駄表』ノ大サニ定メタル紙「ボール」紙其他適宜ノ材料ヨリ成ル心地ノ表面ヘ羅紗地面ニ「セルロイド」ヲ塗布シタルモノヲ包着シ之カ表面ヘ下駄表ニ適スヘキ筋目ヲ表シテ成ル『やまと表』ナリ故ニ登録實用新案第六七九二號ト『やまと表』トハ其構造ヲ異ニスト主張シ證據トシテ甲第一號及第二號證ヲ以テセリ
被請求人ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ請求人カ製造販賣セリト稱スル『やまと表』ノ構造不明ナリ又本件請求ハ登録ハ登録實用新案第一二四七八號ハ登録實用新案第六七九二號ノ權利範圍ニ屬セストノ審決ヲ求ムルモノナリヤ其請求趣旨明確ナラス從テ請求人ノ説明ヲ待チテ後答辯スル所アルヘシト云フニ在リ

審決ノ理由 請求人カ製造販賣シツ、アリト稱スル『やまと表』ノ構造不明確ナルヲ以テ請求人ニ對シ明治四十五年二月二十二日附ヲ以テ同年三月五日迄ニ其構造ヲ明ニシタル圖面竝ニ説明書ヲ提出スヘキ旨指令シ置タルニ其期日迄ニ之ヲ提出セス更ニ同年二月二十七日附ヲ以テ同一趣旨ノ指令ヲ發シ同年四月五日迄ニ其圖面及説明書ヲ提出スヘキ旨ヲ以テセルモ亦之ヲ提出セス故ニ本件請求ノ目的タル『やまと表』ノ構造不明確ニシテ請求人ノ請求ニ對シ本案ニ入りテ審決ヲ下スコトヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年八月九日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
特許局事務官 三浦惠一
馬場 穎一

第二千四百五十八號

- 東京市本所區中ノ郷八軒町三十番地
- 同 市淺草區山ノ宿町四十六番地
- 大阪市東區北久太郎町四丁目二十五番地
- 同 市東區博勞町四丁目二十一番地
- 同 市東區南久太郎町四丁目二十三番地
- 同 市東區清堀町三十三番地
- 同 市南區日本橋筋三丁目七十五番地
- 同 市南區木津北島町二丁目三十九番地
- 同 市南區木津北島町一丁目
- 同 市南區木津北島町二丁目三十九番地
- 同 市南區西濱北通リ三丁目四百五番地

- 請求人 大石儀作
- 同 小林佐吉
- 同 大路辰造
- 同 明石源太郎
- 同 辰巳米吉
- 同 榮島德次
- 同 藤井久米次郎
- 同 高間傳四郎
- 同 東本彌之助
- 同 中村峰吉
- 同 三木榮吉

シ同法第一條ノ規定ニ違反シテ登録セラレタルモノナルヲ以テ同法第十一條ニ依リ之カ登録ヲ無効トスヘキモノナリ又甲第八號證履物表ノ構造ト本件實用新案ノ要部トハ全ク均等ナリ此點ヨリ本件實用新案ハ實用新案法第三條第一號ニ該當スト主張シ證據トシテ甲第一號證乃至第八號證ヲ提出セリ被請求人ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ本件實用新案ハ芯ヲ絞皮ニテ包ミタル上層皮ト更ニ釘ヲ附シタル芯板ヨリ成ル下層皮トヲ重ネ合シ其兩者ノ間ニ於テ釘ノ頭部ヲ支持セシメ止金具ニ依リ締止シタル全體ノ構造ヲ以テ其登録請求範圍トナセリ然ルニ甲第三號證乃至第七號證ト本件實用新案トヲ比較スルニ履物表ニ釘ヲ附スル點ニ於テ同一ナレトモ其發明又ハ新案ヲ形成セル要點ニ於テハ何レモ特殊ノ點ヲ有シ各異リタル別箇ノ構造ヲ有スルモノニシテ釘ノ如キモ本件實用新案ニハ何等ノ定ムル所ナケレトモ甲各號證ニ於テハ總テ特殊ノ釘ヲ使用セリ此點ヨリ見ルモ類似セル所ナキ各別ノ構造ナルコト明ナリ又甲第八號證ハ錠狀ノ釘ヲ使用セルモノニシテ之レ亦特殊ノ釘ナリ故ニ本件實用新案ノ新規ナルコトヲ妨ケスト云フニ在リ

審決ノ理由 本件實用新案ノ履物表ハ芯ヲ絞皮ニテ包ミタル上層皮ト更ニ釘ヲ附シタル芯板ヨリ成ル下層皮トヲ重ネ合シ其兩者ノ間ニ於テ釘ノ頭部ヲ支持セシメ鼻緒穴筒ニ依リテ之ヲ締止セル構造ノ全體ヨリ成レリ故ニ本件實用新案ハ上下兩層ノ中間ニ釘ノ頭部ヲ支持セシメ釘先ヲ履物表ノ裏ニ突出セシメ置ク考案ノミヲ以テ成立セルモノニ非ス然モ釘ノ種類形狀構造ヲ異ニセルモノヲ履物表構造ノ一部トシテ有スル甲第三號證乃至第八號證ノ如キカ本件實用新案登録出願前既ニ行ハレタルトコロナリトスルモ本件實用新案ノ新規タルヲ妨クルモノニアラス故ニ請求人主張ノ理由ヲ以テ本件實用新案ノ登録カ實用新案法第三條第一號又ハ第二號ニ該當シ同法第一條ニ違反セルモノトシテ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効ト爲スコトヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年八月九日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
 特許局事務官 三浦惠一
 同 馬場穎一

第二千三百二十二號

大阪市南區難波櫻川二丁目千五十五番地	請 求 人	那 須 彌 三 郎
同 市東區東平野町四丁目百八番地	同	榮 島 德 次
同 市東區内久寶寺町二丁目二十七番地	同	清 水 清 兵 衛
同 市西區立賣堀北通五丁目二番地	同	神 間 熊 吉
同 市南區北桃谷町三百八十二番地	同	尾 崎 熊 次 郎
同 市南區高津一番町二百六十番地	同	今 澤 直 吉
同 市南區大和町九十一番地	同	野 村 仙 太 郎
廣島市天満町三百三十番地	同	中 田 福 松
岐阜縣安八郡大垣町桐ヶ崎三十七番戶	同	淺 野 萬 作
大阪市東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷特許辨理士	右請求人那須彌三郎外八名代理人	岡 田 謙 三 郎

右當事者間ノ第六七九二號實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 審判請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

請求人ハ請求人等ノ製造販賣スル甲第一號證ノ物品ハ登録實用新案第六七九二號ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立其理由ハ請求人等ノ從來製造販賣セル下駄表ハ甲第一號證ノ如ク厚キ「ボール」紙ニ在來ノ籐表ニ模擬シタル擬革ヲ貼着シタル單純ナルモノナリ然ルニ第六七九二號實用新案敷島表ハ外觀ヲ南部表ノ如クナラシメタル「レザール」裏面ニ綿「ネ」ル又ハ同効品ヲ貼付シタルモノヲ以テ中間ニ於テ其踵部ニ薄キ彈力護謨又ハ同効品ヲ挾着シ貼合セタル板紙二枚ニ周邊ヲ折曲ケテ貼付ケ其上ニ適宜ノ裏張ヲ施シテ成レルモノナリ故ニ第六七九二號實用新案ハ「レザール」ノ裏面ニハ必ス綿「ネ」ル又ハ同効品ヲ貼付セサルヘカラス又板紙ト板紙トノ中間ニハ必ス其踵部ニ薄キ彈力護謨又ハ同効品ヲ挾着セサルヘカラス又右ノ二ツヲ貼着シタル後裏張ヲ施スコトヲ要シ其全部ノ構造ヲ以テ其權利範圍ト爲セルニ反シ裏面ニハ何物ヲモ貼付セス又板紙ト板紙トノ間ニ或物ヲ挾着セスシテ單ニ厚キ板紙ノ上部ニ籐表ニ擬シタル「レザール」ヲ貼着シタル甲第一號證履物表ハ右實用新案ノ權利範圍ニ屬セスト主張シ甲第一號證ヲ提出シ甲第二號證トシテ當局備付ケノ第六七九二號實用新案公報ヲ援用セリ

被請求人ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ第六七九二號實用新案トシテ保護ヲ受クヘキ要點ハ履物表ニ擬シタル「レザール」ヲ以テ芯ヲ包ム構造ナリ故ニ芯トシテ布一枚及踵部ノ「ゴム」ノ有無ノ如キハ該考案ヲ實施スル際材料ノ取捨ニ依リテ容易ニ變更シ得ヘキ事ニ屬ス故ニ甲第一號證即チ厚キ「ボール」紙ヲ芯トシ履物型ヲ有スル擬革ヲ貼付シタルモノハ實用新案第六七九二號ノ權利範圍ニ屬スト主張シ抗告審判番號第五一號第九六號及第一二四號審決書及該事件ニ於テ日本「レザール」合資會社カ提出セル一切ノ書類審判番號第一六四五號ニ於テ甲第一號證トシテ請求人高橋ヨリ提出シタル履物表ヲ援用ス

審決ノ理由

登録第六七九二號實用新案敷島表ハ其圖面及説明ニ依リテ見ルニ南部表ニ模擬シタル「レザール」ヲ表皮トシ其裏面ニ芯トナルヘキ綿「ネ」ル又ハ同効品ト板紙彈力性護謨又ハ同効品トヲ重ネ合セテ成ル構造ナリ然ルニ請求人等ノ製造販賣スル甲第一號ハ厚キ「ボール」紙ヲ芯トシ籐表ニ模擬シタル擬革ヲ貼着シテ成レリ故ニ請求人ハ兩者ノ構造上顯著ナル差違アリト主張スレトモ彈力性護謨ヲ缺如シ綿「ネ」ルニ代フルニ厚紙ヲ以テセルカ如キハ單ニ材料ヲ取捨セルニ止マリ本件實用新案ヲ變更スルモノニアラス故ニ甲第一號證履物表ハ型置キセル擬革ヲ以テ「ボール」紙ノ芯ノ周邊ニ折曲ケ貼着セル點ニ於テ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬スルモノト認ム

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年八月十五日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎

同 特許局事務官 三浦 惠一

同 馬場 穎一

第二千六百六十六號

*百二十二

東京市本所區林町三丁目二十五番地 請 求 人 增 淵 太 一
 同 市淺草區花川戸町三十四番地 同 合名會社小野商店
 右代表社員
 同 市本所區林町三丁目四十二番地 同 小 野 榮 吉
 右代表社員
 同 市本所區林町二丁目十一番地 同 合名會社物井商店
 右代表社員
 同 市神田區五軒町五番地特許辨理士 同 佐 藤 喜 平
 右四名代理人
 同 市日本橋區本石町一丁目二十五番地 被 請 求 人 日 山 豐 次 郎
 同 市日本橋區本石町一丁目二十五番地 同 澁 谷 權 之 助
 右代理人 清 水 連 郎

右當事者間ノ第三三八九號登錄實用新案鐘馗表ノ權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 (イ)號圖面及説明書ニ示ス履物表ハ登録第二三三八九號實用新案鐘馗表ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人等ノ製造販賣スル(イ)號圖面及説明書ニ示ス履物表ハ被請求人所
 有ノ第二三三八九號登錄實用新案鐘馗表ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相
 成度其理由ハ本件實用新案鐘馗表ノ登録請求範圍ハ圖面ノ示ス如ク二枚ノ真(一)②ノ前後ニ斜狀ノ切缺
 部③ヲ設ケ之カ外方ヲ各斜ニ弓形ニ剝取り籐④ノ一端ヲ挿入固着シ他端ヲ反對ノ方向ニ折返シ貼付シ

後中央全面ニ籐ノ兩端ヲ裏面ニ折返シテ貼附シ最後ニ壓搾型ヲ以テ編目ノ狀ヲ壓寫シタル構造ニアリ
 而シテ其主要點ハ真ヲ二枚トナシタル點ト特殊ナル形狀ノ切缺部ヲ設ケタル點ト壓搾型ニテ編目ノ狀
 ヲ壓寫セシムル點トヲ結合シテ一考案ヲ構成スルモノナリ然ルニ(イ)號證履物表ハ真ハ一枚製ニシテ鼻
 緒孔ノ外別ニ切缺部等ノ設ケナク從テ數多ノ籐片ヲ挿入固着スル等ノ繁雜ナル工程ヲ施スコトナシ
 即チ一條ノ籐ヲ真ニ捲附クルコトニヨリ簡單ニ表ノ一部ヲ形成セシメタルモノトス而シテ又(イ)號證ハ
 編目狀等ヲ擬セサル普通筋溝ヲ設ケ此筋溝内ヲ縫綴シテ籐ト真トヲ完全堅牢ニ固着セシメタルモノニ
 シテ相類似スルモノニアラスト云フニ在リ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人等ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件
 實用新案ノ登録請求範圍ニ依ルニ第一、籐表ヲ真ノ表面ニ並列ニ張付クルコト第二、表面ニ張付ケタル
 籐條ノ末端ヲ裏面ニ折返シテ張付クルコト第三、表面ヲ普通ノ籐狀ノ如キ形狀ニ壓搾スルコト第四、真
 ヲ二枚ニシ斜狀ノ切缺部ヲ作り之ニ籐條ノ一端ヲ挿入固着シ他端ヲ反對方向ニ折返シ張付クルコトト
 ノ四箇ノ構成分ヲ有ス而シテ第四ノ點ハ本考案ノ要部ニ非ス其要部ハ籐ノ細條ヲ表面ニ並列シテ張付
 ケ其末端ヲ真ノ裏面ニ折返シ織目ノ如ク見セシメ且把持ニ適セシメ又表面ニ織籐表ノ如キ凹凸ヲ壓寫
 スルコトニアリ然ルニ(イ)號證ハ第一籐ノ細條ヲ真ノ表面ニ並列シ張付ケ第二真ノ表面ニ張付ケタル籐
 ノ細條ノ末端ヲ裏面ニ折返シテ張付ケ第三表面ニ織籐表ノ如キ凹凸ヲ壓搾スルコト第四表面ノ凹所
 ニ「ミシン」縫ヲナセルコト第五、首尾兩端ニ於テ數孔ヲ穿チ之ニ籐條ヲ貫キ卷ケルコトノ五構成分ヲ
 有シ其目的トスル所ハ材料ヲ節シ外觀ヲ織籐表ト同様ナラシメントスルニアルヲ以テ第五ノ點ハ必ス
 シモ要用ナラス其要部ハ第一、第二、第三、第四ノ點ニアリ依テ此兩者ヲ比較對照スルニ唯第四ノ點ニ
 於テ異ルノミ然ルニ「ミシン」縫ヲ爲スコトハ從來會テ行ハルル所ニシテ籐條ヲ真ニ把持セシムルニ充

*百二十三

分ノ效アルヘキモ單ニ附加的作業ニ過キス從テ(イ)號證履物表ハ本件登録實用新案ノ權利範圍ニ屬スト云フニ在リ

審決ノ理由 登録第二三三九號實用新案鐘馗表ノ構造ト請求人等ノ製造販賣スル(イ)號證履物表ノ構造ニ於テ相一致スル點ハ籐ノ細條ヲ表面ニ並列シテ張付ケ其末端ヲ真ノ裏面ニ折返シ織目ノ如ク見セシメ且把持ニ適セシメ表面ニ織籐表ノ如キ凹凸ヲ壓寫スルコトニアリ然ルニ履物表ノ表面ニ或種ノ材料ヲ貼付スルコト其末端ヲ折リ曲クルコト及其表面ニ壓搾ヲ加ヘテ一定ノ形狀ヲ現出セシムルコトハ從來普通ニ使用セラルル所ニ屬シ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬セス而シテ登録第二三三九號實用新案ノ下駄表ハ二枚ノ真ノ前後ニ斜狀ノ切缺部ヲ設ケ之カ外方ヲ各斜ニ弓形ニ剝取り籐ノ一端ヲ挿入固着シ他端ヲ反對ノ方向ニ折返シ貼付シ後中央全面同籐ノ兩端ヲ真ノ裏面ニ折返シテ貼付シ最後ニ壓搾型ヲ以テ編目ノ狀ヲ壓寫シテ成レルニ反シ(イ)號圖面及說明書ニ示ス履物表ハ真ハ一枚製ニシテ之カ前後ニ籐ヲ捲付ケ鼻緒孔ヲ穿チ之ニモ籐ヲ捲付ケ此下駄表半製品ノ全面ニ籐ヲ並列シ其籐ノ兩端ヲ悉ク裏面ニ折返シテ其裏面ニ裏紙ヲ貼着シ表面ヨリ型ニテ壓搾シテ筋溝ヲ形成セシメ該筋溝内ヲ縫綴シテ成レルモノニシテ二者互ニ其構造ヲ異ニス從テ(イ)號圖面及說明書ニ記載スル履物表ノ構造ハ登録第二三三九號登録實用新案鐘馗表ノ權利範圍ニ屬セス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年九月三十日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
特許局事務官 三 浦 惠 一
同 馬 場 顯 一

*百二十四

第二千六百八十七號

大阪市南區鹽町一丁目五十二番地 請 求 人 玉 山 茂 三 郎
同 市北區若松町二十二番地特許辦理士 右 代 理 人 足 立 進 三 郎
同 市南區瓦屋町三番町六十一番地 被 請 求 人 蒲 田 榮 吉

右當事者間ノ第二四〇九九號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 (イ)號圖面並ニ說明書ニ示ス被請求人製造販賣ニ係ル玩具ハ登録第二四〇九九號實用新案權
ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人ハ(イ)號圖面並ニ說明書ニ示ス被請求人製造販賣ニ係ル玩具ハ登録第二四〇九九號實
用新案權ノ範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ登録第二四〇九
九號實用新案玩具ノ要部ハ凹狀ニ屏立スル圍壁ノ前面兩袖ノ上部ニ於テ支持スヘク爲シタル中央ニ折
疊部ヲ設ケテ伸展スル時下部ヲ前面ニ折曲ケ中央折疊部ノ後折スヘカラシメサル目的ニ於テ底ニ模倣
シタル構造ヨリ成ル前額ヲ具ヘタル點ニ在リ然ルニ被請求人ノ製造販賣ニ係ル(イ)號圖面ニ示ス玩具ハ
右登録第二四〇九九號實用新案ト同一構造ナルヲ以テ請求人申立ノ如ク審決アリタシト云フニ在リ
被請求人ハ自己ノ製造販賣スル折疊ムヘク爲シタル紙製ノ玩具(イ)號圖面ニ於テ見ル處ノ凹狀ニ屏立ス
ル圍壁ノ上部ニ屋根ニ擬シテ中央ニ折疊線ヲ有シ二ツニ折疊ムヘクシタル前額ヲ兩袖部ニ於テ支持シ
其ノ前額ノ下部ヲ前面ニ折曲タルコトニ依リ中央ノ折疊部カ後折スルヲ阻止スルノ目的ニ於テ底ニ模
倣シタル構造ハ登録第二四〇九九號實用新案權ノ範圍ニ屬セス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相

*百二十五

成度ト申立テ其ノ理由ハ請求人ノ所有スル登録第二四〇九九號實用新案權ハ圍壁ノ折目下部ニ切込ミヲ設ケタルト前額裏面ニ挾持片ヲ設ケタルノ點ニノミ存スト解スヘキモノナリ從テ被請求人ノ製造販賣スル(イ)號圖面ニ示ス物品ハ登録第二四〇九九號實用新案權ノ範圍ニ屬セスト云フニ在リ

審決ノ理由 登録第二四〇九九號實用新案ハ六ツ折ニ疊ミ收容ニ便ニシタルモノヲ凹形ニ屏立セシムヘク厚紙ニテ作り之レヲ匣ノ蓋ト身トノ間隙ニ嵌入シ得ル様兩袖ノ折目下部ヲ切込ミタル圍壁ト二ツ折ニシ其ノ折疊部ヲ伸張維持セシムル爲メニ下部ヲ前面ニ折曲ケ得ヘク成シ又圍壁ノ兩袖上部ヲ挾持スル挾持片ヲ裏面粘着シタル前額トヨリ成ル飾立テ遊ヒノ構造ニ係レリ然ルニ(イ)號圖面及説明ニ示ス飾立テ遊ヒ玩具ハ折疊ムヘク爲シタル厚紙製ノ圍壁ヲ開展シテ凹狀ニ屏立シ匣ノ身ト蓋トノ間隙ニ挿立スヘク折疊ミ線ノ下部ニ切込ミヲ施シ前面ノ上部ニハ中央ニテ二ツニ折疊ムヘク折疊ミ部ヲ有スル前額ヲ備ヘ其ノ伸展シタルトキ其ノ下部ハ適當ノ所ニ於テ前面ニ折曲ケ中央ニ縦折スル折疊ミ部ノ後折セサル目的ニ於テ底ニ擬シ圍壁ノ兩袖ノ上部ニ於テ前額ヲ一方ニ關着鳩目他方ハ掛合セ鳩目ト突起トニ依リ掛合セテ支持スル如ク爲セル構造ニ係レリ仍テ按スル右兩者玩具ハ前額ヲ支持スル裝置ニ於テ鳩目金具ヲ用フルト否トノ差違アルノ外其ノ要部タル六ツ折ニ疊ミ凹形ニ屏立シ得ヘキ厚紙ヲ以テ匣ノ蓋ト身トノ間隙ニ嵌入シ得ル様兩袖ノ折目下部ヲ切込ミタル圍壁ト二ツ折ニシ其ノ折疊部ヲ伸張維持セシムル爲メニ下部ヲ前面ニ折曲ケ得ヘクナシタル前額ヲ組合セテ成ル構造ニ於テ二者全然同一ナリ從テ(イ)號圖面説明ニ示ス玩具ノ構造ハ登録第二四〇九九號實用新案權ノ範圍ニ屬スルモノト認ム仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十月十三日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治

特許局事務官 三 浦 惠 一
馬 場 穎 一

第二千五百二十一號

名古屋市中區古渡町六丁目十六番地

請 求 人 高 木 綱 次 郎

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士

右 代 理 人 淺 村 三 郎

同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士

同 平 岩 義 一

大阪府西成郡中津町下三番九十五番地

被 請 求 人 古 賀 耕 之

大阪市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷特許辨理士

右 代 理 人 小 池 宗 三 郎

右當事者間ノ第二二五二三號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スル事左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ實用新案第二二五二三號登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被

請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ右實用新案ハ明治四十四年七月二十八日出願シ同年十二月六

日登録ヲ受ケタルモノニシテ其登録請求範圍ニ依レハ其新規トスル點ハ線金(工)ニ一定ノ間隔ヲ置キテ

屈曲部(2)ヲ設ケ經緯相對シテ該屈曲部ヲ抱合セシメタル構造即チ一定ノ間隔ニ屈曲部ヲ設ケタル線金

ノ相隣レル二線ノ屈曲部ヲシテ互ニ相反對スヘク配列シ且之ヲ縱横格子形ニ組立テ、成ル構造ヨリ成

ルモノナリ然ルニ請求人ノ所有ニ係ル特許第一九四〇五號元祿金網ハ實用新案第五一七五號トシテ登

録ヲ受ケタルモノニ對シ明治四十三年一月十二日出願同四十四年二月二十一日特許ヲ受ケタルモノニシテ被請求人ノ前記實用新案ノ新規トスル點ハ請求人ノ特許ノ請求範圍中ニ記載セラレタル波動狀金屬線ノ相隣レル二線ノ起伏ヲシテ互ニ相反對スヘク配列シ且ツ之ヲ縱橫格子形ニ組立テ、成レル餅燒用元祿金網ノ構造ト全ク相類似シ且ツ双方共ニ其構造上ヨリ生スル結果ハ金網ヲ構成スル所ノ各金屬線ヲ特ニ結束又ハ緊張セシメテ前後左右ニ移動スルコトナク金網ヲシテ極メテ堅牢タラシムルニアリテ全然相一致シ毫モ異ル所ナシ只其屈曲ノ形狀ニ少差異アリト雖モ主ナル構造タル反對ニ起伏セシメタル點ハ双方全然相同シクシテ目的及效果相等シキモノナレハ此少差異ヲ以テ本件實用新案ノ新規タルコトヲ主張スル能ハス然リ而シテ被請求人ノ本件實用新案ニ類似スル請求人ノ前記特許ハ請求人ニ於テ廣ク製造販賣シ來リ且ツ又特許公報ニ掲載セラレアルヲ以テ本件實用新案ハ實用新案法第三條第一項及第二號ノ規定ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スルヲ以テ其登錄ハ同法第十一條ニ依リ無効ト爲スヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ特許第一九四〇五號ハ乙第二號證實物ノ示ス如ク全ク經緯ノ線金ヲ二箇ノ齧合スル齒輪ノ間ヲ通シ引出シテ得タル波動狀ノモノナリ而シテ其編成シタル金網ノ面ニハ此波動ニヨリ經緯共ニ甚シク起伏凹凸アルモノニシテ被請求人ノ本件登錄實用新案ハ乙第一號證實物ノ示ス如ク特種ノ壓搾器械ニ依リ經緯ノ線金ニ一定ノ間隔ヲ置キテ屈曲部ヲ設ケ其屈曲部ハ單ニ經緯ノ線金ノ大サ位ニ相當スルヲ以テ編成シタル金網面ハ至極扁平ニシテ從來ノ龜甲形ニ編成シタルモノト略似タリ故ニ前記特許トハ全ク正反對ノ結果ヲ來スモノト謂フヘク此點ニ於テモ兩者ハ類似スルモノニアラス又請求人ノ特許ハ其明細書及圖面ニ波動ノ文字及線金ノ狀態ヲ明記シアル以上ハ之レヲ以テ前記目的ニ適合スヘク製シタル

金網ニ權利アルモノト解釋スルヲ至當トス從テ波動狀以外ノ線金ヲ以テ製シタル金網ニハ其權利ヲ主張スルヲ得サルモノトス而シテ被請求人ノ登錄實用新案線金ハ何レノ方面ヨリ見ルモ之レヲ波動狀ト謂フヲ得ス故ニ本件登錄實用新案ハ特許第一九四〇五號元祿金網ト其構造別箇ノモノニシテ又從來普通ノ金網以上ノ實用的效果ヲ有スルモノナレハ實用新案法第一條ニ該當シ其登錄ハ無効ト爲スヘキモノニアラスト云フニアリテ乙第二號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由

請求人ハ本件登錄實用新案第二二五二三號金網ハ其登錄出願即チ明治四十四年七月二十八

日以前ノ特許ニ係ル請求人所有ノ特許第一九四〇五號金網ト比較シ孰レモ金屬線ヲ特ニ結束又ハ緊張セサルモ前後左右ニ移動セシムルコトナク金網ヲ極メテ堅牢ナラシムル爲ニ經緯相對シテ屈曲部ヲ抱合セシメタルモノニシテ兩者ハ其屈曲ニ小差異アルモ目的效果共ニ相等シキヲ以テ是等ノ差異ヲ以テ新規タルコトヲ主張シ能ハサルモノナリト主張スルモ特許第一九四〇五號ハ單ニ經緯ノ線金ヲ移動セシメサルヨリモ主トシテ網面ニ起伏ヲ設ケ被焙燒物ヲシテ網ニ粘着スルコトナカラシムル目的ヲ有スルカ故ニ線金ノ屈曲ハ波動狀ナルヲ要シ經緯ノ交叉ニヨリテ生スル區劃ノ四隅ハ悉ク屈曲部ノ抱合ニ成リ全面起伏ヲ以テ滿サル、モ登錄實用新案第二二五二三號ハ一定ノ間隔ヲ置キ線金ノ太サヲ互ニ抱合スルニ足ル小屈曲ヲ設ケテ經緯ヲ組織セルカ故ニ屈曲部ノ抱合ハ間歇的ニシテ而カモ小サク其製品ハ殆ント平坦ニシテ普通龜甲編網ニ近シ之レ兩者目的ヲ異ニセル自然ノ結果ニシテ其屈曲方ハ互ニ相類似セル考按ナリト認め難シ從テ兩者ハ目的及效果ヲ異ニセル別箇ノ構造ナルヲ以テ本件特許第一九四〇五號カ本件登錄實用新案第二二五二三號ノ出願以前ニ存在スルモ本件實用新案ノ新規タルコトヲ妨ケサルモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十月十五日於特許局

審判長

特許局技師

小野喜惣治

特許局事務官

三浦惠一

同

馬場穎一

*百三十

第二千三百九十一號

愛知縣額田郡岡崎町大字康生百六十四番戶

請求人 野村久助

東京市日本橋區轟殼町三丁目十一番地特許辨理士

右代理人 三上七十郎

愛知縣知多郡阿久比村大字植大三十七番戶

被請求人 新實廣吉

名古屋市中區南伊勢町二番地特許辨理士

右代理人 武田良吾

右當事者間ノ第二〇九二五號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 甲第二號證ノ管捲機用快轉裝置ハ請求人所有ノ登録實用新案第二〇九二五號ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣スル甲第二號證ノ管捲機用快轉裝置ハ登録實用新案第二〇九二五號管捲機用快轉裝置ノ權利ニ撞着ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理

由ハ本件實用新案ト甲第二號證ヲ對照スルニ前者ノ縱管トハ黃銅製ニシテ後者ハ鑄鐵管内上部ニ黃銅管ヲ嵌合シ又前者ノ承盤(ロ)ハ平版ニシテ後者ノ承盤(五)ハ椀形タリ又前者ノ受具(チ)ハ縱管(ト)ヨリ徑

大ナルモ後者ノ(五)ハ同徑ニ造レリ又前者ニハ網板(リ)、被蓋(ル)ヲ具ヘ後者ハ之ヲ具ヘサル等彼此多少ノ

類似セサル點アルモ大體ノ考按ハ均等ニシテ其作用效果ハ殆ント同一ナルヲ以テ甲第二號證ハ本件實

用新案ノ權利ニ撞着スト云フニアリテ甲第一號乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ請求人ノ論旨ハ彼是多少ノ相違アル

モ大體均等ニシテ作用效果殆ント同一ナリト云フニアルモ被請求人ノ所信ニヨレハ本件實用新案出願

以前ヨリ公知公用ニ屬スル摩擦輪ノ形狀二者相似タリト云フノ外其他ノ構造ハ全然相違スト云フニア

リ

審決ノ理由 本件登録實用新案第二〇九二五號ノ登録請求範圍ハ「上面周圍ニ凹溝(ニ)ヲ穿テル承盤(ロ)ト

球丸(ホ)ト内空ニシテ中心ニ軟製金屬製ノ縱管(ト)ヲ具フル摩擦輪(ヘ)ト短筒狀ノ受具(チ)ト網盤(リ)ト綿狀物

(又)ト被蓋(ル)トヲ具エタル管捲機用快轉裝置ノ構造」ニアリ然ルニ甲第二號證ノ快轉裝置ハ受具(チ)、網

盤(リ)、綿狀物(又)、被蓋(ル)ヲ缺キ且ツ球丸ノ位置ハ縱管ノ基脚ニ近ク位置シ承盤ハ椀形ヲナセルノ差アリ

而シテ本件實用新案ノ要部ハ之ヲ圖面及説明ニ徵スルニ主トシテ油ヲ貯藏スル裝置ヲ頂部ニ具フル摩

擦輪全體ノ構造ニアルハ明白ナルヲ以テ以上記述セル如キ差異ヲ有スル甲第二號證ハ類似ノ構造ト認

メ難シ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十月二十一日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治

特許局事務官 馬場穎一

同 中松真卿

*百三十一

第二千六百九十號

大阪市北區表笈町十二番地

請求人 山口勝太郎

同 市東區備後町二丁目三十六番地特許辨理士

右代理人 堤 他彦

同 市南區天王寺生玉前町三百四十八番屋敷

被請求人 米澤 正治

同 市南區鹽町二丁目二十二番地特許辨理士

右代理人 木村丑三郎

東京市芝區愛宕下町四丁目六番地特許辨理士

同 飯田健次郎

右當事者間ノ第二六六一九號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 審判請求人ノ製造販賣スル(イ)號圖面及説明書ニ示セル車轂覆蓋ノ構造ハ登録第二六六一九號實用新案權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ主文ノ如ク申立テ其ノ理由トシテ被請求人ノ所有スル登録第二六六一九號實用新案ハ關節(ニ)ニ依テ樞着サレタル胃蓋(ロ)ニ一側ニハ彈機又ヲ有スル止鉤杆(チ)ト片版(ト)ヲ備ヘテ目釘(ヘ)ニ懸鉤シ以テ彈機又ノ壓迫ニヨリ止鉤杆(チ)カ重體ノ振動ニ依リ自然ニ脫出スルコトナカラシメ胃蓋(ロ)ヲ確實ニ保持セシメントスル考案ノ車轂保全器ナリ然ルニ請求人ノ製造販賣スル(イ)號圖面ニ示ス物品ノ構造ハ連結環(ハ)ニヨリ關着シタル胃蓋(イ)ニ連結環(チ)ニテ鉤板(ヘ)ヲ設ケ該鉤板(ヘ)ヲ止釘(ニ)ニ貫嵌シテ脚(ホ)ヲ止釘(ニ)ニ橫貫シ車轂ヲ胃蓋シタルモノナリ從テ前者ハ止版(ト)ヲ目釘(ヘ)ニ掛ケ止メテ脫却ナカラシムヘク常ニ彈機又ノ爲メ壓迫セラル、止鉤(チ)ヲ以テシタルニ反シ後者ハ連結環(チ)ニ關着シタル鉤板(ヘ)ヲ止釘(ニ)ニ懸鉤シテ脚(ホ)ヲ貫挿シ脫却ナカラシメタルニアリテ全然其構造ヲ異ニス從テ後者ハ前

者ノ權利範圍ニ屬セスト謂フニアリ

被請求人ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ登録第二六六一九號車轂保全器ハ單ニ胃蓋ヲ確實ニ車轂ニ懸鉤セシムルノミナラス完全ニ胃蓋ヲ保持シ且ツ油差等ノ場合ニ於テ容易ニ外方ニ開離スル爲メ片板(ト)止鉤(チ)目釘(ヘ)等ヲ備ヘタル構造ニ係ルモノニシテ權利ノ存スル所實ニ此點ニアリ從テ請求人主張ノ止鉤杆(チ)カ常ニ彈機又ノ爲メニ壓迫セラレテ片板(ト)ヲ脫出セサラシメタル點ノミヲ以テ本件實用新案ノ權利範圍ト爲スカ如キハ失當ナリ實用新案登録願第一〇五二五號ノ片板(ト)ヲ脫出セサラシムヘク止鉤(チ)ヲ壓迫スル彈機ノ裝置ナキモ尙ホ本件登録實用新案ヲ以テ拒絕ノ基本トセラレタルニ見ルモ其ノ不當ナルコト明カナリ從テ(イ)號圖面及説明書ニ示セル車轂覆蓋ノ構造ハ登録第二六六一九號實用新案ノ權利範圍ニ屬ス尙ホ(イ)號車轂覆蓋ノ構造ト其目的及效果同一ナル實用新案願第一〇五二五號ノ本件登録實用新案ヲ以テ拒絕ノ基礎トセルニ依ルモ(イ)號車轂覆蓋カ本件實用新案權利範圍ニ屬スルコト明ナリト謂フニアリ

審決ノ理由 本件登録實用新案ノ請求範圍ヲ見ルニ圖面及其説明ニ示ス如ク下部ヲ關節(ニ)ニ依テ樞着シ

上部ニハ側面ニ彈機又ヲ設ケタル止鉤(チ)ト片版(ト)ヲ具ヘテ目釘(ヘ)ニ掛ケ止ムヘク爲シタル胃蓋(ロ)ヲ具フル車轂保全器ノ構造トアリ而シテ説明書ニハ本案保全器ハ車轂ノ一邊ニ定着セル目釘(ヘ)ニ止鉤(チ)ヲ掛ケ止メ且ツ止鉤(チ)ハ一側ニ彈機又ヲ設ケテ常ニ壓迫セラル、カ故ニ激動ヲ受クルモ自然ニ脫出スルコトナクシテ胃蓋ヲ確實ニ保持シ而モ之ヲ開放セムトスルトキハ容易ニ之ヲ外方ニ離開スルノ便アルモノニシテ總テ車軸ノ外端ト車轂トヲ完全ニ防護スルニ最モ適切ナルモノトアリ依テ案スルニ本權實用新案權利ノ目的ハ彈機又ヲ設ケタル止鉤(チ)ト片版(ト)ヲ具ヘテ目釘(ヘ)ニ掛ケ止ムヘク爲シタル構造ニアリ何トナレハ車轂胃蓋其物ハ普通ノモノナルカ故ニ新考案ニアラス又下部關節(ニ)ヲ設ケタルカ如キハ一

般胃蓋物附着ノ方法トシテ普通ニ用ヒラル、モノナルカ故ニ新考案ヲ構成セス從テ本件權利ノ目的タ
リ得サレハナリ今本件權利ノ目的タル彈機又、止鉤ヲ片版下及目釘(ハ)ヨリ成ル構造トイ號圖面及説明
書ニ示セル車轂覆蓋ノ構造トヲ比較審案スルニ前者ハ止版カ胃蓋ニ固着セルニ反シ後者ハ連結環ヲニ
ヨリテ胃蓋ト連結セルノ差異アリ又止版ヲ目釘ニ掛クル構造ニ於テ前者ハ彈機又ノ爲メニ壓迫セラ
ル止鉤ヲ以テシタルニ反シ後者ハ單ニ割脚ホヲ貫挿スルノ差アリ從テ兩者全ク其ノ構造ヲ異ニス
カ故ニ(イ)號圖面及説明書ニ示セル車轂覆蓋ハ本件實用新案權利範圍ニ屬セス
尙被請求人ハ實用新案登錄願第一〇五二五號ノ拒絕理由ヲ基礎トシテ其ノ權利範圍ニ屬スヘキコトヲ
主張セリト雖ソハ實用新案登錄願第一〇五二五號ノ拒絕理由ノ當否ニ關スル問題ニシテ本件ニ關係ナ
キモノナリ

以上ノ理由ニ依リ主文ノ如ク審決ス

大正二年十月二十五日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
特許局事務官 三 浦 惠 一
同 馬 場 穎 一

第二千六百八十號

廣島縣雙三郡三次町三百九十一番屋敷
同 縣雙三郡三次町九百九番屋敷

請 求 人 永 田 又 平
同 河 野 駒 一

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士
廣島縣雙三郡原村五百二十八番屋敷

右 代 理 人 淺 村 三 郎
同 平 岩 義 一
被 請 求 人 村 上 數 一

右當事者間ノ第一一六五號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ元所有セル實用新案第一一六五號改良藁切器械ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人カ元所有セル實用新案第一一六五號改良藁切器械ノ登録ハ
之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人カ元實用新案權利ヲ所有シ居
リタル第四九二九號藁切器械ハ明治三十九年十一月十五日出願同四十年三月二十一日登録ヲ受ケ被請求
人ノ元所有シ居タル實用新案第一一六五號改良藁切器械ハ請求人ノ所有セル前記實用新案權利ノ存續
期間中タル明治四十一年五月二十八日ノ出願ニ係リ同年十二月十八日登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ
二者ヲ比較スルニ其目的及構造全然同一ニシテ強テ微差ヲ求ムレハ曲金落下ノ距離ヲ隨意ニ支フヘキ
螺子ホノ有無ニ過キスシテ若シ假リニ同一ナリト云ヒ得ヘカラストセハ類似物タルノミ而シテ請求人
ノ藁切器械ハ被請求人ノ藁切器械ノ登録出願以前已ニ之ヲ製造販賣シ且ツ一方公刊物タル實用新案公報第
九十七號〔明治四十年四月九日發行〕ニ於テ掲載セラレタルヲ以テ被請求人ノ元所有ニ係ル第一一六
五號實用新案ハ實用新案法第三條第一、第二號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルモノトス從テ同法第十
一條ニ依リ其登録ハ無効トスヘキモノナリ請求人ハ已ニ權利ノ消滅シタル被請求人ノ實用新案ノ無効
審判ヲ請求スル所以ハ請求人ハ自己ノ實用新案權利ノ存續中即チ大正元年十二月二十三日ヲ以テ右實用
新案ト同一ナル發明ニ付特許ヲ出願シタルニ大正二年四月十六日附ヲ以テ被請求人ノ元所有ニ係ル第

一一一六五號ト同一考按ナリトノ理由ヲ以テ拒絕査定ノ處分ヲ受ケタリ畢竟不當ノ登録アルカ爲ニ請求人ノ特許ヲ受クルコトヲ妨ケラル、次第ニシテ其登録ニ付利害關係ヲ有スルモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至第四號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立ノ如ク審決相成度其理由ハ被請求人ノ所有シ居タル第一一六五號實用新案ハ請求人ノ所有シ居タル第四九二九號實用新案ト全然同一ナルヲ以テ請求人申立ノ全部ヲ認諾スト云フニアリ

審決ノ理由 請求人申立ノ如ク實用新案登録第四九二九號葉切器ト實用新案登録第一一六五號改良葉切器械トハ兩者目的ヲ同フシ均等ノ構成ヲ有スルモノナルカ故ニ類似ノ物品ナリト認ム而シテ被請求人ノ元所有セル前記登録第一一六五號實用新案ハ請求人ノ元所有セル前記登録第四九二九號實用新案ノ登録後ノ出願ニ係リ當時已ニ請求人ノ葉切器ハ製作販賣セラレ且公刊物タル實用新案公報ニ於テ容易ニ應用セラレヘキ程度ニ記載シアリシコトモ争ナキトコロナルヲ以テ被請求人ノ元所有ニ係ル登録實用新案第一一六五號ハ實用新案法第三條第一號及第二號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルモノトス從テ同法第十一條ニ依リ其登録ハ之ヲ無効トナスヘキモノトス次ニ本件審判費用ノ負擔ニ付テ被請求人ハ直ニ請求人ノ請求ヲ認諾シ且其作爲ニ因リ審判ヲ起スニ至ラシメタルモノニ非ラスト認ムルヲ以テ明治四十二年勅令第三百一號第一條ニ於テ準用シタル民事訴訟法第七十四條ニ依リ請求人ノ負擔ニ歸スヘキモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月十八日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎

同 小野喜惣治
特許局事務官 村山小次郎

第二千六百七十七號

名古屋市西區本町二丁目十番地 請求人 柴山久七
同 市東區武平町四丁目二十九番地 右代理人 丸山茂治
同 市西區本町二丁目二十三番地 被請求人 吉安元達
同 市西區北野町百五番地 同 水野鐘吉

右當事者間ノ第二四〇二〇號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有登録實用新案第二七〇五五號吉安式乙號「ケーブル、ハンガー」ハ請求人所有登録實用新案第二四〇二〇號柴山式「ケーブル、ハンガー」ト撞着ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ兩者構成ノ要旨及目的ニ基ツキ「ケーブル」支持部ヲ共ニ鐵線ノミヲ以テ構成シタルモノト假定シ便宜上兩者ノ符號ヲ同一ナラシメ實用新案第二四〇二〇號ニ對シテハ別紙第一圖第二圖ヲ作製シ實用新案第二七〇五五號ニ對シテハ第三圖第四圖ヲ作リテ相對照スルニ請求人ノ有スル實用新案第二四〇二〇號登録請求範圍ニ於テ「屈曲部」ハ「設ケタル吊鉤」及ヒ彎曲部ホヲ有スル環ニヲ具ヘテ成ル柴山式「ケーブル、ハンガー」ノ構造ト記載セル説明ハ移シテ直チニ被

請求人ノ有スル實用新案第二七〇五五號ヲ說明シ得ヘク只前者ニアリテハ(a)ニ於テ回轉シホ(b)ニ於テ掛外ツシ得ヘク構成セラレ線三ハ線イノ外方ヲ廻ハルニ對シ後者ニ於テハホ(c)ニ於テ廻轉シ(a)ニ於テ掛外ツシ得ヘク構成セラレ線三ハ線イノ内方ヲ廻ハルヘク變更セラレタルニ過キスシテ何等新規ノ工夫ノ加ヘラレタルモノアルヲ認メス其構造ノ要領及目的ヲ同フスル同一型ノモノナルヲ以テ兩者互ニ撞着スト云フニアリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ假想的圖面ヲ作製シ之ニ依リテ兩者ノ類似セル所以ヲ說明スルモ本件證據物件ハ擧ケテ各自ノ登錄願書ニ盡セルヲ以テ斯カル圖面ヲ要スルコトナシ今便宜上請求人ノ提出セル圖面ノ符號ノミヲ利用シ答辯センニ請求人ハ「ケーブル」ヲ支持部ヲ兩者共ニ鐵線ノミヲ以テ構成セルモノトシテ論斷スルモ本件登錄實用新案第二四〇二〇號ノ登錄範圍ハ「ケーブル」ノ支持部ヲ金屬版トナスモノニシテ假リニ鐵線トナシ得ル自由ヲ有スルモノニアラス又廻轉部掛外ツシ部ハ單ニ變更ニ過キスト主張スルモ若シ前者ニ於テ「ニヲホ」ニ於テ廻轉シ(a)ニ於テ掛外ツスヘク構成セントスルニハ(a)部ニ於ケル一方ハ薄キ金屬版ナルカ故ニ別箇ノ裝置ヲ施コスニ非サレハ形體ヲナス能ハス又後者ニ於テ(a)ニ於テ廻轉シホ(b)ニ於テ掛外ツスヘク構成セントセハ比較的細小ナル線ノ而カモ兩端ヲ並列シテ屈曲セル部分ニ重量ヲ負ハシムヘキ不合理ノ構成トナサ、ルヲ得スニ「イ」ノ内外ニ廻ハスノ差モ各自特殊ノ構造ニ隨フ自然ノ結果ナルカ故ニ根本的ニ相違セルモノナリト云フニアリ

審決ノ理由 請求人所有登錄實用新案第二四〇二〇號柴山式「ケーブル、ハンガー」ハ屈曲部(b)ヲ設ケタル吊鉤(i)及彎曲部ホヲ有スル環ニ「具」エテ成ル「ケーブル、ハンガー」ノ構造ニ付實用新案權ヲ有シ又被請求人所有登錄實用新案第二七〇五五號吉安式乙號「ケーブル、ハンガー」ハ一條ノ臺線「イ」ヲ二行

ニ折返シ之ヲ屈曲シテ先端ニ鉤鐸(b)ヲ附設シ置キ「ケーブル」ヲ抱込ム部ハ平板形トシテ彈力ヲ有セシメ其内部ニ板金「ニ」ヲ取付ケテ成ル「ケーブル、ハンガー」ノ構造ニ付實用新案權ヲ有スルコトハ實用新案公報ニ徵シ明白ナリ而シテ本件登錄實用新案第二四〇二〇號ニ於ケル吊鉤(i)及環「ニ」ハ圖面ニ示ス如ク「ケーブル」ヲ支持スル薄キ金屬版ノ兩端ニ取付ラルヘキモノニシテ且ツ環「ニ」ハ吊鉤「イ」ノ外側ヲ匝リテ屈曲部(b)ニ鉤止セラル、構造ニ限ラル、コトモ亦明カナリ然ルニ登錄實用新案第二七〇五五號ニ於テハ「ケーブル」ヲ支持スル爲特ニ薄キ金屬版ヲ使用セス全部鐵線ヲ以テ構成シ板金「ニ」ハ單ニ鐵線ト「ケーブル」トノ中間ニ介在スルニ止マリ之ヲ支持スル作用ナク且鉤(b)ハ臺線「イ」登錄實用新案第二四〇二〇號ノ吊鉤「イ」ニ相當スルモノ」ノ内側ニテ鉤止スル構造ナルヲ以テ前者ノ如ク屈曲部(b)ノ鉤止ヲ脫スルコトアルニ際シ尙線「イ」ノ下部ニ於テ再ヒ鉤止スル一種ノ屈曲ヲ有スル構造ト後者ノ如ク鉤(b)ノ鉤止ヲ脫スレハ遂ニ鉤止スル作用ナキ構造トハ到底同一型ノ構造ト認ムルヲ得ス故ニ兩者ハ互ニ撞着スルモノニアラス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月十八日於特許局

審判長 梅野兵太郎
同 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 村山小次郎

第二千五百九十八號

* 百四十

静岡縣庵原郡由比町東山寺五十四番地 請求人 望月倉吉
 東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士 右代理人 稻木繁太郎
 静岡縣安倍郡豐田村南安東百六十九番地ノ三 被請求人 白井喜市郎
 東京市京橋區西紺屋町十番地特許辨理士 右代理人 大橋與四郎

右當事者間ノ第二五一九八號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有ニ係ル實用新案第二五一九八號茶葉揉捻盤ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ明治四十五年二月十三日出願同年七月八日第二二四一〇號「ケーエム」式葉打揉捻製茶器械ノ特許ヲ受ケ其特許請求範圍第二項ニ「L字狀ニ曲レル導環」ト其曲部ニ收容セル數多ノ滑玉「ト其上部ニ載架スヘク附設セル面内ニ數多ノ弧狀凸起」ト底部周緣ニ齒狀「ヲ具フル回旋盤」ト歪齒輪「ヨリ成ル第一項記載ノ葉打揉捻製茶器械」ト記載シアルハ大正元年八月二十八日印行特許發明細書第五號ニ依リテ明白ナリ而シテ被請求人ハ明治四十五年五月二十八日出願大正元年八月二十七日附第二五一九八號ヲ以テ茶葉揉捻盤ノ實用新案登録ヲ受ケ其登録請求範圍ハ「皿狀ニ凹陷セシメタル揉捻盤」ノ上面ニ其中心ヨリ外周ニ向ツテ延長シ且同一方向ニ彎曲セル數多ノ隆條「ヲ設ケタル茶葉揉捻盤ノ構造」ナルコトハ大正元年九月二日印行ノ實用新案公報第七號ノ明示スルトコロナリ然ルニ前記登録實用新案ノ揉捻盤「ノ面上ニ施設

セル隆條」ナルモノハ前記特許第二二四一〇號ニ於ケル回旋盤「ニ於ケル弧狀凸起」ト全然同一構造ニシテ單ニ先出願ナル前記特許ノ請求範圍ノ一部ヲ拔粹シタルマテニ過キス加之前記登録實用新案ト同一ノ揉捻盤ハ前記特許以外ニモ請求人ノ有スル特許第二一九八八號「明治四十五年四月十一日特許」ニ依リテ既ニ公知セラレタルヲ以テ何等新規ノ考案ニアラスト云フニアリテ大正元年八月印行特許發明細書第五號明治四十五年五月印行同第四號大正元年九月印行實用新案公報第七號ヲ援用セリ

被請求人ノ申立ノ要領ハ(一)本件請求ハ之ヲ却下ス(二)請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ特許第二二四一〇號及特許第二一九八八號ヲ援用シテ本件登録實用新案ノ無効ヲ主張スルモ本件登録實用新案ハ其請求範圍ニ明カナル如ク數條ノ隆條「ヲ設クル」ノ外揉捻盤「ノ皿狀ニ凹陷シアル」コトヲ必要條件トスルモノニシテ其組合セニ依リ圖面説明ニ詳記スル如キ作用ヲ呈シ得ルモノナリ然ルニ請求人ノ引證ハ一ハ平面ナル回旋盤ニ係リ一ハ船底狀ニ曲ケタル揉捻盤ナルヲ以テ何レモ本件登録實用新案ト構造同シカラス從テ揉捻盤ト隆條トノ關係構造及茶葉ニ對スル作用全然相違スルカ故ニ被請求人ハ兩々併立スヘキモノト信シ未タ嘗テ前記援用ノ特許ニ對シテ自己ノ權利ヲ主張シタルコトナシ從テ請求人ハ本件登録實用新案ニ關シ何等利害關係ヲ有セサルヲ以テ本件審判請求ハ之ヲ却下セラルヘキモノト又假令進テ本案ノ内容ニ關シ審理セラル、モ上述ノ如ク兩者ハ互ニ關係ナキヲ以テ無効トセラルヘキモノニアラスト云フニアリ

審決ノ理由 被請求人ハ自己ノ所有ニ係ル本件登録實用新案ト請求人ノ有スル本件特許トハ構造ヲ異ニシ兩々併立スヘキモノナルヲ以テ請求人ニ對シ自己ノ權利ヲ主張シタルコトナク從テ利害關係ナキカ故ニ本件請求ハ却下セラルヘキモノナリト云フモ同業者ニシテ若カモ同種ノ器械ニ關シ構造同一ナリトノ見解ヲ有スル請求人ハ被請求人ノ權利ノ存在ニ對シテ利害關係ヲ有スルコト當然ナルヲ以テ被請

* 百四十一

求人ノ主張ハ不當ナリ仍テ本件請求ノ内容ニ付審按スルニ請求人ノ所有スル本件特許第二二四一〇號製茶機ノ特許請求範圍第二項ハ内面ニ數多ノ弧狀凸起ヲ設ケタル回旋盤ヨリ減摩球ヲ有スル導環(ルニ架シ歪齒輪及齒條ノ齧合ニヨリ回旋スヘクナシタル平面底ノ揉捻盤ヲハ請求範圍第一項ニ記載セラル、葉打揉捻製茶機ニ使用シタル點ニ存スルコトハ明細書及請求範圍ノ記載ニ徴シ疑フトコロナシ而シテ其特許ハ明治四十五年二月十三日ニ出願シ同年七月八日特許ヲ受ケタルモノナリ然ルニ被請求人ノ有スル本件登録實用新案ハ前記特許ノ出願中即明治四十五年五月二十八日ノ出願ニ係ルヲ以テ其出願前公知又ハ公用ニ屬セサルモノニシテ請求人ノ特許ヨリ拔粹シタル考按ナリト認メ難シ加之請求人カ特許第二二四一〇號ニ使用スル揉捻盤ハ底部平面ニシテ回動スル裝置ヲ有シ且揉手ハ偏心位置ニ於テ回轉スル關係ヲ有シ又特許第二一九八八號ニ使用スル揉捻盤ハ底部皿狀ニ凹陥シ弧狀ノ隆條ヲ内面ニ設ケタルニ止マリ他ニ何等ノ裝置ナク且ツ揉手トノ關係位置モ異ナルカ故ニ本件特許ニ對シ全ク別箇ノ構造ニシテ作用亦均等ナラサルモノト認ム從テ特許第二二四一〇號及第二一九八八號ヲ以テ本件實用新案第二五一九八號茶葉揉捻盤ノ登録ヲ無効トスヘキ理由トナスヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月二十四日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
 特許局事務官 三 浦 惠 一
 同 馬 場 穎 一

第二千六百七十五號

兵庫縣武庫郡西灘村ノ内森村八十三番地 請 求 人 湧 田 專 太 郎
 大阪市東區道修町五丁目一番地特許辨理士 右 代 理 人 近 藤 貞 三
 兵庫縣津名郡寶津村二千三百七十二番地ノ二 被 請 求 人 山 崎 岩 太
 大阪市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士 右 代 理 人 廣 井 代 藏

右當事者間ノ第八四九八號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ使用スル(イ)號圖面及説明書ニ示セル下駄緒裁縫定規器ハ登録實用新案第八四九八號縫綴機導管ノ權利範圍ニ屬ス
 機導管ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ(イ)號圖面及説明書ニ示ス下駄緒裁縫定規器ノ構造全部ハ登録實用新案第八四九八號縫綴機導管ノ權利範圍外ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ有スル本件登録實用新案ノ構造ノ要旨ハ内外二重ノ圓環ヲ以テ形成シ其間ニ圓環狀孔ヲ設ケ然ル後之ト連續セル孔ヲ折返シテ作りタルモノニシテ管中布帛ヲ誘導スルニ當リ途中ニ邊緣ヲ次第ニ折曲クル何等ノ裝置ヲ有セサルモ請求人ノ考按セル(イ)號圖面ニ示セル定規器ハ馬蹄狀ヲナシ上方ヨリ下向セル折返部導蓋、天蓋、轉返子等ヲ有スル船首狀ノ孔内ニ布帛ヲ誘導スル構造ナルヲ以テ考按ノ趣旨ハ同一ニ出ツルモ構造ニ關スル着想ハ全ク相違セルカ故ニ二者互ニ撞着スルモノニアラスト謂フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人

ハ本件登録實用新案ハ管中布帛ヲ誘導スルニ當リ邊緣ヲ次第ニ折曲クル何等ノ裝置ヲ有セスト論斷スル所アルモ本件登録實用新案ハ圖面及説明ニ示ス如クニナル部分ノホナル孔ニヨリ布片ノ邊緣ヲ折返シ管口ヨリ出テ縫綴セラル、作用並ニ結果ハ全然同一ニシテ構造亦均等ナルコト明カナリ其導管ノ馬蹄狀ナルト圓環狀ナルト又終始大差ナキ圓筒ナルト船首狀ナルト吐出口ノ開放的ナルト收縮的ナルト等ノ差異ハ單ナル形狀ノ差ニ過キスシテ構造上別種ノモノト謂フヘキモノニアラスト謂フニアリ

審決ノ理由 被請求人ノ所有スル本件登録實用新案第八四九八號縫綴機導管ハ内外二管イ(ロ)ノ間ニ圓環狀ノ孔(ハ)ヲ設ケ且兩管ノ邊緣ヲナス部分ニ折返シテ圓環狀ノ孔(ト)ト連續セル孔(ホ)ヲ設ケ此部ヲ近邇セシムヘクニ(ニ)ノ部分ヲ相接セシメタル構造ニ付實用新案權ヲ有スルモノナルコトハ其登録請求範圍ニ徴シテ明ナリ請求人ノ使用スルイ(イ)號圖面及説明書ニ示セル定規器ハ馬蹄形ノ内外二片ヨリ成リ内片ハ次第二狹縮シテ先端殆ント相接シ外片ハ之ニ沿フテ同様狹縮シ先端ニ至リ一旦兩緣ヲ内方ニ屈曲シ更ニ上方ニ折曲ケテ轉返子(チ)ノトナシ中央ニ於テハ折返部(ヘ)及導蓋(ト)ヲ設ケタルモノナリ仍テ二者ヲ對比スルニイ(イ)號圖面ニ於ケル馬蹄形ノ内外二片ハ本件登録實用新案ニ於ケル内外二重ノ圓環ニ相當シ轉返子(チ)、天蓋(チ)、ハ内外管ノ折返シ部ニ相當シ二者何レモ布片ヲ管狀ニナシツ、之ヲ先端ニ誘導シ布片ノ兩緣ヲ内方ニ折曲ケテ其折曲ケラレタル部分カ遂ニ相接シテ縫綴セラル、ニ至ル作用及結果ハ全然同一ナリ而シテ構造ニ於テモ前者ハ内外二片ヲ環狀トナス代リニ馬蹄狀トナシタルモノナルモ道蓋(下)、天蓋(チ)ノ部分ハ環狀ヲ形成スルカ故ニ環狀ヲナセルモノト何等異ナルトコロナシ從テイ(イ)號圖面及ヒ説明書ニ示セル下駄緒裁縫定規器ノ構造ハ本件登録實用新案第八四九八號縫綴機導管ノ權利範圍ニ屬スルモノトス其他當事者間論争スルトコロアルモ審決ニ必要ナキヲ以テ説明セ

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月二十五日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
同 小野喜惣治
特許局事務官 村山小次郎

第二千六百十八號

福井縣吉田郡森田村古市第四號九番地 請求人 後藤龜吉
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 右代理人 淺村三郎
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平岩義一
金澤市備中町七番地 被請求人 井上信
同 市仙石町三十一番地特許辨理士 右代理人 松井太作

右當事者間ノ第一四六六五號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ甲第一號證清酒火入釜ハ被請求人所有登録實用新案第一四六六五號清酒火入釜ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ甲第三號證ニ示ス清酒火入釜ニ付明治四十二年五月二日ニ出願シ同年九月二十三日實用新案ノ登録

ヲ受ケタルモノナルモ其出願前即チ明治三十九年七月十三日ニ出願シ同年十月二十日登録ヲ受ケタル第二號證ノ如キ登録第三四七四號實用新案温酒器ノ存在スルカ故ニ其權利範圍ヲ解釋スルニハ二者ヲ對照スルヲ要ス何トナレハ登録第三四七四號實用新案温酒器ノ登録アルニ拘ハラヌ後願ニ係ル被請求人ノ火入釜ニ登録ヲ與ヘラレタル所以ヲ見レハ二者構造ヲ異ニシ其權利範圍モ互ニ特殊ノ構造ニ制限セラル、コト固ヨリ其所ニシテ從テ被請求人ノ有スル本件登録實用新案ノ權利範圍ハ『釜③ニ縁②ヲ取付ケ其縁②ニ鑿①ヲ設ケ釜ノ外圍ヲ縁②ノ下端ヨリ編付タル金屬製金網④ニテ包圍シタル構造』ニ限リ此構造ヲ完備セサルモノニ對シテハ其權利ノ及フヘキニアラス然ルニ請求人ノ製造販賣スル甲第一號證ニ示ス火入釜ハ其圖面及説明書ニ示ス如ク之ヲ被請求人ノ有スル本件登録實用新案ニ比シ鑿ヲ釜ノ縁ニ附セスシテ保障袴ニ設ケ且袴ハ縱横線狀ニ連結セシメタルモノナルヲ以テ其構造ノ異ナルコト勿論ナルノミナラス却テ前記登録第三四七四號實用新案ト全然構造ヲ同フシ唯吊上枠ノ代ニ鑿ヲ附シタルノ差及保障袴ニ設タル鑿カ登録第三四七四號實用新案ノ輪鑿ヨリモ其幅廣キノ差アルノミ而シテ登録第三四七四號實用新案權ハ已ニ存續期限滿了シ何人モ自由ニ製作販賣スルコトヲ得ルニ當リ後願ナル被請求人ノ本件登録實用新案權ノ制肘ヲ受クル如キハ到底首肯シ難キヲ以テ申立ノ如ク審決アリタシト謂フニアリテ甲第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ明治四十三年三月頃ヨリ被請求人ノ權利ニ牴觸スヘキ甲第一號證ノ清酒火入釜ヲ製造シ被請求人ノ事業ニ妨害ヲ與ヘタルヲ以テ被請求人ハ福井地方裁判所ニ告訴シタルニ請求人ハ乙第一號證ノ如ク有罪ノ判決ヲ受ケ更ニ乙第二號ノ如ク名古屋控訴院ニ於テ控訴ノ申立ヲモ棄却セラレタルヲ以テ甲第一號證ノ火入釜ハ被請求人ノ有スル本件登録實用新案ニ類似スルコトハ以上ノ判決ニ依リ確定セラレタ

ルモノナリ然ルニ同一事實ニ對シ本件審判ヲ請求スル如キハ特許法第八十七條ニ規定セル一事不再理ノ原則ニ反スル違法ノ請求ナリト謂フニアリテ乙第一號證乃至乙第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 被請求人ハ請求人ノ火入釜ハ被請求人ノ有スル本件登録實用新案火入釜ニ類似シ互ニ牴觸スルコトハ福井地方裁判所及名古屋控訴院ノ判決ニ依リ確定セルヲ以テ本件請求ハ特許法第八十七條ニ違反スト主張スルモ特許法第八十七條ノ規定ニ示セル審決又ハ判決トアルハ特許局ノナシタル審決ニ對シテ爲シタル上告審即チ大審院ノ判決ヲ指スモノニシテ上告審ノ判決ナラサル第一審若シクハ控訴審ノ判決ヲモ含ムモノニアラサルカ故ニ此點ニ對スル被請求人ノ主張ハ失當ナリ又請求人ハ本件登録實用新案ノ權利範圍ハ其出願前登録ニ係ル登録第三四七四號實用新案權ヲ參酌シテ解釋スヘキモノナリト主張スルモ權利範圍ハ其考案ノ内容及登録請求範圍全部ヲ通シテ解釋スヘキモノニシテ敢テ他ノ登録實用新案ヲ參酌スルヲ要スルモノニアラス從テ請求人ノ主張モ亦當ヲ得ス仍テ本件甲第一號證ノ火入釜ハ被請求人ノ有スル本件登録實用新案第一四六六五號清酒火入釜ニ撞着スルヤ否ヤニ付審接スルニ本件登録實用新案第一四六六五號ハ明治四十二年五月二日出願シ同年九月二十三日登録ヲ受ケタルモノニシテ其登録請求範圍ハ『銅真鍮ノ如キ良導熱版ニテ作りタル釜③ニ縁②ヲ取付ケ其縁②ニ鑿①ヲ設ケ釜③ノ外圍ヲ縁②ノ下端ヨリ編付タル金屬線條ノ外被④ニテ包圍シタル構造』ニアリ而シテ請求人ノ製作販賣セル甲第一號ノ火入釜ハ釜④ニ縁②ヲ設ケ上部ニ縁②ヲ支フヘキ鑿②ニテ有スル保障袴ヲ釜④ノ外圍ヲ包圍スヘク嵌合シ保障袴ハ縱横ノ條線ヲ連結シテ成ルモノナリ今兩者ヲ比較スルニ前者ノ外皮④ハ金屬線條ヲ編付タル金鋼ナルニ對シ後者ノ所謂保障袴ハ縱横ノ條線ヲ連結シタル格子狀ノ袴ナレトモ孰レモ釜ヲ保護スル外被ニ過キスシテ其效果均等ナルカ故ニ單ニ設計上ノ差ナリト認ム又前者ニ於ケル鑿①ハ釜③ニ取付ラレタル縁②ニ定着シアルニ對シ後者ノ鑿②ハ保障袴④ノ上部ニ

定着セルノ差アルモ鏝ニハ外釜ノ周縁ニ懸リテ外釜トノ間隙ヲ掩蔽シテ温度ノ漏洩ヲ防クノ要ニ供セラル、モノナルカ故ニ釜ニ直接ニ附着スルモ保障袴即チ外被ニ附着スルモ之亦類似ノ構造ナリト認メサルヲ得ス要スルニ兩者ハ用途ニ對シ事實上同一ノ效果ヲ奏スル構造ニシテ以上記述セル差異ノ如キハ設計上任意ニ取捨セラルヘキ微細ナル點ニ過キス故ニ之ヲ別箇ノ構造ナリト謂フヲ得サルヲ以テ甲第一號證ノ火入釜ハ登録實用新案第一四六六五號清酒火入釜ノ權利範圍ニ屬スルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜惣治
特許局事務官 三浦 惠一
同 馬場 穎一

第二千七百十號

岡山縣都窪郡撫川町大字撫川千二百八十二番地 請 求 人 難 波 吟 藏
東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辨理士 右 代 理 人 岩 崎 勳
同 市日本橋區伊勢町二十六番地特許辨理士 同 被 請 求 人 菊 池 馨 司
廣島縣沼隈郡今津村五百五十一番屋敷 右 代 理 人 三 島 儀 右 衛 門
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 淺 村 三 郎
同 市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士 同 平 岩 義 一

右當事者間ノ第二二四四〇號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣スル(イ)號圖面ニ示ス繋キ合セ敷物ハ第二二四四〇號登録實用新案ノ權利ノ範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人所有第二二四四〇號登録實用新案蘭表兩面綴ハ其ノ圖面ニ示ス如ク二枚ノ蘭表ヲ縁布ニテ表裏同等ニ繋キ合セタル構造ヲ以テ要部トス然ルニ被請求人ノ製造販賣スル(イ)號圖面ニ示ス物品ハ二枚ノ蘭其ノ他ノ表ヲ縁布ニテ表面ハ第二二四四〇號登録實用新案ト同一ニ縫綴シテ繋キ合セ裏面モ亦之ト同シク縫綴シテ唯其ノ幅ヲ廣クシ(ロ)號圖面ニ示ス如ク弛マシメ之ヲ中央部ニ於テ折り曲ケ縫着シタル構造ノ繋キ合セ敷物ニシテ第二二四四〇號登録實用新案ト比較スルニ裏面ノ縁布ヲ折り曲ケテ縫着セサル前ノ構造即チ(ロ)號圖面ニ示セル構造ハ全然均等ノ構成ニ屬ス而シテ後者ハ之ニ加工即チ縁布ヲ折り曲ケテ縫着セル構造ヲ附加シ成品トシテハ前者ト別箇ノ物品ト爲シタルモノナルモ既ニ基本ニ於テ前後兩者均等ナルニ於テハ之ニ如何ナル加工ヲ施スモ後者ハ前者ノ類似品ニシテ之カ權利ノ範圍ニ屬スルモノナリト謂フニ在リ
被請求人答辯ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣セル乙第一號證圖面及其ノ説明ニ示セル敷物即チ請求人提出ノ(イ)號圖面ニ示ス繋キ合セ敷物ハ第二二四四〇號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ本件第二二四四〇號登録實用新案權ハ一枚ノ縁布ヲ用キテ表裏ノ區別ナク兩面共ニ何等隙間ヲ生セサル様同一形狀ニ合綴シテ完全ニ覆フタル構造ニ付キ存スルモノニシテ此構造以外ノ物品ニ對シテハ何等ノ權利ヲ有スルモノニアラス而シテ被請求人ノ製造セル乙第

一號證〔即チ請求人提出ノ(イ)號圖面〕ノ敷物ハ其ノ實物ノ一部竝ニ圖面ト説明トニ說示セル如ク「表イ」ノ一邊ニ幅廣繼布(イ)ノ一邊ヲ縫着シ該表イノ他面ヨリ更ニ幅狹キ繼布(イ)ヲ縫着シタル後繼布(イ)ヲ折返シテ相縫着シ一方繼布(イ)ヘ他ノ表(イ)ヲ縫着シ更ニ繼布(イ)ヲ共ニ表(イ)ヘ縫着シテ「成ルモノニシテ之ニ依リテ製造セラレタル敷物ノ繼布ハ一面ニ於テハ一枚ト爲リテ覆ハレ他面ニ於テハ中央ニ縱隙ヲ有シ二條ト爲リテ覆ハレアルモノニシテ之カ構造タルヤ全然本件登録實用新案ト相異シ決シテ同一ノ物品タラサルハ勿論毫モ類似スルコトナシト謂フニ在リ

審決ノ理由 請求人ノ有スル登録實用新案第二二四四〇號蘭表兩面綴ノ構造ハ其ノ圖面竝ニ説明書ニ於テ記載セルカ如ク單ニ一枚ノ縁布ヲ以テ表裏ノ區別ナク兩面共ニ綴リ合シタルモノニシテ其ノ權利ハ前記ノ構造ニ存スルコト明カナリ然ルニ被請求人ノ製造販賣スル(イ)號圖面ニ示ス繋キ合セ敷物ハ一枚ノ繼布ヲ用キスシテ幅ヲ異ニスル二枚ノ繼布ヲ用キタルコト及ヒ表ハ一枚ニ覆ヒ裏面ハ中央ニ縱隙ヲ有シ二條ト爲リテ覆ハレ表裏同等ナラサルコトノ二點ニ於テ本件登録實用新案第二二四四〇號トハ全然其ノ構造ヲ異ニス從テ兩者互ニ類似スル所ナシ又請求人ハ(ロ)號圖面ニ示ス物品ハ本件登録實用新案ト均等ノ構造ニシテ其ノ權利ノ範圍ニ屬スルモノナリト主張スト雖モ被請求人ノ製造販賣スル(イ)號圖面ニ示ス敷物ハ乙第一號證ニ示スカ如キ工程順序ニ依リ製作スルモノナルカ故ニ(ロ)號圖面ニ於ケルカ如キ工程順序ヲ經過スルコトナシ從テ此點ニ關スル請求人ノ主張ハ理由ナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十一月二十九日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治

特許局事務官 馬 場 穎 一
中 松 眞 卿

第二千四百六十三號

東京市深川區西元町一番地 請 求 人 秋 田 勝 三 郎
同 市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士 右 代 理 人 稻 木 繁 太 郎
同 市下谷區西町三番地 被 請 求 人 井 上 貞 次 郎
同 市京橋區桶町八番地特許辨理士 右 代 理 人 磯 部 尙

右當事者間ノ第一二三三三號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ使用スル甲第一號證ノ段「ボール」製造機ハ被請求人ノ所有スル登録實用新案第一二三三三號段「ボール」製造機ノ權利範圍ニ屬セス

三號段「ボール」製造機ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ使用スル甲第一號證ノ段「ボール」製造機ハ被請求人ノ所有スル登録實用新案第一二三三三號段「ボール」製造機ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
ト審決相成度其理由ハ甲第一號證ノ器械ハ臺枠上ニ齒條ヲ有スル普通轉軸二箇ヲ上下ニ載架シ之ヲ普通ノ聯動裝置ニ依テ回轉セシメ該轉軸間ニ「ボール」ヲ挿入シテ凸凹波狀ニ屈折セシムヘキ公知公用ノ器械ナリ然ルニ被請求人ノ有スル登録實用新案第一二三三三號段「ボール」製造機ハ重錘、橫杆、突杆軸受ノ組合ニ依リテ「ロール」ノ齧合力ヲ調節スルコト及「ロール」ノ齧合部ノ前後ニ金屬網版ヲ平面狀

若シクハ後方ニ傾下セル斜面狀ニ附設シ「ボール」紙ノ誘導ニ供シ「ロール」ノ下方ニハ網版ノ左右端及後端ニ達スル面積ヲ有ツ所ノ火鉢ヲ設ケテ半濕潤ノ「ボール」紙ヲ迅速ニ乾燥セシムルコトノ二要素ニアルコトハ實用新案公報第二百十七號記載ノ圖面及説明書ニ依テ明白ナルヲ以テ兩者ハ全然構造ヲ異ニシ彼此毫末モ關係スルコトナシト云フニアリテ甲第一號證及實用新案公報第二百十七號ヲ援用セリ被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ使用セル甲第一號證ノ段「ボール」製造機ハ被請求人ノ有スル登録實用新案第一二三一三號段「ボール」製造機ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ有スル登録實用新案第一二三一三號段「ボール」製造機ノ權利範圍ハ洵ニ請求人ノ認ムルトコロノ如シ然ルニ請求人ノ提出セル甲第一號證ハ器械ノ一部ヲ表示シタルモノニシテ被請求人ノ權利ノ侵害ヲ免レン爲ニ重要ナル附屬器ヲ除去シタルニ外ナラス第一號證ノ如キ器械ニ依リテ段「ボール」紙ヲ製造スルコト能ハサルハ明白ナル事實ナリト云フニアリテ乙第一號乃至第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 被請求人ノ所有スル本件登録實用新案第一二三一三號段「ボール」製造機ハ重錘(9)、橫杆(7)、突杆(6)、軸受(4)ノ組合ニ依リテ齒輪狀ノ「ロール」(2)(3)ノ齧合カヲ加減スヘクシ「ロール」(2)(3)ノ齧合部ノ前後ニ金屬製ノ網版(10)ヲ平面狀若シクハ後方ニ斜面狀ニ付設シテ「ボール」紙誘導ノ用ヲナサシメ「ロール」(3)ノ下方ニハ網版(10)ノ左右端及後端ニ達スル面積ヲ有スル火鉢(11)ヲ具ヘ「ロール」(2)(3)ニ依リ波狀ニ屈曲セラレツ、網上ヲ通過スル半濕潤ノ「ボール」紙ニ加熱シテ迅速ニ乾燥セシムル構造全體ニ付實用新案權ヲ有スルモノナルコトハ實用新案公報掲載ノ圖面及説明ニ徴シテ明ナリ然ルニ請求人ノ有スル甲第一號證ノ器械ハ螺旋ニ依リテ齧合ヲ加減セラル、齒條付轉軸二箇ヲ臺枠ニ架載シ齒輪聯動裝置ヲ以テ回轉シ該轉軸間ニ「ボール」紙ヲ挿入シテ波狀ニ屈曲セシムル構造ナルヲ以テ「ロール」ノ齧

合ヲ加減スル爲ニ前者ノ重錘ト橫杆トヲ以テスル代リニ後者ハ螺旋杆ヲ使用シアルノ差アルノミナラス後者ハ前者ニ於テ必要トスル網版及火鉢ヲ裝置セサルノ差アルコトモ亦明白ナリ被請求人ハ甲第一號證ニ示スモノハ請求人ノ使用シツ、アル機械ノ一部分ヲ表示シタルモノニシテ事實上本件登録實用新案ト同一ノ裝置ヲ施コスニ非サレハ段「ボール」紙ヲ製造スルコト能ハサルカ故ニ本件登録實用新案ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト主張スルトコロアルモ實施上ノ事實ハ權利侵害問題ニ屬シ本件甲第一號證ニ示ス段「ボール」製造機カ本件登録實用新案第一二三一三號段「ボール」製造機ノ權利ニ撞着スルヤ否ヤノ問題ニ關係スルトコロナシ要スルニ兩者ハ前述ノ如ク一部ニ於テ均シキトコロアルモ全體ノ構造トシテハ別箇ノ器械ト認ムヘキモノナルヲ以テ互ニ撞着スルモノニアラス其他當事者間相爭フトコロアルモ審決ニ影響スルトコロナキヲ以テ説明セス

仍テ本文ノ如ク審決ス

大正二年十一月二十九日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
特許局事務官 三 浦 惠 一
同 山 岡 國 利

第二千五百五十五號

大阪市南區難波元町三丁目二百番地

請 求 人 美 河 充 之 助

*百五十四

大阪市北區白屋町二十五番屋敷	請 求 人	藤 原 卯 之 助
同 市北區南同心町四百六十三番地	同	稻 垣 好 松
同 市北區眞砂町二十二番地特許辨理士	右 代 理 人	齋 藤 秀 岳
同 市北區南同心町二丁目七百三十八番屋敷	被 請 求 人	山 崎 德 三 郎
同 市北區信保町二丁目四百四十七番屋敷	同	向 井 房 次 郎
同 市北區天満橋筋四丁目二十六番地	同	山 本 松 太 郎
同 市北區天満橋筋二丁目百七番地	同	天 野 貞 治 郎
同 市南區難波元町五丁目四百七十九番地	同	松 島 市 太 郎

右當事者間ノ第五五五號登録實用新案權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人ノ製造ニ係ル甲第二號證木柄ハ第五五五號登録實用新案木柄ト撞着ス
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造ニ係ル甲第二號證木柄ハ第五五五號登録實用新案木柄ト撞着セサルモノト審決相成度其理由ハ請求人ノ製造ニ係ル甲第二號證木柄ハ木柄面ニ「ニス」ヲ塗り第七三四號登録實用新案木理附着器ヲ使用シテ線狀ヲ刻シ藥液中ニ入レ後研磨シテ更ニ「ニス」ヲ施シタルモノニシテ被請求人ノ第五五五號登録實用新案木柄ハ木柄面ニ線狀ヲ彫リ之ニ胡粉ニ色素ヲ加ヘ膠又ハ糊ニテ適度ニ煉リタルモノヲ塗布シ乾燥後研磨スルモノニシテ只線狀ヲ顯ハスコトニ於テ相似ルノ觀アルモ棕櫚竹摸擬品ヲ製造スルニハ當然ノコトナリ且本件登録實用新案ハ全ク方法ヲ主トスルモノニシテ之レト方法ヲ異ニスル請求人ノ木柄ハ本件登録實用新案木柄ト撞着スルコトナシト云フニアリ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造ニ係ル甲第二號證木柄ハ被請求人ノ第五五五號登録實用新案木柄ニ撞着スルモノト審決相成度其理由ハ請求人カ木柄ヲ製造スルニ手數ト冗費ヲ省ク爲ニ適宜ノ色素ト膠ヲ使用シ實際ニ於テ色「ニス」ヲ用キルモノニアラスシテ其完成品ハ本件登録實用新案ノ棕櫚竹摸擬品ト敢テ異ナル所ナシ又前ニ大阪市北區東堀川町十五番地川口恒太郎ヨリ願書番號第一三三三八號實用新案登録ヲ願出テタルモ第五五五號登録實用新案木柄ニ比シ少シク製造工程ヲ異ニスルモ其完成品ニ於テ兩者類似タルヲ免レサルヲ以テ拒絕セラレタル例アルヨリ見ルモ請求人ノ製造ニ係ル甲第二號證木柄ハ第五五五號登録實用新案木柄ト撞着スト云フニアリ

審決ノ理由 請求人ハ其製造ニ係ル甲第二號證木柄ハ第五五五號登録實用新案木柄ト製造法及構造ヲ異ニスルノミナラス本件登録實用新案ハ製造方法ヲ主トスルモノニシテ其製造方法ヲ異ニスル請求人製造ノ木柄ハ本件登録實用新案ト撞着セサルモノナリト云フモ請求人製造ニ係ル甲第二號證木柄及本件登録實用新案木柄ハ共ニ普通ノ木材ヲ以テ適宜ノ形狀ノ木柄ヲ作り之ニ線狀模様ヲ彫リ塗料ヲ施シ仕上ケシテ製造シタル棕櫚竹摸擬品ニシテ互ニ相類似スルモノナリ只本件登録實用新案ノ木柄ハ胡粉ニ適意ノ色素ヲ加ヘ膠又ハ糊ニテ煉リタルモノヲ塗料トシテ使用シ請求人製造ノ木柄ハ色「ニス」ヲ用ヒ各物質ヲ異ニスト雖共ニ一種ノ塗料ニシテ之ヲ塗布シテ棕櫚竹様ノ外觀ヲ呈セシムル目的ニ於テハ異ルコトナク兩者何レモ均等物タリ而シテ本件登録實用新案ハ請求人ノ謂フ如ク其製造方法ヲ主トスルモノニアラスシテ棕櫚竹模様ノ木柄ノ構造ニアリ故ニ假令請求人ノ木柄製造方法カ本件登録實用新案ノ方法ト異ル所アリトスルモ其製品ハ棕櫚竹摸擬ノ木柄ニシテ其構造ニ於テ相類似スルモノナルヲ以テ請求人ノ製造ニ係ル甲第二號證木柄ハ本件第五五五號登録實用新案木柄ト撞着ス
 仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十二月五日於特許局

審判長 特許局技師

同 小野喜惣治
特許局事務官 野間譽雄
中松真卿

*百五十六

第二千六百七十六號

富士市大泉町五百八十一番地	請求人	株式會社富山縣織物模範工場
東京市本所區小泉町三十四番地特許辨理士	右代理人	宮崎三之助
同 市京橋區桶町二十六番地特許辨理士	同	宇田正穂
福井縣坂井郡春江村安江留上	被請求人	岡崎利一
福井市寶永下町百三十一番地特許辨理士	右代理人	大塚表一
東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士	同	稻木繁太郎

右當事者間ノ第二二九三六號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第二二九三六號登録實用新案「ゴーズ、シフォン」ノ登録ハ之ヲ無効トシ

審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人所有ノ第七九七八號登録實用新案金線金
 絲入「ジフォン」ト被請求人所有ノ第二二九三六號登録實用新案「ゴーズ、シフォン」トヲ比較スルニ二者
 殆ント同一ニシテ唯タ其異ナル處ハ前者ハ其地合全部ヲ平織トナシ後者ハ其地合ノ一部ヲ紗織トナシ
 タル點ニアルノミ然ルニ地合ヲ紗織トナス事ハ古來普通ニ行ハル、處ナルヲ以テ之カ爲メ別考案ヲ構
 成ス可モノニアラス今假リニ「シフォン」ニ於ケル地合ヲ紗織トナスコトヲ以テ新規ナリトスルモ此地
 合ニ各種彩色ノ絲及金線又ハ金絲ヲ以テ縞ヲ現ハスコトハ第七九七八號登録實用新案ト全ク同一ナル
 ヲ以テ其效果ニ付テモ敢テ優劣ナキモノトス更ニ數歩ヲ譲リテ第二二九三六號登録實用新案ニ於ケル
 紗織ナル組織カ其地合ノ全部ニ施サレ且ツ「シフォン」ニ於テハ新規ナリトスルモ尙ホ此二箇ノ實用新
 案ハ相互ニ類似スルモノタルヲ免レス而シテ第二二九三六號登録實用新案ノ出願ハ第七九七八號登録
 實用新案ノ出願後ナルヲ以テ其登録ハ實用新案法第五條ニ違反シタルカ故ニ同法第十一條ニヨリ無効
 トナス可モノ云々ト云フニアリテ甲第一號證ノ一、二及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス且ツ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ第
 七九七八號登録實用新案カ新規ノ考案トシテ登録セラレタル所以ノモノハ第一、普通ノ「シフォン」平織
 地第二、金絲又ハ金線第三、異色ノ絹絲トノ三條件ヲ組合セ始メテ新規考案タルノ價值ヲ充實シタル
 ニ基クカ故ニ苟モ「シフォン」トシテ右三條件中ノ何レヲ缺如スルモ第七九七八號實用新案ノ權利ニ屬
 セサルモノトス元來「シフォン」ナルモノハ極メテ薄地ニ織成スルモノナルカ故ニ普通ノ平織地トナス
 時ハ忽チ織目ヲ片寄せシメ之ヲ實用ニ供スル由ナキヲ以テ特ニ強撚ヲ付與シタル細キ經緯絲ヲ使用シ
 テ僅カニ其缺點ヲ豫防スト雖モ單ニ之ノミニテハ未タ以テ組織ノ寄崩ヲ防止スルコト能ハサルノ嫌ア
 ルヲ以テ被請求人ハ「シフォン」ヲ紗織トナシテ絶對ニ前記ノ缺點ヲ防止シタリ猶ホ第二二九三六號登

*百五十七

録實用新案ニ於テハ此要素ニ加フルニ任意ノ絲條又ハ金線金絲中ノ何レカヲ以テ任意ノ縞ニ交織シタルモノナルニヨリ被請求人所有ノ實用新案ハ請求人所有ノ實用新案トハ全然別異ノモノニシテ彼是全ク箇々ノ考案ナル事明白ナルカ故ニ請求人ノ主張ハ不當ナリ云々ト云フニアリ

審決ノ理由 登録實用新案第七九七八號金線金絲入「シフォン」ハ金線若クハ金絲ト各種彩色ノ絹絲トヲ組合セ任意ノ縞ヲ現ハシ其地合ヲ平織組織トナシタルモノニシテ登録實用新案第二九三六號「ゴーズ、シフォン」ハ紗織ノ地合ニ任意ノ絲條又ハ金線金絲ヲ以テ任意ノ縞ヲ現ハシタル織物ナルコトハ各其登録請求範圍圖面及其説明ニヨリテ明カナリ依テ之等ノ兩者ヲ比較スルニ後者ニ於テハ其地合ヲ前者ノ地合タル平織ト組織ヲ異ニスル紗織トナシ以テ薄キ平織地ニ在リテ往々見聞スルカ如キ組織ノ寄崩スルヲ防止シ且ツ其紗織地ニハ前者ト其趣キヲ異ニシテ金線金絲又ハ任意ノ絲條ヲ適意撰擇織成シ任意ノ縞ヲ現ハシタルヲ以テ二者其構造效果ニ於テ同一若クハ類似ナルモノト云フヲ得ス次ニ請求人ハ登録實用新案第二九三六號ハ紗織ナラサル部分ニ付テ論辯スルモ該部分タルヤ單ニ各種彩色ノ絲ノミヲ用ヒテ搦織ナラシメスシテ縞ヲ鮮明ナラシメタルニ止マルカ故ニ請求人ノ其主張ハ不當ナリ要スルニ登録實用新案第七九七八號金線金絲入「シフォン」ト登録實用新案第二九三六號「ゴーズ、シフォン」トハ全然別異ノ構造考案ヲ有スルモノナルヲ以テ前者ニヨリテ後者ノ登録ヲ無効トナスコトヲ得ス其他當事者間ニ於テ論争スルモ審決ニ必要ナラサルカ故ニ説明セス
依テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十二月十二日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
同 小野喜惣治

特許局事務官 村山小次郎

實用新案審決錄終

意匠審決錄

意匠審決錄

意匠審決錄目次

審決要旨	審判番號	件名	當事者	審決年月日	頁數
	第二五二八號	第三二二二號 登錄意匠(火屋)權利確認事件 <small>(大正二年七月二十五日抗告審決參照)</small>	(請)北川忠平 (被)堀辰雄	二、三、五	△一
	第二五六二號	第五二五九號 登錄意匠(櫛)權利確認事件 <small>(大正二年七月三十一日抗告審決參照)</small>	(請)天野嘉藏 (被)土田治助	二、三、六	△四
	第二六八二號	第八一三七號 登錄意匠(懷中電燈玩具)登錄無效事件 <small>(大正二年十二月十五日抗告審決參照)</small>	(請)豐田音次郎 (被)川西花二郎	二、九、六	△六
	第二六六四號	第七九五三號 登錄意匠(辻占入菓子)登錄無效事件	(請)中妻高市 (被)野村定次郎	二、一〇、八	△九
	第二七四二號	第五七五八號 登錄意匠(菓子箱貼箋)權利確認事件 <small>(抗告審判請求)</small>	(請)森永製菓株式會社 (被)下邑榮藏	二、二、六	△一〇

意匠審決録

第二千五百十八號

大阪市北區天滿橋筋一丁目六番地	請求人	北川忠平
同 市北區眞砂町二十二番地特許辨理士	右代理人	齋藤秀岳
同 市南區難波櫻川町四丁目五千三十三番地	被請求人	堀辰雄
同 市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷特許辨理士	右代理人	小池宗三郎

右當事者間ノ第三三三三號登錄意匠權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ登録第七一二九號意匠提洋燈用火屋ノ形状ハ請求人ノ登録第三三三三號意匠權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ登録意匠第七一二九號提洋燈用火屋ハ請求人ノ所有ニ係ル登録意匠第三三三三號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人カ明治三十九年四月四日附ヲ以テ登録ヲ受ケタル硝子火屋形状ノ意匠ハ甲第一號證竝ニ甲第二號證ニ示ス如ク中央ヲ孤狀ニ膨出シタル太鼓形ノ上下ニ太キ環縁ヲ設ケ各其口邊ニ二箇ノ切缺キヲ相對向セル位置ニ具ヘタル突縁ヲ設ケテ成ル太鼓胴形ノ火屋ノ形状ニ係ルモノナリ而シテ被請求人カ明治四十五年一月十一日ヲ以テ出願シ同年二月二十日第七一二九號ヲ以テ登録ヲ受ケタルモノハ甲第三號證ニ

示ス如ク中央ヲ弧狀ニ膨出シテ周面ニ四箇ノ圓形ヲ相對向セル位置ニ少シク隆起セシメ上下ニ太キ環
縁ヲ設ケ該環狀部ニ縱線ヲ並列シ上部ノ環縁上ニ更ニ一段弧狀部ヲ具ヘ各其口端ニ二箇ノ切缺部ヲ相
對向セル位置ニ具ヘタル突縁ヲ設ケ該突縁ヲ反對ノ位置ニ於テ一方ヲ屈折シテ成ルモノニシテ之ヲ前
記登録第三二二三二號意匠ト對照スルトキハ周面ニ四箇ノ圓形ヲ少シク隆起シ上下ノ環縁ニ數多ノ縱線
ヲ現ハシ上部環縁上ニ一階ノ弧狀段ヲ設ケタル等ノ差異アリト雖トモ大體ノ形狀ニ於テ上下ニ環縁ヲ
設ケタル太鼓胴形トシテハ殆ント同様ノ觀ヲ呈スルモノニシテ彼此全ク類似シ撞着セルモノト云ハサ
ルヘカラス依テ申立要領ノ如ク審決ヲ求ムト云フニ在リテ甲第一號乃至第六號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ登録意
匠第三二二三二號ノ物品ハ上下ニ隆起シタル環縁ヲ設ケ中央ヲ弧狀ニ膨出シタル太鼓胴形ノ形狀其物ニ
對シ權利ヲ有スルモノト云フヘク登録意匠第七一二九號物品ハ縱隆起弧線ヲ並行ニ表ハシタル環縁ヲ
上下ニ表ハシ中央ニハ相對シテ四方ニ稍膨出シタル圓形ヲ表ハシ上部環縁上ニハ更ニ一段ノ隆起環縁
ヲ附帶シタル形狀模樣ノ結合ニナルモノナリ而シテ從來提洋燈ノ中央ヲ膨出シ上下ヲ稍々縮少シタル
モノハ最普通ニシテ一般船舶碇泊燈等ニ見ルモノナレハ之ヲ以テ新規ナル考案トナスヲ得ス登録意匠
第三二二三二號ハ單ニ太鼓胴形ニ酷似セシメタルヲ以テ登録ヲ受ケタルモノナレハ太鼓胴形ヲ爲サヌ又
ハ一見シテ太鼓胴狀ト認メラレサル物品ニ對シ唯中央部カ周圍外面ニ膨出シタル故ヲ以テ請求人ノ登
録第三二二三二號意匠權ノ範圍ニ屬スト爲スハ不當ナリト云フニ在リ

審決ノ理由 請求人ノ登録第三二二三二號意匠ハ明治三十九年三月二十日ノ登録出願ニ係リ其權利範圍ト
スル所ハ「ホヤ」ニ於テ胴イヲ太鼓胴ノ如ク外方ニ膨ラマシ其上下兩端ニ縁口ロヲ設ケ尙其上下ニ環
狀ノ部分ヲ設ケテ其各先端ニ突出セル縁ヲ施シ該縁中ノ相對セル二箇所ノ凹入部ヲ設ケテ成ル形狀」

ニ在ルハ其登録請求範圍ニ依リテ明瞭ナリ而シテ被請求人ノ登録第七一二九號意匠ハ明治四十五年一
月十一日ノ登録出願ニ係リ其權利範圍トスル所ハ「大體ニ於テ中央稍太キ圓筒形ノ火屋ノ上下ニ之ヲ
挿入支持スヘキ屈曲セル突帯ヲ作り尙内方上下ニ縱ニ平行ニ突片ヲ設ケタル稍々太キ隆起帶ヲ設ケ中
央部ニハ其周面ニ三箇乃至數箇ノ圓形ヲ鏡狀ニ並設シ之カ反射ニ仍リ光輝ヲ強カラシメタル火屋ノ形
狀模樣」ニ在ルハ亦其登録請求範圍ニ照シテ明瞭ナリ然ルニ後者ニ於テ其意匠主要ノ形狀ヲ見ルニ前
者形狀ノ要部ト同シク胴ヲ太鼓胴ノ如ク外方ニ膨ラマシ尙其上下ニ環狀ノ部分ヲ設ケタルモノニシテ
唯後者ニ於テハ右胴ノ部分ノ周面ニ三箇乃至數箇ノ圓形ヲ並設シタルト上下ノ環狀ノ部分ニ縱ニ平行
ニ突片ヲ附設シタル模樣ヲ結合セル等ノ差アルノミ從テ後者ハ意匠ノ本質上前者ノ形狀ヲ使用セザレ
ハ實施シ難キモノニシテ後者ハ意匠トシテ別箇ノ存在ヲ有スルモ其形狀ノ點ニ於テ前者ト撞着スヘキ
モノト認ム而シテ後者ノ出願ハ前者ノ出願ヨリ後ナルヲ以テ登録第七一二九號意匠ノ形狀ハ登録第三
二二三二號意匠權ノ範圍ニ屬シ其制限ヲ受クヘキモノトス

テ主文ノ如ク審決ス

大正二年三月二十五日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 村山 小次郎
同 三 浦 惠 一

第二千五百六十二號

大阪市東區上難波北ノ町十九番地	請 求 人	天 野 嘉 藏
同 市東區淡路町五丁目十四番地特許辨理士	右 代 理 人	江 田 邦 太
同 市東區南久寶寺町四丁目十番地	被 請 求 人	土 田 治 助
同 市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士	右 代 理 人	廣 井 代 藏

△四

右當事者間ノ第五二五九號登録意匠權利範圍審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣セル甲第一號證ノ櫛ハ意匠登録第五二五九號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ右甲第一號證ノ櫛ハ之ヲ側面ヨリ見レハ請求人ノ前記登録意匠ト全ク同一意匠ニシテ少シモ差異アルコトナシ普通ニ櫛ハ括束シテ側面ヨリ見得ル如ク包裝シテ市上ニ出スヲ以テ顧客ハ先ツ側面ヲ見テ其櫛ノ異同ヲ見分クルモノナレハ右兩意匠ハ此點ニ於テ全ク誤認混同スヘキ同一ノ形狀ヲ爲セルモノナリ又之ヲ背面ヨリ見ルモノ兩者共ニ螺狀ヲ呈シ前者ハ只螺狀ノ山部ヲ少シク削リ取りタルカ如キ觀アルモ是レ單ニ小差異ニ過キスシテ全體ノ意匠ヨリ見レハ兩者ハ混同誤認ノ虞アル同一又ハ類似ノ意匠タルコトヲ免レスト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本來單純ナル平面模様ニアラサル物品全體ノ形狀模様ニヨリテ成レル意匠ニ對シ類否ヲ決スルニ當リ請求人

カ主張スル如ク側面ヨリ見タル場合又ハ正面或ハ裏面ヨリ見タル場合等ノ如ク特殊ノ觀察ニヨリテ生スル一場合ノ類似ヲ以テ直チニ兩者類似ナリト云フヲ得ヌ又請求人ハ兩者共螺狀ヲ呈シ云々ト主張スルモ本件登録意匠及甲第一號證ハ更ラニ螺狀ノ點ヲ認メヌ加之甲第一號證ハ被請求人ノ第四五三八號類似第一號登録意匠ノ應用品ニシテ其背部ノ模様ハ菱形竝ニ三角形ノ削取連繫模様ニヨリ成レルモノナレトモ本件登録意匠ハ一方稍深ク一方ニ至ルニ從ヒ漸次低クシテ斜メニ向ヘル數多ノ新月形ノ凹陥部ヲ連繫シテ設ケ他ノ一側面ニ在ル頂邊ト其側面トノ中間邊角部ニ前ト反對ニ一方稍淺ク他方ニ至ルニ從ヒ漸次深クシテ亦斜メニ向ヘル數多ノ新月形ノ凹陥部ヲ前ノ新月形凹陥部ト少シク入レ違ヒニ連繫シ削設シテ成レルモノニシテ兩者ハ類似ノ點毫モナシト云フニアリテ乙第一號證乃至第四號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 請求人ハ甲第一號證ノ櫛ハ登録第五二五九號意匠ト同一若クハ類似スルモノナリト主張スト雖右登録意匠ハ其登録請求範圍ニ示ス如ク半月形ノ櫛ノ背部ノ側面ニハ弧狀ニ二條ノ溝狀線ヲ設ケ其中間及上面ヲ少シク隆起セシメ背部ハ斜メニ溝ヲ穿チタル部分ト竝ニ斜メニ兩側ヲ削取シ中央ニ横ニ一條ノ隆起線ヲ生セシメタル部分ト互ヒ違ヒニ連繫シタル櫛全部ノ形狀ヨリ成ルモノナリ然ルニ甲第一號證ノ櫛ハ其兩側面ニ各二條ノ凹線ヲ刻シ其背部ニハ一條ノ菱形繫キヲ刻シ此兩側ニ各一條ノ三角形繫キヲ刻シテナレルモノナルカ故ニ兩者ハ唯其側面ニ二條ノ凹線ヲ刻シタル點ニ於テ相同シキモ其他ノ點ニ於テハ前記ノ如ク全然相異レル形狀ヨリ成リ請求人ノ主張スル如キ螺狀ヲ呈スルノ點ナキモノナルニ依リ互ニ相類似スルコト無ク全然別種ノ意匠ニ屬スルモノナリ從テ甲第一號證ノ櫛ハ第五二五九號登録意匠ノ範圍ニ屬セサルモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

△五

大正二年三月二十六日於特許局

審判長 特許局事務官

同 奧山萬次郎
同 村山小次郎
同 三浦惠一

△六

第二千六百八十二號

東京府南葛飾郡龜戸町三千八百八十二番地	請 求 人	豊田 音次郎
東京市京橋區采女町二十七番地特許辨理士	右 代 理 人	木 戸 傳
同 市京橋區采女町二十七番地特許辨理士	同	市 川 寛
同 市淺草區諏訪町三番地	被 請 求 人	川 西 花二郎
同 市京橋區木挽町十丁目八番地特許辨理士	右 代 理 人	乙 部 俊次
同 市麴町區麴町七丁目三番地特許辨理士	同	大 橋 誠一

右當事者間ノ第八一三七號意匠登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 第八一三七號意匠登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ第八一三七號意匠登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成

度ト申立テ其理由ハ本件登録意匠ハ懷中電燈玩具ノ形狀ニ係リ大正元年十二月二十日出願シ大正二年四月二十五日登録セラレ之ヲ應用スヘキ物品ハ玩具ニアリ然ルニ本件意匠ト類似ノ意匠ヨリ成ル懷中

電燈形玩具ハ明治四十三年頃ヨリ帝國內ニ公然用ヒラレタル事實アリ故ニ本件登録意匠ハ意匠法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反シ其登録ハ同法第十二條ニ依リ無効タルヘキモノナリト云フニ在

リ 被請求人ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ(一)請求人カ本件意匠ト同様ノモノカ明治四十三年頃ヨリ普通品ニ屬セリトノ主張ハ架空ノ說ナリ(二)請求人ハ被請求人ノ本件登録意匠ノ玩具ヲ偽作シテ東京市京橋區紺屋町十七尾張屋岩上藤之助ニ賣込ミタルモノナリ(三)證人海野幸治及大島利平ノ證言ニ著シキ相違アルハ同人等ノ證言ノ眞實ニ非サルコトヲ知ルニ足ル(四)甲第一號證カ明治四十三年十二月頃ノ製造ニ非スシテ現今ノ製品ナルコトハ其使用「レンズ」ニ依リテ明ナリ該「レンズ」ハ鑄タル儘ノモノニシテ明治四十四年頃ニハ未タ鑄タル儘ノ「レンズ」存

在セス總ヘテ磨キ出シ「レンズ」ノミナリキ(五)假リニ證人海野大島ノ證言ヲ信用スルモ海野カ吉川商店ニ甲第一號證ノ玩具ヲ賣渡シタルハ明治四十三年十二月中ニシテ然モ其數僅ニ二百箇ニ過キサルヲ以テ甲第一號證カ公知公用ニ屬セリト主張スルコトヲ得スト云フニ在リ

審決ノ理由 本件登録意匠ハ圓筒内ニ先端ニ受皿ヲ有スル螺條彈線ヲ裝置シ凸面硝子製「レンズ」形ノ蓋ヲ設ケ内部受皿上ニ桃實内ニ四肢ヲ擴ゲタル人形ヲ收容セシメ押子ノ俯仰ニヨリ開閉自在ナル蓋ノ開放ト同時ニ桃實ヲ外部ニ彈キ出スヘク爲シ圓筒鞘全體ヲ懷中電燈ニ象リタル玩具ノ形狀ニ係リ大正元年十二月二十日登録ヲ出願シ同年四月二十五日之カ登録ヲ得タルモノナリ然ルニ甲第一號證ノ懷中電燈形玩具ハ圓筒鞘全體ヲ懷中電燈ニ象リ圓筒内ニハ螺狀彈機ヲ裝置シ凸面硝子製「レンズ」形ノ蓋ヲ設ケ内部ニハ長キ螺狀彈線ノ上ニ布ヲ被ヒテ作レル蛇様ノモノヲ收容セシメ押釦ヲ押スト同時ニ蝶着蓋ヲ自働的ニ開放シ蛇様飛出物ヲ外部ニ彈キ出スヘク爲シタルモノナリ故ニ本件意匠ニ係ル玩具ト甲

△七

第一號證ノ玩具トハ其飛出物ニ差違アリト雖モ意匠ノ要部ハ圓筒鞘ヲ懷中電燈形ト爲シ飛出物ヲ包容スヘク爲シタル其形狀ニ在リ從テ本件登録意匠ハ甲第一號證ノ意匠ト類似スルモノト謂ハサルヘカラス然ルニ甲第一號證ト同様ノ物品ハ東京市淺草區永住町九十九番地海野幸治カ之ヲ二百箇製作シ本件意匠登録出願ノ日以前即チ明治四十三年十二月一日ヨリ同月三十日迄ニ東京市京橋區尾張町新地一番地吉川玩具店ニ賣却シ同店ニ於テ更ニ之ヲ販賣シタル事實ハ證人海野幸治ノ證言ニ依リ之ヲ認ムルニ足ル尙被請求人ハ甲第一號證懷中電燈形玩具ニ使用シアル「レンズ」ハ鑄タル儘ノ物ニシテ此ノ如キ「レンズ」ハ明治四十四年頃ニハ存在シタルコト無シト申立テ居ルモ既ニ證人海野幸治カ甲第一號證ノ形狀ヲ有スル玩具ヲ本件意匠登録出願前ニ製作シ且ツ同人ノ證言ニ依リ公然用ヒラレタルコトヲ認ムルヲ得ルヲ以テ「レンズ」ノ種類ニ關スル點ニ就テハ本件ノ如キ意匠ノ問題トシテハ之ヲ究ムルノ必要ヲ認メス要スルニ本件登録意匠ハ意匠法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反シ同法第十二條ニ依リ其登録ヲ無効トスヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年九月二十六日於特許局

審判長 特許局事務官 村山小次郎
同 同 三浦惠一
同 馬場穎一

第二千六百六十四號

京都府紀伊郡深草村字稻荷中町二十六番地 請求人 中妻高市
京都市上京區堺町通二條下ル杉屋町特許辨理士 右代理人 寺尾次郎 吉
京都府紀伊郡深草村大字稻福小字關吉十番地ノ一 被請求人 野村定次郎

右當事者間ノ第七九五三號意匠登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第七九五三號意匠登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人ハ第七九五三號意匠登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其理由ハ登録第七九五三號意匠ヲ應用セル菓子ハ京都市本町通三ノ橋下ル青木佐太郎ニ於テ審判請求ノ日ヨリ六箇年前ヨリ製造販賣シ來レルノミナラス請求人モ亦本件登録出願前即チ明治四十五年三月以後製造販賣セリ故ニ本件登録意匠ハ數年前ヨリ公知公用ニ屬シ意匠法上其登録ヲ無効トスヘキモノナリト云フニ在リ

被請求人ハ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

審決ノ理由 本件登録意匠ハ明治四十五年六月十五日出願大正二年一月九日登録セラレ菓子ニ應用スルモノニシテ臺上ニ蹲居スル狐形ニ作リタル輕燒二枚ヲ合セ上方ニ紙片ヲ挟ミ狐形ノ内部ニ辻占ヲ納ムヘク爲セル辻占菓子ノ形狀ニ在リ然ルニ其臺ニ記サレタル文字カ登録意匠ノモノニ在リテハ「イナリ山」ノ文字アリシニ反シ本件登録出願前ヨリ製造販賣セラレタルモノニアリテハ「イナリ」ト記サレタルトノ差違アルノ外本件登録意匠ト全ク同一形狀ノ菓子ヲ京都市下京區本町通十八丁目青木佐太郎

カ明治四十一年頃ヨリ製造販賣シ來リ被請求人ハ明治四十五年三月中青木佐太郎ヨリ同人ノ使用シタル右菓子ノ鑄型ヲ購入シ被請求人モ亦右ノ菓子ヲ製造販賣シタル事實ハ證人竹内專次ノ證言ニ依リ之ヲ認ムルコトヲ得故ニ本件登録意匠ハ其登録出願前帝國内ニ於テ公然知ラレ且用ヒラレタルモノニ類似スルモノトス從テ本件意匠ノ登録ハ意匠法第三條第一項第一號ニ該當シ第一條ニ違反シ第十二條ニ依リ無効タルヘキモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十月十八日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 塚本 靖
特許局事務官 村山 小次郎
同 三浦 惠一

第二千七百四十二號

東京市芝區田町一丁目十二番地 請 求 人 森永製菓株式會社
同 市京橋區宗十郎町一番地特許辨理士 右 代 理 人 岸 清 一
朝鮮釜山辨天町一丁目十番地 被 請 求 人 下 邑 榮 藏
大阪市西區江戶堀南通四丁目十番地特許辨理士 右 代 理 人 阿 部 直 藏
右當事者間ノ第五七五八號登録意匠權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ使用セル(イ)號圖面ニ示ス菓子箱貼箋ノ意匠ハ請求人ノ專用スル登録第五七五八號意匠

權ノ範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ被請求人カ現ニ使用セル(イ)號ノ“The best cake”ナル文字ヲ黃金色ニテ表ハシ之レニ薔薇及莖菜ノ花ニ類セル花ヲ配合シタル菓子箱貼箋ハ請求人ノ有スル第五七五八號登録意匠權ノ範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其ノ理由ハ登録第五七五八號意匠ノ菓子箱貼箋ト(イ)號圖面ニ示ス菓子箱貼箋トハ共ニ文字ニ花ヲ配合シタル意匠ニ係リ且花ノ形狀竝ニ配置ノ狀態等ニ於テ類似スト謂フニ在リ

被請求人ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度ト申立テ其ノ理由ハ登録第五七五八號意匠ト(イ)號圖面ニ示ス意匠トハ共ニ文字ニ花ヲ配合シテ成レルモノナリト雖前者ノ意匠中ニ含マル・Sponge mixture ナル文字ハ菓子ノ名稱ニシテ後者ノ意匠中ニ含マル・The best cake ナル文字ハ菓子箱貼箋ニ普通ニ使用セラルル處ニシテ二者文字ヲ異ニスルノミナラス右兩意匠ハ互ニ同一又ハ類似スルモノニ非ス又登録第五七五八號意匠權ノ範圍ハ其請求範圍ニ明記スル一定ノ文字及花ノ配合ニ限定セララルヘキヲ以テ(イ)號ノ意匠ハ右登録意匠權ノ範圍ニ屬セサルヤ明ナリ且被請求人ハ本年一月(イ)號ノ貼箋ヲ大阪市四ツ橋西南詰玉村商店ヨリ買入レ使用シタルコトアルモ現ニ之レヲ使用セスト謂フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ハ(イ)號圖面ニ示ス意匠ヲ有スル菓子箱貼箋ヲ本年一月大阪市四ツ橋西南詰玉村商店ヨリ買入レ使用シタルコトアルモ現ニ之レヲ使用セスト主張スレトモ本年一月中右貼箋ヲ使用シタルコトヲ認ムル以上本案ニ入り審理ヲ爲ス必要アルモノト認ム仍テ本案ニ入り審按スルニ登録第五七五八號意匠ハ明治四十三年一月二十九日出願同年三月三十一日登録セラレ菓子箱貼箋ニ應用スルモ

ノニシテ "Sponge mixture" ナル英字ヲ淡紅色ノ地色上ニ金色ニテ表ハシ之レニ薔薇及堇菜ノ花ト葉トヲ配合シテ成レリ而シテ被請求人ノ使用セル(イ)號圖面ニ示ス菓子箱貼箋ノ意匠ハ "The best cake" ナル文字ヲ金色ニテ表ハシ之レニ薔薇及堇菜ノ花ニ類似セル花ヲ配合シテ成レリ故ニ右兩意匠ヲ構成セル文字ニハ差違アリト雖モ其ノ文字ノ配置狀態、記載方法及金色ヲ以テ記載セルコトニ於テ甚タ酷似スルノミナラス貼箋地色ヲ何レモ淡紅色ト爲セル點竝ニ同様ノ着色ヲ施セル薔薇及堇菜ノ花ト葉トヲ以テ右文字ニ配合シテ成レル意匠ノ全體トシテ二者類似スルモノト認ム
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年十二月十六日於特許局

審判長 特許局技師 野間 譽雄
特許局事務官 三浦 惠一
同 中松 眞卿

意匠審決錄終

商標審決錄

商標審決録目次

審決要旨	審判番號	件名	當事者	審決年月日	頁數
<p>第二四〇六號 <small>一商標權者其製造販賣 二商標權者其製造販賣 三商標權者其製造販賣 四商標權者其製造販賣 五商標權者其製造販賣 六商標權者其製造販賣 七商標權者其製造販賣 八商標權者其製造販賣 九商標權者其製造販賣 十商標權者其製造販賣 十一商標權者其製造販賣 十二商標權者其製造販賣 十三商標權者其製造販賣 十四商標權者其製造販賣 十五商標權者其製造販賣 十六商標權者其製造販賣 十七商標權者其製造販賣 十八商標權者其製造販賣 十九商標權者其製造販賣 二十商標權者其製造販賣</small></p>	第二四〇六號	第四二一八七號 登録商標權利確認事 (大正二年九月二十六日抗 告審決參照)	(請) 三平株式會社 (被) 柴垣鐵次郎	二、一、三	〇三
<p>第二四七三號 <small>一商標權者其製造販賣 二商標權者其製造販賣 三商標權者其製造販賣 四商標權者其製造販賣 五商標權者其製造販賣 六商標權者其製造販賣 七商標權者其製造販賣 八商標權者其製造販賣 九商標權者其製造販賣 十商標權者其製造販賣 十一商標權者其製造販賣 十二商標權者其製造販賣 十三商標權者其製造販賣 十四商標權者其製造販賣 十五商標權者其製造販賣 十六商標權者其製造販賣 十七商標權者其製造販賣 十八商標權者其製造販賣 十九商標權者其製造販賣 二十商標權者其製造販賣</small></p>	第二四七三號	第四八二五四號 商標登録無効事件	(請) 桑原廣一 (被) 淺尾政太郎	二、一、七	〇五
<p>第二四五六號 <small>一商標權者其製造販賣 二商標權者其製造販賣 三商標權者其製造販賣 四商標權者其製造販賣 五商標權者其製造販賣 六商標權者其製造販賣 七商標權者其製造販賣 八商標權者其製造販賣 九商標權者其製造販賣 十商標權者其製造販賣 十一商標權者其製造販賣 十二商標權者其製造販賣 十三商標權者其製造販賣 十四商標權者其製造販賣 十五商標權者其製造販賣 十六商標權者其製造販賣 十七商標權者其製造販賣 十八商標權者其製造販賣 十九商標權者其製造販賣 二十商標權者其製造販賣</small></p>	第二四五六號	第四六九四一號 商標登録無効事件	(請) 石橋傳藏 (被) 瀨尾喜兵衛	二、一、三	〇七
<p>第二五四九號 <small>一商標權者其製造販賣 二商標權者其製造販賣 三商標權者其製造販賣 四商標權者其製造販賣 五商標權者其製造販賣 六商標權者其製造販賣 七商標權者其製造販賣 八商標權者其製造販賣 九商標權者其製造販賣 十商標權者其製造販賣 十一商標權者其製造販賣 十二商標權者其製造販賣 十三商標權者其製造販賣 十四商標權者其製造販賣 十五商標權者其製造販賣 十六商標權者其製造販賣 十七商標權者其製造販賣 十八商標權者其製造販賣 十九商標權者其製造販賣 二十商標權者其製造販賣</small></p>	第二五四九號	第五四三〇九號 商標登録無効事件	(請) 陳大輝 (被) 洪汝	二、一、三	〇九
<p>第二五一七號 <small>一商標權者其製造販賣 二商標權者其製造販賣 三商標權者其製造販賣 四商標權者其製造販賣 五商標權者其製造販賣 六商標權者其製造販賣 七商標權者其製造販賣 八商標權者其製造販賣 九商標權者其製造販賣 十商標權者其製造販賣 十一商標權者其製造販賣 十二商標權者其製造販賣 十三商標權者其製造販賣 十四商標權者其製造販賣 十五商標權者其製造販賣 十六商標權者其製造販賣 十七商標權者其製造販賣 十八商標權者其製造販賣 十九商標權者其製造販賣 二十商標權者其製造販賣</small></p>	第二五一七號	第五二〇四九號 登録商標權利確認事 (大正二年六月三日抗告審 決參照)	(請) 廣田辰次郎 (被) 相澤留造	二、二、七	〇一〇

審判要旨

審判番號

件名

當事者

審決年月日

頁數

第二四五五號

第四七二五四號
商標登錄無效事件
(大正二年七月二日抗告審決參照)

(請) 森田 尚
(被) 平山利三久

二、二七
二、二七
〇三

第二四四〇號

一商標權範圍確認審判ノ請求ハ必シモ被請求人カ現在商標ヲ使用スルコトヲ條件トスルモニアラス

第二四四〇號

第三九九四〇號
登錄商標權利確認事件

(請) 日本蠶業株式會社
(被) 森田 尚

二、二七
二、二七
〇六

第二四四二號

第五一六八二號
商標登錄無效事件
(大正二年六月二十八日抗告審決參照)

(請) 日本蠶業株式會社
(被) 森田 尚

二、二七
二、二七
〇八

第二五二八號

第五一四七八號
登錄商標權利確認事件

(請) 五味安太郎
(被) 高木 德彌

二、二二
二、二二
〇〇

第二五四二號

第一六四六號
登錄商標權利確認事件

(請) 中登又左衛門
(被) 山本 政太郎

二、二四
二、二四
〇三

第二六〇一號

第五三三九八號
商標登錄無效事件

(請) 合名會社カール、ロイテ、ウァント、コムパニー
(被) 村崎 鹿藏

二、二六
二、二六
〇五

第二四五四號

第四四二八三號
登錄商標權利確認事件

(請) 角利吉
(被) 合資會社二葉屋

二、二六
二、二六
〇七

第二四六九號

第五二八二九號
商標登錄無效事件
(抗告審判請求)

(請) 會 與七郎
(被) 神原 常吉

二、三三
二、三三
〇〇

第二三六九號

一商標法第三條第二項ハ同法第二條第三號ニ該當スル商標ニ付適用ナシ
二無登錄商標ニ付テハ民法上ノ取得時効ノ適用ナシ

第二三六九號

第四六九一七號
商標登錄無效事件
(大正二年八月二十一日抗告審決參照)

(請) 明珍 文次
(被) 野村 文次

二、三七
二、三七
〇五

第二四〇七號

第一九八七〇號
登錄商標權利確認事件

(請) 明珍 文次
(被) 野村 文次

二、三七
二、三七
〇六

第二四七五號

第五二七三五號
商標登錄無效事件
(大正二年八月二十一日抗告審決參照)

(請) 野村 文次
(被) 明珍 宗之

二、三七
二、三七
〇〇

第二四三六號

一商標ノ使用權ニ付テハ民法上ノ取得時効ノ適用アルモノニアラス

第二四三六號

第一八二一一號
登錄商標權利確認事件
(大正二年八月二十一日抗告審決參照)

(請) 野村 文次
(被) 明珍 宗之

二、三七
二、三七
〇三

第二四六一號

第三八五三二號
商標登錄無效事件
(大正二年七月二十六日抗告審決參照)

(請) 蟹江 大次郎
(被) 北村 岩太郎

二、三〇
二、三〇
〇六

第二六一七號

第五四九五四號
商標登錄無效事件

(請) 三輪善兵衛
(被) 朝鮮製紙合資會社

二、三七
二、三七
〇九

審決要旨

審判番號

件名

當事者

審決年月日 頁數

第二五五九號 第五四九三二號
商標登録無効事件
(抗告審判請求)
(請) フアルベン、フアラ
リックケン、フオルム
フリードル、バイ
エル、エンド、コム
パニー
(被) 合資會社日華
藥房
二、四、一八 頁五二

第二四三四號 第五〇四六八號
商標登録無効事件
(抗告審判請求)
(請) 太田 隣吉
(被) 玉置 文治郎
二、四、一九 頁五三

第二五三〇號 第五三八七一號
商標登録無効事件
(大正二年十二月八日抗告審
決参照)
(請) 有限責任シヨナス
アルツク兄弟商會
(被) 清水 政兵衛
二、四、二三 頁五六

第二五二二號 第五三八四三號
商標登録無効事件
(大正二年八月八日抗告審
決参照)
(請) 秋山 定一
(被) 山本 壽
二、四、二九 頁五六

第二五六一號 第五三九九四號
商標登録無効事件
(大正二年八月八日抗告審
決参照)
(請) バイザッシユ、アニ
リン、ウント、ソト
ダ、フアラリック
(被) 田中寅之助
二、四、二九 頁六一

第二五六七號 第五四六九九號
商標登録無効事件
(大正二年十二月二十五日
抗告審決参照)
(請) 合資會社二葉
(被) 芳永 實藏
二、六、二七 頁六三

第二五六八號 第五四七〇〇號
商標登録無効事件
(大正二年十二月二十五日
抗告審決参照)
(請) 合資會社二葉
(被) 芳永 實藏
二、六、二七 頁六六

第二五六七號
商標法第二條第二號ハ
商標カ世人ヲ欺スル
虞アル場合ニ關スル
定ニシテ廣告看板等
定ニシテ依リ商品ノ混
同ヲ生シキモノニテ
用スヘキモ、ニテア
ラニ適

第二五八三號 第五四二六九號
商標登録無効事件
(大正二年十月二十八日抗
告審決参照)
(請) 瀧川 辨三
(被) 田中 鹿子吉
二、六、二八 頁六九

第二六四四號 第五四八八九號
商標登録無効事件
(請) 萩原 辰藏
(被) 掛布 仙太郎
二、六、二八 頁七一

第二六七四號 第五六九二一號
商標登録無効事件
(請) 藤澤 友吉
(被) 大西 紋次郎
二、七、二 頁七三

第二五八六號 第五四八八八號
商標登録無効事件
(請) 大崎 代吉
(被) 山名 泰助
二、七、一 頁七六

第二六六九號 第三〇三二五號
登錄商標權利確認事
件
(大正二年十一月十七日抗
告審決参照)
(請) ウィクトル、ク
ロート
(被) 日野 筆吉
二、七、三 頁七八

第二四七二號 第二六四七九號
商標登録無効事件
(抗告審判請求)
(請) コンチネンター
ル、カウチユック、
ウント、グッダバ
ルチャイ、コムバ
ニー
(被) 合資會社二葉
二、七、九 頁八〇

第二四七一號 第四六三〇九號
商標登録無効事件
(抗告審判請求)
(請) コンチネンター
ル、カウチユック、
ウント、グッダバ
ルチャイ、コムバ
ニー
(被) 合資會社二葉
二、七、九 頁八四

審決要旨

サレハ勿論其出願前ニ於テハ商標法上モ商標ニ關スル權利ヲ認メラレサルカ故ニ假令出願人カ其出願前ニ使用シツ、アル商標チ他人カ故意ニ使用スルモ出願人ハ之ニ對シテ商標法上ノ權利ヲ主張スルコトヲ得ス從テ荷クモ其商標カ出願前他人ノ商標トシテ世上ハ其知セラレタル以上ハ其商標ノ登録ハ商標法第ニ條第五號ノ適用ヲ受クヘキモノトス

審判番號	件名	當事者	審決年月日	頁數
第二六五三號	第五五七三六號商標登録無効事件	(請) 有限責任會社ラ ゲオゲン、ゲセル シヤフト、ミット、 ハフトウクテ オレステ、ヂユツ セルドル	二二、一九〇二、二六	二六
第二六五四號	第五五七三七號商標登録無効事件	(請) 有限責任會社ラ ゲオゲン、ゲセル シヤフト、ミット、 ハフトウクテ オレステ、ヂユツ セルドル	二二、一九〇二、二六	二六
第二七三七號	第三八七四二號登録商標權利確認事件	(請) 井上 助市 (被) 吉田 久四郎	二二、一九〇三、〇〇	〇三〇
第二七四六號	第五三六五六號商標登録無効事件	(請) 川邑 春松 (被) 藤岡 清造	二二、一九〇三、〇三	〇三
第二七二三號	第四七〇三九號商標登録無効事件 (抗告審判請求)	(請) 良燧合資會社 (被) 廣島油明株式會社	二二、一九〇三、〇三	〇三
第二七四五號	第四四二七三號商標登録無効事件 (抗告審判請求)	(請) 川邑 春松 (被) 藤岡 清造	二二、一九〇三、〇五	〇三五
第二七五四號	第四三九九三號商標登録無効事件	(請) 山代 甚七 (被) 森井 甚太郎	二二、一九〇三、〇七	〇三七
第二七四八號	第四三三〇〇號商標登録無効事件	(請) 山代 甚七 (被) 森井 甚太郎	二二、一九〇三、〇七	〇三七

商標審決錄

第二千三百六十六號

獨逸國ライプツェヒ、ブラクウキツ

東京市京橋區加賀町八番地特許辨理士

大阪市西區京町堀通一丁目百十九番屋敷

同 市東區淡路町一丁目二十四番地特許辨理士

請求人

右代理人

被請求人

右代理人

ゼーセツヒ、ナールガル
ン、アクチエン、ゲセルシャ
フト

村山崎 太郎

吉川 豊助

佐々木 高吉

右當事者間ノ第四〇六二二號商標登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ第四〇六二二號商標登録ハ之レヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ商標登録第四〇六二二號ハ無効ナリ審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト
審決相成度其理由ハ請求人會社ハ十數年以前ヨリ其製造ニ係ル毛糸ヲ本邦ニ輸入シ明治三十四年九月ニ於テ其商標タル三角形内ノ天鷲印ノ商標登録ヲ出願シ同年十一月一日第一六三九九號ヲ以テ登録ヲ受ケ爾來引續キ之レヲ使用セリ然ルニ被請求人カ明治四十三年一月出願シ同年四月十六日登録ヲ受ケタル第四〇六二二號登録商標ヲ見ルニ外廓ヲ三角形トナシ左向セル一羽ノ鶴ノ佇立シ之レニ配スルニ草其他ノ水草ヲ以テセリ請求人ノ前記登録商標モ三角形ノ外廓内ニ同シク左向セル一羽ノ天鷲 Swanヲ描キ其周圍ニ草木ヲ配置シタル圖形ヨリ成リ兩商標ハ鳥其者ハ異ナルモ同シク三角形内ニ左向セル

長頸屬ノ鳥ヲ描キ其周圍ニ樹木ヲ配置シタルハ相互ニ頗ル類似シ隔離的觀察ニ於テ混同誤認ノ虞アルモノト云ハサルヘカラス從テ被請求人ノ本件登録商標ハ商標法第三條第一項ニ該當シ同法第十一條ニ依リ無効ト爲スヘキモノナリト云フニアリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ第一六三九九號登録商標ハ三角ノ外廓内ニ水上ニアル鷺鳥ヲ畫キ其左右ニ廣葉ヲ後方ニ草木ノ遠景ヲ配シタルモノニシテ被請求人ノ本件登録商標ハ三角形ノ外廓下部ニ丹尺形ヲ横置シ欄内ニ鶴ノ立形ヲ畫キ左右ニ葦ヲ配シタルモノナリ右兩商標ノ主タル點ハ一ハ鷺鳥他ハ鶴ニシテ之レヲ離隔的ニ觀察スルモ其間著シキ差違アリ加フルニ尤モ普通人目ニ接觸セラルル鳥類ナレハ決シテ混同セラルルモノニアラス且ツ被請求人ノ商標ハ支那輸出品ニノミ使用スルモノニシテ其需用者ニ於テモ明カニ鶴印トシテ認識セラルルコトハ乙第三號證及第四號證ノ立證スル所ナリ依テ本件商標登録ハ無効ト爲スヘキモノニアラスト云フニアリテ乙第一號證乃至乙第四號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 請求人カ商品毛絲ニ使用スル爲メ明治三十四年九月九日登録ヲ出願シ同年十一月一日其登録ヲ受ケタル第一六三九九號登録商標ハ三角形内ニ一羽ノ Swan「ハクテウ」カ左方ニ向テ遊泳スル圖ヲ畫キ草木ノ背景ヲ附シ其左右ニ水草ヲ配セルモノニシテ被請求人ノ本件登録商標ハ同シク三角形内ニ一羽ノ鶴ノ佇立セル圖ヲ畫キ其左右ニ水草ヲ配セルモノナリ右兩商標ハ其中央ノ圖形ニ於テ一ハ Swan「ハクテウ」他ハ鶴ナルノ差異アリト雖何レモ三角形内ニ左向セル一羽ノ長頸ノ鳥ヲ畫キ之レニ水草ヲ配置セルノ點ニ於テ外觀上相類似シ世人ヲシテ混同誤認セシムルノ虞アルモノニシテ類似商標ナリト認定ス被請求人ハ右兩商標ハ其稱呼上ニ於テ差異アリテ類似商標ト稱スヘキモノニアラスト主張スト雖既ニ前記ノ理由ニ依リ外觀上相類似スル以上ハ假令稱呼上之レヲ區別シ得ルト雖類似商標ニ

アラスト云フヲ得ス而シテ被請求人ノ本件登録商標ハ商品毛絲ニ對シ明治四十三年一月二十九日登録ヲ出願シタルモノニシテ請求人ノ前記登録商標ヨリ後願ニ係ルヲ以テ商標法第三條第一項ニ該當シ其登録ハ同法第十一條ニ依リ之レヲ無効ト爲スヘキモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年一月二十一日於特許局

審判長 特許局技師 平山英三
特許局事務官 奥山萬次郎
同 三浦惠一

第二千四百六號

大阪府西成郡豐崎村大字北長柄百一番地

請求人 三平株式會社

右代表者

香村文之助

大阪市東區備後町二丁目三十六番地特許辨理士

右代理人 堤他彦

名古屋市西區伏見町二丁目十四番地

被請求人 柴垣鐵次郎

東京市神田區五軒町五番地特許辨理士

右代理人 日山豐次郎

右當事者間ノ第四二一八七號登録商標權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 本件請求ハ之ヲ却下ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ販賣スル甲第二號證物品ニ使用スル商標ハ第四二一八七號
登録商標ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ前記登録商
標ヲ其指定商品タル「ランブ」口金即チ各種ノ「バーナー」ノ把手輪ニ印刷現出シテ之ヲ販賣シ來レリ然
ルニ被請求人ハ請求人ノ販賣セル古「バーナー」ヲ買集メ之レヲ洗滌又ハ加工シ破格ノ廉價ヲ以テ市場
ニ提供シ請求人ノ製品ノ市價ヲ混亂シ奇利ヲ占メント企テタリ而シテ右古「バーナー」ノ把手輪ニハ歴
然トシテ最初請求人カ印刷セル本件登録商標現存セルヲ以テ世人ヲシテ新製品ト誤認セシメタリ而シ
テ請求人ノ新製品ト被請求人ノ古「バーナー」トハ同一製品タルコト被請求人ノ販賣ニ係ル商品ハ其出
所如何ヲ問ハス被請求人ノ商品タルコトハ明ニシテ毫モ争フノ餘地ナシ之レヲ要スルニ被請求人ハ同
一商品ニ同一商標ヲ使用スルヲ以テ請求人ノ商標ノ範圍ニ屬スルコト明ナリト云フニアリテ甲第一號
證乃至甲第五號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ却下ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ元來「ラ
ンブ」口金ニ限ラス瓦斯「バーナー」等使用ニ耐フルモノヲ其儘洗滌シテ發賣スルコトハ商習慣ニシテ
被請求人ニ於テ始メテ之レヲ行フモノニアラス又法律上之レヲ禁スルノ法文ナシ又請求人ハ自會社ノ
製品ヲ發賣スルモノヲ中傷シ自會社ノ附シタル商標ニ付キ權利ヲ確認セントスルモノニシテ法ノ許サ
サル所ナリ抑商標法ニ於ケル權利確認審判ナルモノハ他人ノ使用スル商標ト類似スルモノナリヤ否ヤ
ヲ決スヘキモノニシテ自己ノ商品ニ自己カ附シタル商標ニ付キ求ムルモノニアラスト云フニアリ

審決ノ理由 請求人カ其製造ニ係ル「ランブ」口金ノ把手輪ニ第四二一八七號登録商標ヲ印刷現出シテ販
賣シ而シテ被請求人ハ其需用者ノ一度使用セシ古キ口金ヲ買集メ之レヲ洗滌シ販賣セルコトハ當事者

間ニ争ナキ所ナリ而シテ本件請求ハ請求人カ元其商品ニ印刷セシ商標ニシテ被請求人カ洗滌販賣セル
當時ニ於テモ依然存在セル前記商標ニ對シテ商標權ノ範圍確認ヲ請求スルモノナリ依テ之レヲ審案ス
ルニ請求人カ其製造販賣ニ係ル「ランブ」口金ノ把手ニ印刷セル商標ハ假令其商品カ數人ノ手ニ轉々販
賣セラルト雖依然請求人ノ商標トシテ存在スルモノニシテ請求人主張ノ如ク其商品カ營業上ノ目的
ニ依リ處分セラレルコトニ依リ其商標ノ效果ヲ消滅セシムルモノニアラス然リ而シテ商標法第十八條
ニ規定セル商標權ノ範圍確認ノ審判ナルモノハ自己ノ商標權カ他人ノ商標ニ及フヤ否ヤヲ確認スル場
合ヲ指稱スルモノニシテ本件ノ如ク自己ノ商標權カ自己ノ使用ニ係ル商標ニ及フヤ否ヤヲ確認スルモ
ノニアラス然ルニ本件請求ハ前記ノ如ク被請求人ノ販賣ニ係ル物品ニ使用シタル請求人自身ノ商標ニ
對シ確認ヲ求ムルモノニシテ商標法ノ許ス所ニアラス
仍テ正文ノ如ク審決ス

大正二年一月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 平山英三
特許局事務官 奥山萬次郎
同 村山小次郎

第二千四百七十二號

廣島市西地方町百番地
東京市京橋區佐柄木町七番地特許辦理士

請求人 桑原廣一
右代理人 安田要六

東京市麴町區飯田町五丁目三十四番地特許辦理士
香川縣小豆郡西村三百十七番地

右代理人 齋藤林平
被請求人 淺尾政太郎

右當事者間ノ第四八二五四號商標登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ第四八二五四號商標ノ登錄ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ登錄商標第四八二五四號ノ登錄ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ第三〇二八〇號商標ハ明治四十年八月十五日登錄ヲ受ケタルモノニシテ其商標ハ「寒霞溪」ノ三字ナリ被請求人ノ第四八二五四號商標ハ明治四十四年九月二十九日登錄ヲ受ケタルモノニシテ「神懸」ノ二字ナリ而シテ兩者共ニ醬油ニ使用スル商標ナリ元來請求人ノ商標ハ香川縣小豆島ノ名勝地「カンカケ」ノ名ニ因ミテ商標トナセルモノニシテ同地ハ古來其文字ニ於テ神懸又ハ寒霞溪ト書シ共ニ「カンカケ」ト讀ミ世人一般ニ同地名ヲ書スルニ兩者ヲ混用シテ怪マサルモノナリ然ルニ請求人カ寒霞溪ナル商標ヲ得テ醬油ヲ賣出スヤ名聲日ニ擧レルヲ見テ被請求人ハ之ト稱呼同少クモ類似ノ神懸ニ付登錄ヲ得タルモノニシテ是レ明ラカニ世人ヲ欺瞞スルモノナルカ故ニ無効タリト云フニ在リテ甲第一號乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ「寒霞溪」ナル商標ハ小豆島ノ名勝地ニ因ミテ商標トナシタルモノナリヤ否ハ被請求人ノ關知セサル所ナリ而シテ請求人ノ第三〇二八〇號商標「寒霞溪」「カンカケ」ト被請求人ノ第四八二五四號商標「神懸」「カミカケ」トハ文字ニ於テ全ク相異ナレルノミナラス名稱ニ於テモ區別アリ因テ請求人ノ申立ハ不當ナリト云フニ在リ
審決ノ理由 請求人所有ノ登錄第二〇二八〇號商標ハ寒霞溪ノ三字ヨリ成リ醬油及酢ニ使用スルモノニ

シテ明治四十年六月十七日ノ登錄出願ニ係ルモノナリ而シテ被請求人ノ本件登錄第四八二五四號商標ハ神懸ノ二字ヲ記シテ成リ醬油ニ使用スルモノニシテ明治四十四年六月三日ノ登錄出願ニ係ルモノナリ今此兩商標ヲ對比審按スルニ前者ノ稱呼ハ「カンカケイ」ニシテ後者ノ稱呼ハ「カミカケ」又ハ「カンカケ」ナルヘク兩商標ハ稱呼上彼此相類似スルノミナラス寒霞溪及神懸ハ共ニ同一地名ヲ指スモノナルコトハ甲第三號證ノ一ニ依リ之ヲ認ムヘキカ故ニ兩商標ハ其觀念上ニ於テモ亦相紛ラハシク互ニ類似商標タルコトヲ免レス而シテ第四八二五四號商標ハ後出願ニ係リ商品同一ナルヲ以テ其登錄ハ商標法第三條第一項ノ規定ニ違反シ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノトス
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年一月二十七日於特許局

審判長 特許局事務官 奥山萬次郎
同 村山小次郎
同 三浦惠一

第二千四百五十六號

東京市日本橋區堺町六番地
同 東京市日本橋區木挽町九丁目七番地特許辦理士
大阪市南區鹽町通四丁目九十一番屋敷

請求人 石橋傳藏
右代理人 稻木繁太郎
被請求人 瀨尾喜兵衛

右當事者間ノ第四六九四一號商標登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ専有ニ係ル第四六九四一號商標登録ハ之レヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第四六九四一號商標登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト
負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ木綿織物ニ付明治四十三年六月九日出願同年六月二十七日第一四一九〇號ヲ以テ『玄よぶ』ナル文字ニ付登録ヲ受ケタリ然ルニ被請求人ハ同一商品ニ付明治四十四年五月六日出願同年六月二十三日第四六九四一號ヲ以テ尙武ナル文字ニ付登録ヲ受ケタリ而シテ尙武ナル文字ハ『シヨブ』ナル發音ヲ有スルヲ以テ彼此全然稱呼ヲ同フシ類似商標ト云フヘキモノナリ故ニ後願タル被請求人ノ商標ハ登録スヘカラサルモノナリト云フニアリ

被請求人ハ本件審判請求書副本ノ送達ヲ受ケ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

審決ノ理由 請求人カ明治四十三年六月九日出願同年六月二十七日登録ヲ受ケタル第四一九〇四號登録商標ハ『玄よぶ』ナル文字ヨリ成リ指定商品木綿織物ニ使用スルモノナリ然ルニ被請求人カ同一商品ニ使用スル爲メ明治四十四年五月六日出願同年六月二十三日登録ヲ受ケタル第四六九四一號登録商標ハ尙武ナル文字ヨリ成ルモノニシテ『シヨブ』ナル稱呼ヲ生スヘキモノナリ故ニ被請求人ノ商標ハ請求人ノ商標ト稱呼上相紛ハシク混同誤認セラル、ノ虞アルモノニシテ類似商標ナリト認ム而シテ被請求人ノ商標ハ前記ノ如ク後出願ニ屬スルヲ以テ商標法第三條第一項ニ違反シ其登録ハ同法第十一條ニ依リ之レヲ無効ト爲スヘキモノナリ
仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年一月三十日於特許局

審判長 特許局事務官 奥山萬次郎

同 村山小次郎
同 三浦惠一

第二千五百四十九號

臺灣臺北廳大加納堡大稻埕建昌街二丁目十三番戶 請求人 陳大珍
同 臺北廳大加納堡大稻埕建昌街二十三番戶 被請求人 洪汝輝

右當事者間ノ第五四三〇九號商標登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ第五四三〇九號商標登録ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第五四三〇九號商標登録ハ之ヲ無効トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ明治四十一年中出願番號第五〇三二號ノ商標登録ヲ受ケ之ヲ使用セリ然ルニ被請求人ハ其後第五四三〇九號ノ商標登録ヲ受ケタリ同兩商標ヲ比較スルニ請求人ノ商標ハ鶴鷄互ニ相齧ムノ圖ニシテ被請求人ノ商標ハ單ニ鶴二羽ノ圖ナリト雖同一種類ノ鳥二羽カ相對スル點及草ノ存在スル點等其相類似スルモノアルコト明白ナリ故ニ被請求人ノ本件第五四三〇九號商標登録ハ無効ト爲スヘキモノナリト云フニアリ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ之ヲ却下スト審決相成度其理由ハ請求人ハ自己ノ商標ヲ鶴鷄印ナリト主張スト雖被請求人ノ見ル所ニ依レハ被請求人ノ商標コソ寧ロ鶴鷄ニ酷似シ請求人ノ商標ハ其何種ニ屬スル鳥類ナリヤ明ナラス假リニ同一鳥類ナリトスルモ其鳥自身ノ形ニ於テ大差アルノミナラス一

ハ離レ他ハ相接嘴スルノ點ニ於テ顯著ナル差異アリテ相類似スルモノニアラスト云フニアリ
 審決ノ理由 請求人カ指定商品包種茶ニ使用スル爲メ明治四十一年十一月二十四日登録ヲ出願シ同四十
 二年一月十三日登録ヲ受ケタル第三四八八六號登錄商標ハ鶉ニ酷似セル二羽ノ小禽カ相對向シテ立チ
 其嘴ヲ相接着セル圖ヲ畫キ其下部ニ草ヲ配シ之レニ橫長方形ノ周欄及歐文字ヲ附記シテ成レルモノナ
 リ然ルニ被請求人カ明治四十五年六月二十二日商品包種茶ニ對シ登録ヲ出願シ大正元年八月三日登録
 ヲ受ケタル第五四三〇九號登錄商標ハ二羽ノ鶉カ相對立セル圖ヲ畫キ之レニ草ヲ配シ橫長方形ノ周欄
 及歐文字ヲ附記シテ成レルモノナリ今此兩商標ヲ對比審案スルニ兩者ハ鳥ノ描寫法ニ於テ小差ナキニ
 アラスト雖モ共ニ形狀相似タル鳥類ニ箇ヲ對向セシメ之レニ草ヲ配シタルモノニシテ其外觀上相紛ハ
 シキヲ以テ類似商標ナリト認ム而シテ被請求人ノ登録商標ハ前記ノ如ク後願ニ屬シ且同一商品ニ使用
 スルヲ以テ商標法第三條第一項ニ違反シ其登録ハ同法第十一條ニ依リ之レヲ無効ト爲スヘキモノナリ
 仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年一月三十一日於特許局

審判長 特許局技師 平山英三
 特許局事務官 奥山萬次郎
 同 村山小次郎

第二千五百十七號

濱松市連尺町四十番地

請求人 廣田辰次郎

東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士
 濱松市肴町六十一番地
 豐橋市大字中八、百三番戶特許辨理士

右代理人 稻木繁太郎
 被請求人 相澤留造
 右代理人 大橋勳

右當事者間ノ第五二〇四九號登錄商標權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人カ商品「ラムネ」ニ使用スル甲第二號證ノ商標ハ請求人ノ第五
 二〇四九號登錄商標ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ
 明治四十五年三月二十五日出願同年四月十九日付第五二〇四九號ヲ以テ「ラムネ」ニ使用スル爲メ甲第
 一號證ノ圖形及ヒ着色ヲ限定シ第三三三七六號聯合商標トシテ登録ヲ受ケタリ然ルニ被請求人ハ甲第
 二號證ノ商標ヲ作り之レヲ同一商品「ラムネ」ニ使用セリ該商標ハ其中央圓形内ニ五稜星ヲ畫キタリト
 雖其圖形タルヤ全然變體ノ大ノ字ナルヲ以テ此點ニ於テ甲第一號證ノ丸大ニ類似シ次ニ附隨ノ圖形及
 文字ノ配置及着色ニ於テモ甲第一號證ニ類似スルヲ以テ右兩商標ハ類似商標タルヲ免レスト云フニア
 リテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ
 被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求
 人ノ前記登錄商標ハ中央ノ圓形内ニ大ナル文字ヲ赤色ニシテ現ハシ其上下ニ漢字ヲ白抜ニテ記載シ其
 周圍ニ直線的ノ輪廓ヲ施シテ成ルモノニシテ被請求人ノ使用ニ係ルモノハ中央圓形内ニ五稜星ノ形ヲ
 畫キ其上下ニ曲線的ノ唐草模様ヲ畫キ更ニ其内方ニ羅馬字及漢字ヲ白抜キニ記載シタルモノニシテ請求
 人ノ登錄商標ハ丸大印ト稱シ被請求人ノ使用ニ係ル商標ハ星印ト稱シ以テ販賣者及需用者間ニ於テ區

別セラレ決シテ混同誤認ノ虞ナシト云フニアリテ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 請求人ノ第五二〇四九號登錄商標ハ兩端ヲ凸字形ニナシタル長方形欄内中央ノ圓形内ニ大ノ字ヲ赤色ヲ以テ記載シ其上下ニ清凉飲料、「ラムネ」、静岡縣衛第四九六三號ノ一、製造年月日省略認可及ヒ金泉舎廣田辰次郎、静岡縣濱松市連尺町四十番地ナル文字ヲ赤地ニ白抜ニテ記載シ色彩ノ限定ヲ爲シタルモノナリ然ルニ被請求人ノ使用ニ係ル甲第二號證商標ハ中央ノ圓形内ニ五稜形ノ星ヲ赤色ヲ以テ畫キ其上下ニ唐草模様ノ欄ヲ設ケ其内部ニ高等「ラムネ」、年月日省略御認可濟、SEISENSHIYA、濱松市肴町百六十一番地相澤留造ナル文字ヲ記載シ而テ其欄及文字ハ赤色ノ地ニ白抜ニナシタルモノナリ右兩商標ヲ比較審按スルニ白地ニ赤色ヲ以テ又赤色ノ地ニ白抜ニテ欄及文字等ヲ顯ハシタル點ニ於テハ二者相同シト雖請求人ノ登錄商標ノ要部ハ丸大ナル記號ニアリ從テ其稱呼モ丸大印ト稱スヘク又被請求人ノ使用ニ係ル甲第二號證商標ノ要部ハ丸ニ星ナル圖形ニアリ又其稱呼モ丸星印又ハ星印ト稱スヘキモノナリ斯ク兩商標ハ其要部及稱呼ヲ異ニシ色彩ノ同一ニ拘ハラズ全然區別セラルヘキモノナルカ故ニ類似商標ニアラスト認ム從テ甲第二號證商標ハ請求人ノ本件登錄商標ノ範圍ニ屬セサルモノトス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月十七日於特許局

審判長 特許局技師 平山英三
特許局事務官 奥山萬次郎
同 村山小次郎

第二千四百五十五號

東京市神田區駿河臺東紅梅町二番地 請求人 森田 尙
同 市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士 右代理人 稻木繁太郎
同 市日本橋區小傳馬町三丁目二十一番地 被請求人 平山利三久
同 市日本橋區吳服町二番地特許辨理士 右代理人 杉田金之助

右當事者間ノ第四七二五四號商標登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ第四七二五四號商標登錄ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第四七二五四號商標登錄ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト
審決相成度其理由ハ請求人ハ甲第一號證ノ商標ヲ殺鼠劑ニ使用スル爲メ明治四十三年十一月四日出願同四十五年七月三日第五三六一九號ヲ以テ登錄ヲ受ケタリ然ルニ被請求人ハ甲第二號證ノ商標ヲ均シク殺鼠劑ニ使用スル爲メ明治四十四年五月八日出願同年七月十日付第四七二五四號ヲ以テ登錄ヲ受ケタリ右甲第一號證ハ兩手ニテ鼠ヲ捧持セル洋裝人立ノ猫ヲ畫キ其上部ニ「ラットリン」等ノ文字ヲ記シタルモノニシテ甲第二號證ハ兩手ニテ鼠ヲ捧持セル洋裝人立ノ猫ヲ畫キタルモノナルカ故ニ兩商標ハ其圖形殆ント同様ナルノミナラス洋裝鼠持猫ノ稱呼ニ於テモ亦タ全然同様ナルヲ以テ相互ニ類似シ商品ノ混同誤認ヲ免レサルモノトス而シテ甲第一號證ハ其登錄ニ於テ甲第二號證ニ遅ルト雖モ其出願ニ於テハ之レニ先ツコトハ前記出願及登錄ノ事實ニ依テ明白ナリ依テ本件登錄商標ハ後願ニ屬シ其登錄ハ之レヲ無効ト爲スヘキモノナリ被請求人ハ本件訂正商標カ出願當時ニ遡リテ效力ヲ生スルコトニ

付キ異議アルモノノ如シト雖元來訂正ナルモノハ出願ノ要旨ヲ變更セサル程度ニアラサレハナシ能ハサルモノナルヲ以テ假令出願又ハ審判中ニ商標見本ノ訂正ヲナスモ其訂正見本タルヤ素ヨリ出願當時ノ要旨ニ何等變更ヲ及ホシアラサルヲ以テ其訂正商標ノ效力ハ當然出願當時ニ遡ルモノナルコトハ議論ノ餘地ナシト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タヌ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ甲第一號證ト甲第二號證トハ其圖形殆ント同一ナリト云フト雖甲第一號證商標ハ尾ヲ切り洋袴ヲ着ケ靴ヲ穿ツ等其外觀人ニ異ルナキヲ以テ之ヲ猫ト稱スルモノナク且「ラットリン」等ノ文字ノ記載アルニ反シ甲第二號證商標ハ猫カ僅カニ「コート」ヲ着シ人立セルノミニシテ尾ハ長ク上ニ卷キ且洋袴及靴ヲ穿タサルヲ以テ所謂猫タルヘク之レヲ人ト見ルヘカラス加フルニ何等文字ノ記載ナキヲ以テ其外觀大差アリ從テ其稱呼モ一ハ人ナルヘク他ハ猫ナルヘシ然ラハ二者類似ノ商標ト云フヘカラス且假令類似ノ商標ト假定スルモ甲第一號證商標ハ乙第一、二號證ノ如ク明治四十五年六月十八日ノ提出ニ係ルヲ以テ約一年有餘ノ後願ナリ然ラハ之レヲ以テ本件商標ノ登録ヲ無効ト爲スヘカラス請求人ハ甲第一號證商標ハ訂正商標ニシテ訂正サレタル商標ノ出願當時ニ遡リ其效力ヲ生スト云ヘルモ斯ル論旨ハ其根據ヲ見出ス能ハスト云フニアリテ乙第一號證乃至乙第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由

請求人カ商品殺鼠劑ニ使用スル爲メ明治四十三年十一月四日登録ヲ出願シ同四十五年七月三日其登録ヲ受ケタル第五三六一九號登録商標ハ洋裝人立ノ猫カ兩手ニテ鼠ヲ捧持シ左方ニ向テ歩行スルノ狀ヲ畫キ之レニ THE IDEAL RATSbane RATTRIN「ラットリン」ナル文字ヲ附記シタルモノナリ然ルニ被請求人カ同一商品ニ使用スル爲メ明治四十四年五月八日登録ヲ出願シ同年七月十日其登録ヲ受ケタル第四七二五四號登録商標ハ上半身ニ洋裝セル猫カ兩手ニテ鼠ヲ捧持シ左方ニ向テ歩行

セル狀ヲ畫キタルモノナリ右兩商標ハ圖形ノ上部ニ記載セル文字ノ有無竝ニ其猫ノ圖形ニ於テ尾ノ長短及其全身洋裝セルト半身洋裝セルノ差異アリト雖共ニ洋裝人立セル一匹ノ猫カ兩手ニテ鼠ヲ捧持シ左方ニ向テ歩行スルノ圖ニシテ其外觀上相類似シ商品ノ混同誤認ヲ生スヘキ虞アルモノニシテ類似商標ト稱スヘキモノナリ然リ而シテ被請求人ノ第四七二五四號登録商標ハ前記ノ如ク請求人ノ第五三六一九號登録商標ヨリ後ノ出願ニ屬シ且ツ指定商品同一ナルヲ以テ被請求人ノ登録商標ハ商標法第三條第一項ニ違反シ其登録ハ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効ト爲スヘキモノナリ被請求人ハ甲第一號證商標ハ明治四十五年六月十八日ノ提出ニ係ルヲ以テ被請求人ノ登録商標ヨリ後願ニ屬スト主張スルモ甲第一號證商標ハ明治四十三年十一月四日提出ニ係ル出願番號第六九三九一號商標登録願ニ對シ爲サレタル訂正ニシテ適法ト認メラレタルモノナレハ其出願ハ前記年月日ニシテ訂正書提出ノ日ニアラサルコト論ヲ俟タス從テ被請求人ノ出願ヨリ後願ナリト云フヲ得ス

仍テ主文ノ如ク審決ス

大正二年二月十七日於特許局

審判長 特許局事務官 同 同 奥山萬次郎 村山小次郎 三浦惠一

第二千四百四十號

東京市下谷區仲御徒町三丁目五十九番地

請求人 日本蠶業株式會社

右代表社員

同 市日本橋區吳服町二番地特許辨理士

右代理人 相馬愛藏

同 市神田區駿河臺東紅梅町二番地

被請求人 杉田金之助

同 市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士

右代理人 森田尚
稻木繁太郎

右當事者間ノ第三九九四〇號登錄商標權利範圍確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

請求人申立ノ要領ハ甲第二號證ニ示ス被請求人ノ立猫商標ノ使用ハ請求人ノ登録第三九九

四〇號商標權ノ範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ甲第一號證ノ商標ヲ殺鼠劑ニ付明治四十四年二月十日登錄ヲ受ケ爾來之ヲ使用シ來レリ又被請求人ハ甲二號證ノ商標ヲ明治四十四年二月頃ヨリ同シク殺鼠劑ニ貼用シ今尙ホ盛ニ之ヲ販賣セリ右甲第一號證商標ハ踞セル猫カ「ハンケチ」ヲ持テル圖ニシテ甲第二號證商標ハ猫カ「コート」ヲ着シ立チ上レル様ヲ畫ケル差違アリト雖等シク猫ノ圖形ニシテ其稱呼ハ猫印タルヘク從テ商品取引者ハ二者ヲ混同誤認スルヲ以テ類似商標タルハ明ナリトス依テ甲第二號證商標ノ使用ハ甲第一號證商標專用權ノ範圍ニ屬スルモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第十號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ元來被請求人ハ甲第二號證ノ如キ單純ナル商標ヲ使用シタルコトナシ只甲第三號證ノ圖形及ヒ其上部ノ記載ノ横文ヲ結合シタル商標ヲ使用シタルモ該商標ハ明治四十五年六月十日以來斷然使用ヲ廢止シ現今之レヲ使用セサルヲ以テ此點ニ於テ本件請求ハ棄却セラレヘキモノナリ抑モ甲第一號證商標ハ前向シテ左前足ニテ布片ヲ左眼ニ當テ右眼ヨリ涙ヲ垂ラシ居ル猫ノ圖ヲ畫キタルモノニシテ斯ル異様ナル圖形ヲ畫キタル所以ノモノハ即チ殺鼠劑ノ爲メニ猫カ不用ニ歸シ悲泣スルコトヲ諷示シタルモノニシテ其稱呼モ亦泣猫印ト稱スヘキモノナリ然リ而シテ甲第三號證ハ前足ニテ鼠ヲ捧持セル洋裝人立ノ猫ノ圖ヲ畫キ其上部ニ「ラットリン」ト記シタルモノナルヲ以テ種族ニ於テハ彼此同一ナリト雖モ其圖樣ニ於テ彼此全然區別スヘキノミナラス其稱呼ニ於テモ一ハ泣猫印ニシテ他ハ「ラットリン」ト稱スヘキモノニシテ兩商標ハ決シテ混同誤認ノ虞ナシト云フニアリテ乙第一號證乃至乙第五號證ヲ提出セリ

審決ノ理由

被請求人ハ本件請求人ハ之レヲ棄却スヘキモノナリト主張シ其理由トシテ被請求人ハ甲第

二號證ヲ使用セスト主張スルモ被請求人ニ於テ既ニ甲第三號證商標ノ使用ヲ認ムル以上ハ同號證中特別顯著ニ畫カレタル甲第二號證商標ハ之レヲ使用セスト云フコトヲ得ス被請求人ハ又甲第三號證ハ現今之レヲ使用セスト云フト雖モ商標權範圍確認審判ノ請求ハ必シモ被請求人ノ現在ノ使用ヲ條件トスルモノニアラサルヲ以テ假令現在之レヲ使用セサルモ過去ニ於テ使用シタル事實アリ且請求人ハ本件審判請求ニ付テハ利害關係ヲ有スト認ムルヲ以テ本件請求ハ之レヲ棄却スヘキモノニアラス依テ甲第一號證即チ請求人ノ第三九九四〇號登錄商標及被請求人ノ使用ニ係ル甲第二號證商標ヲ比較審案スルニ請求人ノ登録商標ハ蹲踞セル一匹ノ猫カ布片ヲ左眼ニ當テ居ル圖形ナルニ反シ甲第二號證商標ハ上半身ニ洋服ヲ着セル猫カ鼠ヲ捧ケ人立シテ步行セル圖形ナルニ依リ右兩商標ハ全然區別セラレヘキモ